

名古屋掖濟会病院年報

2024年(令和6年)

基本姿勢（理念）

名古屋掖済会病院は、えきさい（導き、たすける）の精神に基づき、地域の皆様との信頼関係の上に成り立った、安心して安全な医療をめざします。

私たちは皆様の健康の維持、増進に貢献し、救急医療をはじめとする皆様のご要望に応えます。また、基幹病院としての自覚に立ち、医療レベルの向上と、より良き医療従事者をめざして研鑽します。

基本方針

1. 患者様の尊厳を守るとともに、個人情報保護を含む患者様の権利を守ります。
2. 患者様を中心としたチーム医療を行います。
3. 救急医療の充実と高度医療（がん診療等）の推進に努めます。
4. 地域の医療機関と積極的に連携し、地域に求められる病院をめざします。
5. 研修、教育活動を充実します。
6. 健全な病院経営と職場環境の改善に努めます。

日常の行動目標

患者様に

- ・やさしく、親切に接します。
- ・わかりやすく説明します。
- ・理解と同意を得て医療を行います。

私たちは

- ・互いに尊敬し、協力して医療を行います。
- ・安全な医療を行います。
- ・常に知識と技術の向上につとめます。

目 次

巻頭言	1
名古屋掖済会病院概要（施設基準等、学会施設認定）	3
名古屋掖済会病院の沿革	14
名古屋掖済会病院組織図	15
職種別職員数	16
I. 医療活動に関する実績	
1. 患者数・平均在院日数	19
2. 病歴管理課統計	20
1) 退院患者疾病別統計表	20
2) 死亡退院患者疾病別統計表	21
3) 診療科別上位3位疾病退院患者数	22
4) 院内がん登録2023年症例全国集計	24
5) 当該2次医療圏または隣接する医療圏に居住するがん患者における診療実績	25
6) 症例登録入力業務実績	26
3. 手術件数・術式等、麻酔件数、中央手術部統計	29
1) 整形外科・手外科	29
2) 外科・肛門科・呼吸器外科・乳腺外科	31
3) 眼科	32
4) 泌尿器科	33
5) 歯科・口腔外科	34
6) 脳神経外科	37
7) 心臓血管外科	38
8) 耳鼻咽喉科	39
9) 産婦人科手術・分娩件数	40
10) 中央手術部	41
11) 形成外科	42
12) 麻酔科	43
4. 検査・治療実績	44
1) 消化器内科	44
2) 膠原病リウマチ内科	44
3) 呼吸器内科	45
4) 循環器内科	45
5) 腎臓内科	46
6) 血液内科	46
7) 放射線科	47
8) 糖尿病・内分泌内科	48

9) 脳神経内科	48
10) 腫瘍内科	49
11) 救急科入院患者数	51
5. 救命救急センター	52
1) 実績	52
2) Drヘリ・海保ヘリ利用リスト	55
6. 緩和・化学療法センター	56
7. 健康管理科 健診実績	59
8. リハビリテーション科	60
9. 遺伝相談室	62
10. 医療相談室	63
11. 医療連携室	65
1) 名古屋掖済会病院 病診連携システム 地域別登録医数	65
2) 講演会・研修会・勉強会等	66
3) 科別紹介患者数及び逆紹介患者数	68
12. 入退院支援室実績報告	70
1) 令和6年度入院支援室実績報告	70
2) 令和5年度退院調整室実績報告	71
3) 地域連携と教育活動	73
13. 診療補助部門	75
1) 看護部	75
2) 薬剤部	80
3) 中央検査部・輸血部・病理診断科	82
4) 栄養科	84
5) 中央放射線部	85
6) 臨床工学部	92
14. 委員会	94
15. 託児所	95
16. 図書室	97
17. 洋上救急、訪船診療	98
18. 情報管理センター	101
19. 医療用・その他器械購入備品	105
20. 開発管理室	107
21. 広報部 メディア掲載実績	110

II. 研究活動、院内研修活動、広報・対外活動に関する実績

1. 研究活動	111
2. 院内研修活動	163
講演会、研修会、発表会	164

巻 頭 言

名古屋掖済会病院
院長
北川 喜己

2024年の名古屋掖済会病院年報発刊にあたり一言ご挨拶を申し上げます。

2024年は年頭におきた能登半島地震への対応で病院の活動が始まりました。私自身も1月2日にDMATとして石川県庁に入り、病院のスタッフはDMAT、DMORT、JRAT、災害支援ナースなどさまざまな形で医療救護に出動しました。その報告は前年報に掲載されていますが、その後9月の記録的大雨の影響もあり、現時点においてもまだまだ被災地は復興の途上です。今後もさまざまな形で被災された方々の応援を続けたいと思っています。

また2024年はパリ五輪や新紙幣発行などが世間で注目されましたが、当院ではクラウドファンディングで多くの皆様に応援と激励をいただいたドクターカーとラピッドカーの2台が運用を開始しました。ラピッドカーは病院から医師・看護師・救命士を現場にいち早く送り届ける車、ドクターカーは救急車タイプで、車内でレントゲンを撮ったり緊急処置をしながら傷病者を現場から病院に搬送する車です。2020年12月から当院のERで稼働している先進診断治療システム「ハイブリッドER」まで命を繋ぎ、「劇的救命」と呼ばれる現場からの「攻めの救急医療」を実現しています。

救急医療と言えば、ERを中心に当院を約9か月にわたって取材したドキュメンタリー映画「その鼓動に耳をあてよ」も病院内外で話題になりました。1月の東京封切りから順次北海道から沖縄まで全国31箇所の映画館で上映され、6月～7月にかけては地元のイオンシネマ茶屋で上映されました。多くの方に観ていただくとともに、舞台挨拶などを通して直接励ましや感謝のお言葉もたくさんいただき、嬉しいとともに身の引き締まる思いでした。今年に入り現在もまだ各所でリクエスト上映が続いています。

当院が属している公益社団法人日本海員掖済会の歴史は1879年（明治13年）に我が国の海運振興を図るため、海員の福利厚生を目的として前島密（ひそか）氏により掖済（腋に手を添えて、導きたすける）の理念で設立された所から始まります。そして1887年（明治20年）に日本初の公益社団法人として認可され、現在では広く一般に対象を広げて事業を展開し、本部を東京に置き、全国で8病院、1診療所、2介護老人保健施設、1看護専門学校を運営しています。当院は、その病院の1つとして1948年（昭和23年）11月に診療を開始しました。救急救命センター、地域医療支援病院、災害拠点病院、臨床研修指定病院、愛知県がん診療拠点病院などの指定を受け、名古屋市南西部の地域基幹病院として安全で質の高い医療を目指すとともに多くの職種の自己研鑽の場ともなっています。この年報の

中には、これらの医療活動、研究活動がもれなく掲載されており、その結果としての数々の業績が地域医療への貢献の実績につながっていると確信しています。今後はそれぞれにこの業績の中から課題を見つけ、来年に向けて新たな気持ちで頑張っていければと思います。

最後になりますが、この年報の作成にご協力いただいた各科各部門の担当者の皆さんと、編集作業を担ってご尽力いただいた広報部の皆さんに感謝して、巻頭の言葉と致します。

名古屋掖済会病院概要

名 称 名古屋掖済会病院
所在地 〒454-8502 愛知県名古屋市中川区松年町4-66
TEL 052-652-7711 FAX 052-652-7783

開設年月日 昭和23年11月1日

管理者 院長 北川 喜己

診療科 (全36科)

内科、血液内科、腎臓内科、糖尿病・内分泌内科、脳神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、膠原病リウマチ内科、小児科、精神科、外科、消化器外科、肛門外科、乳腺外科、呼吸器外科、整形外科・手外科、形成外科、脳神経外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、歯科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、腫瘍内科、健康管理科、産業保健科

標榜診療科 (全34科)

内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、糖尿病・内分泌内科、腎臓内科、脳神経内科、腫瘍内科、外科、消化器外科、乳腺外科、呼吸器外科、心臓血管外科、肛門外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、精神科、リウマチ科、小児科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、病理診断科、救急科、麻酔科、緩和ケア内科、歯科、歯科口腔外科

病床数 602床

医療機関の指定

保険医療機関、労災保険指定病院、母体保護法指定医、生活保護指定病院、結核指定医療機関、被爆者一般疾病医療機関、特定疾患治療研究事業委託医療機関（愛知県、名古屋市他）、小児慢性特定疾患治療研究委託医療機関、災害拠点病院（愛知県）、障害者自立支援法指定病院（通院精神・更生医療・育成医療）、出国管理および難民認定法に基づく指定医、愛知県がん診療拠点病院、社会福祉法による無料低額診療施設、臨床研修指定病院、歯科医師臨床研修指定病院、救急告示病院、地域医療支援病院、指定難病指定医療機関

特殊診療部門

救命救急センター、緩和・化学療法センター、手外科・マイクロサージャリーセンター、脊椎脊髄センター、口腔機能管理センター、内視鏡センター、がん診療支援センター

付属施設等

埠頭診療所、名古屋市立昭和橋小学校「つくし学級」（院内学級）

併設施設

えきさい看護専門学校、病児・病後児保育所「キッズポートえきさい」、院内保育所

委員会

研修管理、虐待等対応、院内教育シミュレーションセンター運営、医療ガス安全管理、図書、病院機能改善、医師の勤務環境改善、高難度新規医療技術評価、臨床倫理、研究倫理審査、院内研究発表準備、医療安全管理、レジメン審査、薬事、診療情報管理、情報システム管理、DX推進、個人情報保護、新棟建設、救急、保険診療・DPC、クリニカルパス、診療支援業務検討、臓器提供、院内感染対策、病床利用対策、防災・災害対策、治験審査、医療廃棄物、輸血療法、省エネルギーマネジメント、委託業務検討、用度、医材選定、衛生、接遇改善・患者サービス向上、特定行為実務者、栄養

チーム

がん化学療法、緩和ケア、抗菌薬適正使用支援（AST）、手術室運用改善プロジェクト、職員カウンセリング、褥瘡対策、摂食・嚥下ケア、二次骨折予防リエゾンサービス、認知症ケア、排尿ケア、暴力対策、栄養サポート（NST）、性暴力被害者支援、報告書確認対策、企画IR、放射線検査運営

施設基準等

【1】基本診療料施設基準

医療DX推進体制整備加算	令和6年6月1日(2024)(医療DX)第1518号
地域歯科診療支援病院歯科初診料	平成22年4月1日(2010)(病初診)第46号
歯科外来診療医療安全対策加算2	令和6年6月1日(2024)(外安全)第1470号
歯科外来診療感染対策加算4	令和6年6月1日(2024)(外感染4)第8号
一般病棟入院基本料	令和6年10月1日(2024)(一般入院)第3738号
急性期充実体制加算2	令和7年1月1日(2025)(急充実2)第4号
救急医療管理加算	令和2年4月1日(2020)(救急医療)第82号
超急性期脳卒中加算	平成20年4月1日(2008)(超急性期)第8号
診療録管理体制加算1	令和6年6月1日(2024)(診療録1)第12号
医師事務作業補助体制加算2	令和3年4月1日(2021)(事補2)第371号
急性期看護補助体制加算	令和6年8月1日(2024)(急性看補)第1080号
看護職員夜間配置加算	令和4年10月1日(2022)(看夜配)第188号
療養環境加算	令和5年4月1日(2023)(療)第473号
重症者等療養環境特別加算	平成18年4月1日(2006)(重)第1158号
無菌治療室管理加算1	平成28年11月1日(2016)(無菌1)第40号
緩和ケア診療加算	令和4年5月1日(2022)(緩診)第61号
栄養サポートチーム加算	令和元年10月1日(2019)(栄養チ)第115号
医療安全対策加算1	平成30年4月1日(2018)(医療安全1)第277号
リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算	令和6年9月1日(2024)(リハ栄養)第8号
感染対策向上加算1	令和6年6月1日(2024)(感染対策1)第78号
患者サポート体制充実加算	平成24年4月1日(2012)(患サポ)第77号
重症患者初期支援充実加算	令和4年8月1日(2022)(重症初期)第29号
報告書管理体制加算	令和5年8月1日(2023)(報告管理)第41号
褥瘡ハイリスク患者ケア加算	令和6年10月1日(2024)(褥瘡ケア)第99号
ハイリスク妊娠管理加算	平成20年4月1日(2008)(ハイ妊娠)第21号
ハイリスク分娩管理加算	平成21年7月1日(2009)(ハイ分娩)第96号
術後疼痛管理チーム加算	令和6年5月1日(2024)(術後疼痛)第22号
後発医薬品使用体制加算1	令和4年11月1日(2022)(後発使1)第281号
バイオ後続品使用体制加算	令和6年6月1日(2024)(バ後使)第8号
病棟薬剤業務実施加算1	令和4年10月1日(2022)(病棟薬1)第177号
病棟薬剤業務実施加算2	平成28年4月1日(2016)(病棟薬2)第9号
データ提出加算	平成24年10月1日(2012)(データ提)第78号
入退院支援加算	令和6年10月1日(2024)(入退支)第848号
認知症ケア加算	平成28年7月1日(2016)(認ケア)第27号
せん妄ハイリスク患者ケア加算	令和2年4月1日(2020)(せん妄ケア)第40号
精神疾患診療体制加算	平成28年4月1日(2016)(精疾診)第14号
排尿自立支援加算	平成30年6月1日(2018)(排自支)第30号
地域医療体制確保加算	令和4年10月1日(2022)(地医確保)第81号
救命救急入院料1	令和6年6月1日(2024)(救1)第131号

特定集中治療室管理料5	令和6年6月1日(2024)(集5)第8号
ハイケアユニット入院医療管理料1	令和6年6月1日(2024)(ハイケア1)第50号
小児入院医療管理料3	令和6年5月1日(2024)(小入3)第76号
緩和ケア病棟入院料1	令和4年5月1日(2022)(緩1)第15号
看護職員処遇改善評価料55	令和4年10月1日(2022)(看処遇55)第2号

【2】特掲診療料施設基準

心臓ペースメーカー指導管理料の注5に掲げる遠隔モニタリング加算	令和2年4月1日(2020)(遠隔ペ)	第38号
糖尿病合併症管理料	平成22年1月1日(2010)(糖管)	第51号
がん性疼痛緩和指導管理料	平成22年4月1日(2010)(がん疼)	第77号
がん患者指導管理料イ	令和4年10月1日(2022)(がん指イ)	第132号
がん患者指導管理料ロ	平成26年4月1日(2014)(がん指ロ)	第13号
がん患者指導管理料ハ	平成26年4月1日(2014)(がん指ハ)	第5号
がん患者指導管理料ニ	令和2年4月1日(2020)(がん指ニ)	第12号
外来緩和ケア管理料	令和4年5月1日(2022)(外緩)	第35号
糖尿病透析予防指導管理料	平成24年4月1日(2012)(糖防管)	第32号
乳腺炎重症化予防ケア指導料	平成30年4月1日(2018)(乳腺ケア)	第4号
婦人科特定疾患治療管理料	令和2年8月1日(2020)(婦特管)	第241号
腎代替療法指導管理料	令和2年4月1日(2020)(腎代替管)	第10号
一般不妊治療管理料	令和5年4月1日(2023)(一妊管)	第225号
二次性骨折予防継続管理料1	令和4年4月1日(2022)(二骨管1)	第17号
二次性骨折予防継続管理料2	令和4年4月1日(2022)(二骨管2)	第14号
二次性骨折予防継続管理料3	令和4年4月1日(2022)(二骨管3)	第83号
下肢創傷処置管理料	令和4年9月1日(2022)(下創管)	第4号
院内トリアージ実施料	平成29年8月1日(2017)(トリ)	第60号
外来放射線照射診療料	令和2年9月1日(2020)(放射診)	第33号
外来腫瘍化学療法診療料1	令和6年10月1日(2024)(外化診1)	第111号
連携充実加算	令和4年4月1日(2022)(外化連)	第61号
外来腫瘍化学療法診療料の注9に規定するがん薬物療法体制充実加算	令和6年6月1日(2024)(外化薬)	第13号
ニコチン依存症管理料	平成29年7月1日(2017)(ニコ)	第2154号
療養・就労両立支援指導料の注3に掲げる相談支援加算	令和3年7月1日(2021)(両立支援)	第22号
開放型病院共同指導料	平成16年8月1日(2004)(開)	第14号
がん診療連携計画策定料	平成23年7月1日(2011)(がん計)	第17号
外来排尿自立指導料	平成30年6月1日(2018)(外排自)	第30号
ハイリスク妊産婦連携指導料1	令和3年5月1日(2021)(ハイ妊連1)	第42号
肝炎インターフェロン治療計画料	平成22年4月1日(2010)(肝炎)	第55号
薬剤管理指導料	平成22年4月1日(2010)(薬)	第434号
地域連携診療計画加算	平成28年4月1日(2016)(地連計)	第23号
検査・画像情報提供加算及び電子的診療情報評価料	平成28年4月1日(2016)(電情)	第130号
医療機器安全管理料1	平成20年4月1日(2010)(機安1)	第17号
医療機器安全管理料2	令和2年9月1日(2020)(機安2)	第66号
医療機器安全管理料(歯科)	令和3年3月1日(2021)(機安歯)	第25号
歯科治療時医療管理料	平成18年4月1日(2006)(医管)	第857号
救急患者連携搬送料	令和6年6月1日(2024)(救急搬)	第7号
在宅患者訪問看護・指導料及び同一建物居住者訪問看護・指導料の注2		

脳血管疾患等リハビリテーション料（Ⅰ）	平成30年3月1日（2018）（脳Ⅰ）第1221号
運動器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成30年3月1日（2018）（運Ⅰ）第2632号
呼吸器リハビリテーション料（Ⅰ）	平成30年3月1日（2018）（呼Ⅰ）第267号
がん患者リハビリテーション料	平成29年2月1日（2017）（がんリハ）第284号
歯科口腔リハビリテーション料2	平成26年4月1日（2014）（歯リハ2）第104号
認知療法・認知行動療法1	平成24年4月1日（2012）（認1）第19号
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の休日加算1	平成26年4月1日（2014）（医処休）第2号
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の時間外加算1	平成26年4月1日（2014）（医処外）第2号
医科点数表第2章第9部処置の通則の5に掲げる処置の深夜加算1	平成26年4月1日（2014）（医処深）第2号
歯科点数表第2章第8部処置の通則第6号に掲げる処置の休日加算1	平成26年4月1日（2014）（歯処休）第2号
歯科点数表第2章第8部処置の通則第6号に掲げる処置の時間外加算1	平成26年4月1日（2014）（歯処外）第2号
歯科点数表第2章第8部処置の通則第6号に掲げる処置の深夜加算1	平成26年4月1日（2014）（歯処深）第2号
人工腎臓	平成30年4月1日（2018）（人工腎臓）第97号
導入期加算1	令和5年4月1日（2023）（導入1）第203号
透析液水質確保加算2	平成30年4月1日（2018）（透析水）第262号
下肢末梢動脈疾患指導管理加算	平成28年1月1日（2016）（肢梢）第20号
ストーマ合併症加算	令和6年6月1日（2024）（ストマ合）第24号
手術用顕微鏡加算	平成28年1月1日（2016）（手顕微加）第18号
歯科技工士連携加算1及び光学印象歯科技工士連携加算	令和6年6月1日（2024）（歯技連1）第826号
CAD/CAM冠	平成26年4月1日（2014）（歯CAD）第585号
歯科技工加算1及び2	平成22年4月1日（2010）（歯技工）第249号
組織拡張器による再建手術（乳房（再建手術）の場合に限る。）	令和元年9月1日（2019）（組再乳）第45号
緊急整復固定加算及び緊急挿入加算	令和4年8月1日（2022）（緊整固）第28号
椎間板内酵素注入療法	令和4年4月1日（2022）（椎酵注）第51号
緊急穿頭血腫除去術	令和6年6月1日（2024）（緊穿除）第12号
癒着性脊髄くも膜炎手術（脊髄くも膜剥離操作を行うもの）	令和4年4月1日（2022）（癒脊膜）第7号
内視鏡下鼻・副鼻腔手術V型（拡大副鼻腔手術）及び経鼻内視鏡下鼻副鼻腔悪性腫瘍手術（頭蓋底郭清、再建を伴うもの）	平成26年4月1日（2014）（内鼻V）第3号
乳がんセンチネルリンパ節加算1及びセンチネルリンパ節生検（併用）	平成22年4月1日（2010）（乳セ1）第22号
	平成22年4月1日（2010）（乳セ1）第18号
乳がんセンチネルリンパ節加算2及びセンチネルリンパ節生検（単独）	平成22年4月1日（2010）（乳セ2）第22号

平成22年4月1日(2010)(乳セ2)第18号
 ゲル充填人工乳房を用いた乳房再建術(乳房切除後)

令和元年9月1日(2019)(ゲル乳再)第38号
 食道縫合術(穿孔、損傷)(内視鏡によるもの)、内視鏡下胃、十二指腸穿孔瘻孔閉鎖術、
 胃瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、小腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、結腸瘻閉鎖術(内視鏡に
 によるもの)、腎(腎盂)腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、尿管腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、
 膀胱腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)、腔腸瘻閉鎖術(内視鏡によるもの)

令和4年8月1日(2022)(穿瘻閉)第40号
 経皮的冠動脈形成術(特殊カテーテルによるもの)

令和6年6月1日(2024)(経特)第115号
 経皮的中隔心筋焼灼術

平成24年4月1日(2012)(経中)第24号
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術

平成10年4月1日(1998)(ペ)第40号
 ペースメーカー移植術及びペースメーカー交換術(リードレスペースメーカー)

平成30年11月1日(2018)(ペリ)第28号
 両心室ペースメーカー移植術(経静脈電極の場合)及び
 両心室ペースメーカー交換術(経静脈電極の場合)

平成16年8月1日(2004)(両ペ静)第13号
 植込型除細動器移植術(経静脈リードを用いるもの又は皮下植込型リードを用いるもの)、
 植込型除細動器交換術(その他のもの)及び経静脈電極抜去術

平成14年6月1日(2002)(除静)第13号
 両室ペーシング機能付き植込型除細動器移植術(経静脈電極の場合)及び
 両室ペーシング機能付き植込型除細動器交換術(経静脈電極の場合)

平成20年4月1日(2008)(両除静)第2号
 大動脈バルーンパンピング(IABP法)

平成10年4月1日(1998)(大)第28号
 経皮的循環補助法(ポンプカテーテルを用いたもの)

令和5年5月1日(2023)(経循補)第19号
 経皮の下肢動脈形成術

令和5年10月1日(2023)(経下肢動)第24号
 腹腔鏡下胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

令和元年10月1日(2019)(腹胃切支)第9号
 腹腔鏡下噴門側胃切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

令和3年3月1日(2021)(腹側胃切支)第11号
 腹腔鏡下胃全摘術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

令和元年10月1日(2019)(腹胃全)第9号
 バルーン閉塞下逆行性経静脈的塞栓術

令和4年7月1日(2022)(バ経静脈)第30号
 肝管悪性腫瘍手術(臍頭十二指腸切除及び肝切除(葉以上)を伴うものに限る)

平成28年4月1日(2016)(胆腫)第5号
 腹腔鏡下肝切除術

平成28年10月1日(2016)(腹肝)第43号
 腹腔鏡下臍体尾部腫瘍切除術

平成28年4月1日(2016)(腹臍切)第32号
 早期悪性腫瘍大腸粘膜下層剥離術

平成24年4月1日(2012)(早大腸)第12号
 腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術(内視鏡手術用支援機器を用いる場合)

令和5年9月1日(2023)(腹結悪支)第19号

腹腔鏡下直腸切除・切断術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和2年5月1日（2020）（腹直腸切支）	第11号
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術	平成12年2月1日（2000）（腎）	第44号
腹腔鏡下腎悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの） 及び腹腔鏡下尿管悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	平成30年11月1日（2018）（腹腎尿支器）	第16号
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和3年7月1日（2021）（腹膀胱悪支）	第16号
腹腔鏡下膀胱悪性腫瘍手術	令和3年7月1日（2021）（腹膀胱）	第31号
腹腔鏡下小切開膀胱悪性腫瘍手術	令和3年7月1日（2021）（腹小膀胱悪）	第19号
人工尿道括約筋植込・置換術	平成29年10月1日（2017）（人工尿）	第15号
精巢温存手術	令和6年6月1日（2024）（精温）	第6号
腹腔鏡下前立腺悪性腫瘍手術（内視鏡手術用支援機器を用いるもの）	平成31年3月1日（2019）（腹前支器）	第19号
腹腔鏡下腔式子宮全摘術（内視鏡手術用支援機器を用いる場合）	令和3年8月1日（2021）（腹腔子宮内支）	第14号
腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術（子宮体がんに限る）	令和5年7月1日（2023）（腹子宮）	第18号
体外式膜型人工肺管理料	令和4年4月1日（2022）（体膜肺）	第9号
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の休日加算1	平成26年4月1日（2014）（医手休）	第2号
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の時間外加算1	平成26年4月1日（2014）（医手外）	第2号
医科点数表第2章第10部手術の通則の12に掲げる手術の深夜加算1	平成26年4月1日（2014）（医手深）	第2号
歯科点数表第2章第9部手術の通則第9号に掲げる手術の休日加算1	平成26年4月1日（2014）（歯手休）	第2号
歯科点数表第2章第9部手術の通則第9号に掲げる手術の時間外加算1	平成26年4月1日（2014）（歯手外）	第2号
歯科点数表第2章第9部手術の通則第9号に掲げる手術の深夜加算1	平成26年4月1日（2014）（歯手深）	第2号
医科点数表第2章第10部手術の通則の16に掲げる手術	平成29年5月1日（2017）（胃瘻造）	第165号
医科点数表第2章第10部手術の通則の19に掲げる手術（遺伝性乳癌卵巣癌症候群患者に対する子宮付属器腫瘍摘出術）	令和4年11月1日（2022）（子宮付随伝）	第32号
周術期栄養管理実施加算	令和4年8月1日（2022）（周栄養管）	第17号
輸血管理料（I）	平成26年4月1日（2014）（輸血I）	第40号
輸血適正使用加算	平成26年4月1日（2014）（輸適）	第72号
人工肛門・人工膀胱造設術前処置加算	平成24年4月1日（2012）（造設前）	第18号
胃瘻造設時嚥下機能評価加算	平成29年5月1日（2017）（胃瘻造嚥）	第113号
歯周組織再生誘導手術	平成24年4月1日（2012）（GTR）	第276号
歯根端切除手術の「注3」	平成28年4月1日（2016）（根切顕微）	第11号
麻酔管理料（I）	平成8年4月1日（1996）（麻管I）	第242号

麻酔管理料（Ⅱ）	令和2年12月1日（2020）（麻管Ⅱ）第56号
放射線治療専任加算	令和2年9月1日（2020）（放専）第77号
外来放射線治療加算	令和2年9月1日（2020）（外放）第41号
高エネルギー放射線治療	平成14年4月1日（2002）（高放）第5号
1回線量増加加算	令和2年9月1日（2020）（増線）第48号
画像誘導放射線治療（IGRT）	令和2年9月1日（2020）（画誘）第64号
体外照射呼吸性移動対策加算	令和2年9月1日（2020）（体対策）第29号
定位放射線治療	令和2年9月1日（2020）（直放）第42号
定位放射線治療呼吸性移動対策加算	令和2年9月1日（2020）（定対策）第30号
病理診断管理加算2	平成30年6月1日（2018）（病理診2）第31号
悪性腫瘍病理組織標本加算	平成30年4月1日（2018）（悪病組）第1号
口腔病理診断管理加算1	平成30年6月1日（2018）（口病診2）第9号
クラウン・ブリッジ維持管理料	平成8年4月1日（1996）（補管）第2559号
外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	令和6年6月1日（2024）（外在ベⅠ）第609号
歯科外来・在宅ベースアップ評価料（Ⅰ）	令和6年6月1日（2024）（齒外在ベⅠ）第104号
入院ベースアップ評価料66	令和6年6月1日（2024）（入ベⅠ）第2号

【3】 その他の基準

入院時食事療養（Ⅰ）	昭和60年4月12日（1985）（食）第50号
酸素の購入価格に関する届出	令和4年4月1日（2022）（酸単）第31140号

※令和7年3月31日現在

学 会 名	施 設 認 定
日 本 熱 傷 学 会	專 門 医 研 修 施 設
日 本 遺 伝 性 乳 癌 卵 巢 癌 綜 合 診 療 制 度 機 構	遺 伝 性 乳 癌 卵 巢 癌 綜 合 診 療 協 力 施 設
日 本 リ ウ マ チ 学 会	教 育 施 設
日 本 心 臓 血 管 麻 酔 学 会	心 臓 血 管 麻 酔 專 門 医 認 定 施 設
日 本 産 科 婦 人 科 内 視 鏡 学 会	認 定 研 修 施 設
日 本 救 急 医 学 会	指 導 医 指 定 施 設
日 本 脊 髓 外 科 学 会	日 本 脊 髓 学 会 認 定 研 修 施 設 A
日 本 脳 神 経 外 傷 学 会	研 修 施 設 認 定
日 本 口 腔 学 会	研 修 施 設 認 定
日 本 救 急 医 学 会	名 古 屋 掖 濟 会 病 院 救 急 科
補 助 人 工 心 臓 治 療 関 連 学 会 協 議 会	IMPELLA補 助 循 環 用 ポ ン プ カ テー テル 実 施 施 設

令和6年1月1日現在

名古屋掖済会病院の沿革

1946（昭和21）年	5月2日	診療科目 内科（小児科含む）・外科・眼科・ 耳鼻咽喉科・歯科・放射線科	病床数 30床 6診療科 として開設
1948（昭和23）年	11月8日	病院における診療を開始（開院記念日）	
1951（昭和26）年	7月15日	現病院名 名古屋掖済会病院に改称	
1964（昭和39）年	8月5日	救急病院として告示される	
1968（昭和43）年	7月1日	総合病院の許可を受ける	
1978（昭和53）年	5月23日	救命救急センター開設	病床数 376床
1980（昭和55）年	3月12日	臨床研修を行う病院に指定される	
1984（昭和59）年	8月1日	南館完成	病床数 684床
1985（昭和60）年	4月9日	北館改修	病床数 662床
1988（昭和63）年	3月29日	外国医師または外国歯科医師が行う臨床修練病院に指定 される	
1994（平成6）年	1月1日	病診連携対策室（現 医療連携室）開設	
1996（平成8）年	11月26日	愛知県より災害拠点病院に指定される	
2001（平成13）年	2月19日	日本医療機能評価機構から病院機能評価認定を受ける	
	4月1日	歯科医師臨床研修を行う施設に指定される	
2002（平成14）年	2月1日	オーダリングシステム稼働	
2003（平成15）年	12月15日	緩和・化学療法センター開設	
2004（平成16）年	7月1日	開放型病床（5床）を設置し運用開始	
2005（平成17）年	6月1日	電子カルテの運用開始	
2006（平成18）年	4月3日	新・救命救急センター開設	
2007（平成19）年	9月26日	愛知県より地域医療支援病院の承認を受ける	
2010（平成22）年	2月18日	愛知県より愛知県肝疾患専門医療機関に指定される	
	6月1日	愛知県より愛知県がん診療拠点病院に指定を受ける	
2013（平成25）年	1月1日	卒後臨床研修評価機構から認定を受ける	
2016（平成28）年	11月1日	入院棟完成	病床数 602床
2017（平成29）年	12月1日	地域包括ケア病棟稼働	
2021（令和3）年	3月25日	病児・病後児保育所「キッズポートえきさい」開設	

職 種 別 職 員 数

令和7年（2025年）1月1日現在

本 院

	常 勤		非 常 勤	合 計
	男	女		
医 師	111	55	83	249〔241〕
歯 科 医 師	3	1	4	8〔8〕
研 修 医	25	8		33〔34〕
助 産 師		14	3	17〔16〕
看 護 師	67	551	31	649〔627〕
准 看 護 師		3	2	5〔6〕
看 護 補 助	2	24		26〔26〕
薬 剤 師	17	28	1	46〔44〕
臨 床 検 査 技 師	11	38	3	52〔52〕
診 療 放 射 線 技 師	30	13	1	44〔43〕
歯 科 技 工 士	1			1〔1〕
歯 科 衛 生 士		6		6〔6〕
理 学 療 法 士	18	7	1	26〔24〕
作 業 療 法 士	7	9	2	18〔16〕
言 語 聴 覚 士	2	5		7〔8〕
義 肢 装 具 士		1		1〔1〕
管 理 栄 養 士	2	10		12〔10〕
臨 床 工 学 技 士	9	6	2	17〔15〕
そ の 他 技 師	9	2	2	13〔15〕
医療ソーシャルワーカー	3	6		9〔11〕
事 務	47	93	7	147〔144〕
技 能 労 務 員	1	6	1	8〔11〕
合 計	365	886	143	1,394〔1,359〕

埠頭診療所

医 師			1	1〔1〕
看 護 師			1	1〔1〕
事 務			1	1〔1〕
合 計	0	0	3	3〔3〕

えきさい看護専門学校

副 校 長		1		1〔1〕
教 務 主 任		1		1〔1〕
副 教 務 主 任		2		2〔2〕
専 任 教 員	1	9		10〔10〕
事 務	2	2		4〔4〕
合 計	3	15	0	18〔18〕

〔 〕：令和6年（2024年）1月1日現在の数値

I 医療活動に関する実績

1. 患者数・平均在院日数

(2024年4月1日～2025年3月31日)

各科別患者数

() : 2023年度の数値

	外来患者延数	入院患者延数	平均在院日数
内科	33,961 (34,437)	23,550 (24,920)	19.1 (20.6)
精神科	7,063 (6,954)	532 (460)	3.9 (4.3)
脳神経内科	14,257 (15,478)	16,937 (17,608)	16.9 (17.2)
呼吸器科	20,587 (20,806)	20,614 (18,458)	12.3 (12.6)
消化器科	27,484 (27,705)	21,255 (17,386)	11.8 (11.4)
循環器科	28,731 (29,482)	15,168 (14,871)	9.1 (8.8)
小児科	18,340 (20,645)	4,619 (5,077)	3.3 (3.3)
外科	18,874 (17,954)	16,860 (17,114)	10.3 (11.3)
整形外科・手外科	32,854 (31,223)	20,997 (20,456)	12.1 (12.2)
形成外科	2,517 (2,507)	182 (282)	7.9 (8.4)
脳神経外科	16,500 (15,790)	16,868 (17,714)	18.4 (18.8)
心臓外科	2,514 (2,559)	4,395 (3,512)	22.4 (20.2)
皮膚科	13,785 (13,920)	714 (1,964)	10.8 (17.4)
泌尿器科	15,836 (15,992)	6,110 (7,386)	8.3 (8.4)
産婦人科	15,463 (12,072)	4,849 (5,044)	5.4 (5.9)
眼科	6,035 (5,948)	431 (271)	3.2 (3.0)
耳鼻咽喉科	14,379 (14,616)	1,727 (1,636)	5.6 (6.1)
放射線科	4,560 (4,071)	— —	— —
麻酔科	1,552 (1,598)	— —	— —
歯科	12,141 (12,527)	1,751 (2,037)	4.3 (4.9)
合計	307,433 (306,284)	177,559 (176,196)	11.1 (11.3)
埠頭診療所	437 (432)	—	—

※入院患者延数には退院患者を含みません。

過去3年間の患者数

(単位：人)

	令和4 (2022) 年度	令和5 (2023) 年度	令和6 (2024) 年度
入院患者 延 数	184,922	176,196	177,559
1 日平均	506.6	481.4	486.5
外来患者 延 数	309,093	306,284	307,433
1 日平均	1,272.0	1,260.4	1,265.2

2. 病歴管理課統計 (2024年4月1日～2025年3月31日)

1) 退院患者疾病別統計表<診療科別>(転科を含まない)

コード	病名	総数	精	消	小	外	脳	心	整	皮	泌	産	眼	耳	歯	神	呼	循	形	緩	血	腎	糖	膠	救
I	(A00-B99) 感染症及び寄生虫症	428	0	95	113	14	2	0	4	12	7	2	0	1	1	25	39	25	0	0	10	9	14	10	45
II	(C00-D48) 新生物<腫瘍>	2,721	0	402	15	543	23	1	41	0	379	267	1	34	36	3	518	1	8	123	314	2	4	2	4
III	(D50-D89) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	112	0	13	18	11	0	0	0	0	2	13	0	2	0	2	1	4	0	0	41	1	0	0	4
IV	(E00-E90) 内分泌、栄養及び代謝疾患	473	0	66	120	15	3	0	16	0	1	1	0	0	1	29	11	15	0	0	2	23	121	4	45
V	(F00-F99) 精神及び行動の障害	27	0	2	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	1	1	0	13
VI	(G00-G99) 神経系の疾患	462	0	5	66	2	37	0	32	1	0	0	0	24	0	235	26	12	0	0	2	4	2	0	14
VII	(H00-H59) 眼及び付属器の疾患	136	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	133	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60-H95) 耳及び乳様突起の疾患	81	0	2	8	0	0	0	0	0	0	0	0	61	0	2	0	0	0	0	0	1	0	0	7
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	2,658	0	42	20	6	268	169	1	0	1	0	0	0	0	550	8	1,485	0	0	5	35	9	3	56
X	(J00-J99) 呼吸器系の疾患	2,070	0	142	607	37	0	3	5	0	0	1	0	150	2	52	766	48	0	0	27	33	32	26	139
XI	(K00-K93) 消化器系の疾患	2,149	0	864	12	877	2	0	0	0	3	11	0	4	345	1	3	4	0	1	2	2	3	0	15
XII	(L00-L99) 皮膚及び皮下組織の疾患	152	0	4	32	17	2	2	37	21	1	0	0	2	7	2	1	2	2	0	2	2	1	2	13
XIII	(M00-M99) 筋骨格系及び結合組織の疾患	678	0	8	56	1	210	0	306	0	1	1	0	0	0	14	8	2	0	0	0	15	3	31	22
XIV	(N00-N99) 腎尿路生殖器系の疾患	851	0	59	45	17	1	1	0	0	287	146	0	0	0	28	18	25	0	0	10	116	23	16	58
XV	(O00-O99) 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	450	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVI	(P00-P96) 周産期に発生した病態	125	0	0	125	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00-Q99) 先天奇形、変形及び染色体異常	30	0	0	11	2	4	0	0	0	1	1	0	9	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
XVIII	(R00-R99) 症状、徴候及び異常臨床所見-異常検査所見で他に分類されないもの	60	0	3	43	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	10	0	0	0	2	0	0	0	0
XIX	(S00-T98) 損傷、中毒及びその他の外因の影響	2,131	0	33	118	27	339	21	1,249	1	5	2	0	2	11	8	12	10	11	0	4	3	7	0	268
XX	(V01-Y98) 傷病及び死亡の外因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXI	(Z00-Z99) 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	3	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0
XXII	(U00-U99) 特殊目的用コード	193	0	23	8	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	13	82	12	0	0	7	5	10	5	25
	総数	15,990	0	1,763	1,424	1,571	892	197	1,691	35	690	895	134	290	404	970	1,503	1,646	21	124	430	252	230	99	728

2) 死亡退院患者疾病別統計表<診療科別>

コード	病名	総数	精神	消小	外	脳	心	整	皮	泌	産	眼	耳	歯	神	呼	循	形	緩	血	腎	糖	膠	救
I	(A00-B99) 感染症及び寄生虫症	53	0	4	0	2	1	2	0	1	0	1	0	0	0	1	4	0	0	3	5	6	1	18
II	(C00-D48) 新生物<腫瘍>	379	0	60	0	21	2	0	0	7	5	0	1	1	0	35	0	0	209	35	1	0	0	2
III	(D50-D89) 血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0
IV	(E00-E90) 内分泌、栄養及び代謝疾患	11	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	0	0	0	4
V	(F00-F99) 精神及び行動の障害	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VI	(G00-G99) 神経系の疾患	11	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	7
VII	(H00-H59) 眼及び付属器の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
VIII	(H60-H95) 耳及び乳様突起の疾患	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
IX	(I00-I99) 循環器系の疾患	180	0	17	0	2	17	22	5	0	0	0	1	0	42	4	53	0	0	3	1	2	1	9
X	(J00-I99) 呼吸器系の疾患	139	0	14	0	3	2	0	4	0	3	1	1	0	10	57	5	0	0	3	6	8	3	18
XI	(K00-K93) 消化器系の疾患	35	0	16	0	6	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	2	0	0	2	0	0	1	3
XII	(L00-L99) 皮膚及び皮下組織の疾患	4	0	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
XIII	(M00-M99) 筋骨格系及び結合組織の疾患	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	1	0	0	0	0	0	1	1
XIV	(N00-N99) 泌尿路生殖器系の疾患	24	0	5	0	0	1	1	0	3	0	0	0	0	0	3	3	0	0	2	4	1	0	1
XV	(O00-O99) 妊娠、分娩及び産じょく<褥>	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVI	(P00-P96) 周産期に発生した病態	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVII	(Q00-Q99) 先天奇形、変形及び染色体異常	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XVIII	(R00-R99) 症状、徴候及び検査所見・異常検査所見で他に分類されないもの	54	0	16	0	1	0	0	2	0	1	3	0	0	5	2	7	0	0	4	1	0	1	11
XIX	(S00-T98) 損傷、中毒及びその他の外因の影響	12	0	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	4
XX	(V01-Y98) 傷病及び死亡の外因	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXI	(Z00-Z99) 健康状態に影響を及ぼす要因及び保健サービスの利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
XXII	(U00-U99) 特殊目的用コード	9	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	2
	総数	918	0	138	0	35	31	28	12	1	14	11	1	2	64	112	78	0	209	55	18	18	8	80

3) 診療科別上位3位疾病退院患者数

診療科	ICD-10	病名	総数
全科	J18	肺炎, 病原体不詳	667
	C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	543
	I20	狭心症	498
消化器内科	K80	胆石症	152
	K83	胆道のその他の疾患	111
	K57	腸の憩室性疾患	100
小児科	J46	喘息発作重積状態	119
	J21	急性細気管支炎	98
	T78	有害作用, 他に分類されないもの	97
外科	K40	そけい<鼠径>ヘルニア	192
	K56	麻痺性イレウス及び腸閉塞, ヘルニアを伴わないもの	191
	K35	急性虫垂炎	148
脳神経外科	S06	頭蓋内損傷	142
	M48	その他の脊椎障害	108
	S32	腰椎及び骨盤の骨折	92
心臓血管外科	I71	大動脈瘤及び解離	110
	T82	心臓及び血管のプロステシス, 挿入物及び移植片の合併症	21
	I20	狭心症	14
整形外科・手外科	S72	大腿骨骨折	295
	S52	前腕の骨折	234
	S82	下腿の骨折, 足首を含む	142
皮膚科	L03	蜂巣炎<蜂窩織炎>	16
	B02	帯状疱疹 [帯状ヘルペス]	10
	A46	丹毒	2
	L27	摂取物質による皮膚炎	2
泌尿器科	C61	前立腺の悪性新生物<腫瘍>	139
	C67	膀胱の悪性新生物<腫瘍>	136
	N20	腎結石及び尿管結石	87
産婦人科	O62	娩出力の異常	184
	N87	子宮頸(部)の異形成	65
	O34	既知の母体骨盤臓器の異常又はその疑いのための母体ケア	63
眼科	H25	老人性白内障	130
	H16	角膜炎	1
	H26	その他の白内障	1
	H27	水晶体のその他の障害	1
耳鼻咽喉科	J35	扁桃及びアデノイドの慢性疾患	45
	H81	前庭機能障害	39
	J36	扁桃周囲膿瘍	34
歯科・口腔外科	K01	埋伏歯	156
	K07	歯顎顔面(先天)異常 [不正咬合を含む]	130
	K04	歯髓及び根尖部歯周組織の疾患	25

診療科	ICD-10	病名	総数
脳神経内科	I63	脳梗塞	375
	I61	脳内出血	165
	G40	てんかん	107
呼吸器内科	C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	500
	J18	肺炎, 病原体不詳	461
	U07	エマージェンシーコードU07 (コロナウイルス関連)	82
循環器内科	I20	狭心症	484
	I50	心不全	343
	I48	心房細動及び粗動	213
形成外科	D48	その他及び部位不明の性状不詳又は不明の新生物<腫瘍>	6
	S02	頭蓋骨及び顔面骨の骨折	4
	T24	股関節部及び下肢の熱傷及び腐食, 足首及び足を除く	3
緩和ケア内科	C34	気管支及び肺の悪性新生物<腫瘍>	23
	C18	結腸の悪性新生物<腫瘍>	18
	C25	膵の悪性新生物<腫瘍>	14
血液内科	C92	骨髄性白血病	68
	C83	非ろ<濾>胞性リンパ腫	66
	D46	骨髄異形成症候群	43
腎臓内科	N18	慢性腎臓病	50
	N17	急性腎不全	35
	I50	心不全	31
糖尿病・内分泌内科	E11	2型<インスリン非依存性>糖尿病<NIDDM>	70
	J69	固形物及び液状物による肺臓炎	21
	N39	尿路系のその他の障害	17
膠原病リウマチ内科	J69	固形物及び液状物による肺臓炎	15
	M06	その他の関節リウマチ	8
	N39	尿路系のその他の障害	7
	J18	肺炎, 病原体不詳	7
救急科	T50	利尿薬, その他及び詳細不明の薬物, 薬剤及び生物学的製剤による中毒	89
	J69	固形物及び液状物による肺臓炎	85
	A41	その他の敗血症	31

※精神科は退院患者なし

4) 院内がん登録2023年症例全国集計

院内がん登録とは、各医療機関でがんに関する診断・治療したすべての患者さんにおいてがんの情報・来院経緯・治療内容・予後等の情報を登録する仕組みである。

1. 総登録数：1,357症例

《期間》

2023年1月1日～2023年12月31日

調査用日付(起算日) 自施設診断：自施設診断日

他施設診断：当該腫瘍初診日

《対象症例》

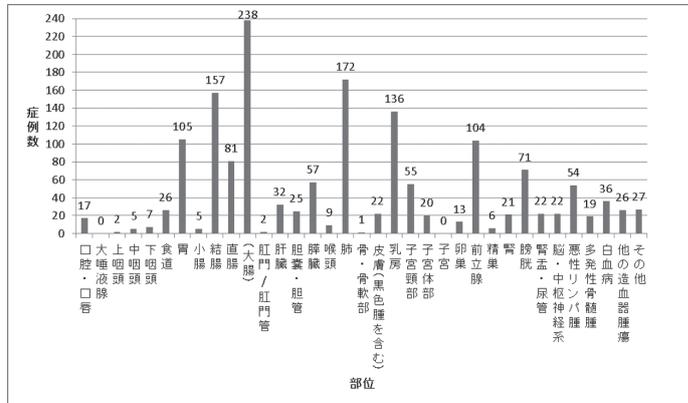
ICD-O-3における形態コードの性状コードが2(上皮内癌)もしくは3(悪性・原発部位)のもの。上記に加えて、以下の腫瘍についても登録対象とする。

- ・頭蓋内に原発した、髄膜・脳・脊髄および中枢神経系に発生した腫瘍
- ・消化管間質腫瘍(GIST)(性状不詳および良性を含む)
- ・境界悪性の卵巣腫瘍の一部

2. 部位別症例数(症例区分80を除く※1)

部位分類コード対応表参照

n = 1,357



※1 症例区分80を除く理由

症例区分80(その他)はセカンドオピニオン症例等に選択される。80の割合が各施設でばらついているため、集計時には除外された。

3. 主要5部位癌症例数(UICC-TNM分類 ステージ別)

《対象症例》

- ・癌腫のみ
- ・症例区分20または30(20:自施設診断・自施設初回治療開始、30:他施設診断・自施設初回治療開始)
- ・術後病理学的ステージにおいては上記に加えて、外科的・体腔鏡的・内視鏡的治療の結果の区分が「手術なし」以外の症例

部位分類コード対応表

部位名	第1段階 ICD-O-3 形態コード	第2段階 ICD-O-3 部位コード
口腔・口唇		C00、C02.0-02.3、 C02.8-02.9 C03.0-C05.0、 C05.8-C06.9
大唾液腺		C07、C08
上咽頭		C11
中咽頭		C01、C02.4、 C05.1-05.2、C09、 C10.0、C10.2-C10.9、 C14
下咽頭		C12-C13
食道		C15
胃		C16
小腸		C17
結腸		C18
直腸 (大腸)		C19-C20 C18-C20
肛門/肛門管		C21
肝臓		C22
胆嚢・胆管		C23-C24
膵臓		C25
喉頭		C10.1、C32
肺		C33-34
骨・骨軟部		C40-C41、C47、C49
皮膚(黒色腫を含む)		C44
乳房		C50
陰・外陰		C51、C52
子宮頸部		C53
子宮体部		C54
子宮		C55
卵巣		C56
前立腺		C61
精巣		C62、C63.0、C63.1
腎		C64
膀胱		C67
腎盂・尿管		C65、C66、C68
脳・中枢神経系		C70、C71、C72、 C75.1-C75.3
甲状腺		C73
悪性リンパ腫	959-972 974-975	
多発性骨髄腫	973、976	
白血病	980-994	
他の造血器腫瘍	995-998、 999	C421
その他		第1段階、第2段階で変換された以外の症例

胃癌 UICC-TNM分類	ステージ別						術前治療後	該当せず	総数
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明			
治療前	－	36	9	11	30	10	－	0	96
術後病理学的	－	36	11	8	3	0	0	0	58

大腸癌 UICC-TNM分類	ステージ別						術前治療後	該当せず	総数
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明			
治療前	5	22	46	42	45	66	－	0	226
術後病理学的	33	36	47	46	19	3	2	0	186

肝臓癌 UICC-TNM分類	ステージ別						術前治療後	該当せず	総数
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明			
治療前	－	2	10	5	12	0	－	0	29
術後病理学的	－	1	4	0	0	0	0	0	5

肺癌 UICC-TNM分類	ステージ別						術前治療後	該当せず	総数
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明			
治療前	0	44	9	30	55	9	－	0	147
術後病理学的	0	18	5	0	0	0	1	0	24

乳癌 UICC-TNM分類	ステージ別						術前治療後	該当せず	総数
	0期	I期	II期	III期	IV期	不明			
治療前	15	50	37	11	10	4	－	0	127
術後病理学的	13	40	26	6	0	0	23	0	108

* 院内がん登録全国集計報告書（国立がん研究センター）に基づき分類、定義、集計した。

* 2025年4月集計時のデータである。

5) 当該2次医療圏または隣接する医療圏に居住するがん患者における診療実績

《期間》

2024年1月1日～2024年12月31日

年間新入院患者数^{*1} 14,523人

年間新入院がん患者数 2,093人

年間外来がん患者延べ数^{*2} 22,500人

年間院内死亡がん患者数 379人

※1 年間新入院患者数とは、がん以外の疾患による入院患者も含めた全入院患者数である。

(例) 同一患者が当該期間に同一主傷病で2回入院した場合は1人とする。

異なる主傷病で2回入院した場合は2人とする。

※2 年間外来がん患者延べ数とは、当院の新来、再来がん患者に診療録作成または記載追加を行ったがん患者延べ数である。

(例) 同一患者が2つ以上の診療科を受診し、それぞれの診療科で診療録の作成または記載の追加を行った場合は2人とする。

	2次医療圏名	外来がん患者延べ数	新入院がん患者数
全患者		22,500	2,093
当該2次医療圏	名古屋・尾張中部医療圏	21,378	1,996
隣接する医療圏	海部医療圏	698	55
	知多半島医療圏	88	9
	尾張西部医療圏	12	0
	尾張東部医療圏	27	1
	尾張北部医療圏	7	7

名称	区域
名古屋・尾張中部医療圏	名古屋市、清須市、北名古屋市、豊山町
海部医療圏	津島市、愛西市、弥富市、あま市、大治町、蟹江町、飛島村
知多半島医療圏	半田市、常滑市、東海市、大府市、知多市、阿久比町、東浦町、南知多町、美浜町、武豊町
尾張西部医療圏	一宮市、稲沢市
尾張東部医療圏	瀬戸市、尾張旭市、豊明市、日進市、長久手市、東郷町
尾張北部医療圏	春日井市、犬山市、江南市、小牧市、岩倉市、大口町、扶桑町

6) 症例登録入力業務実績

I 日本外傷データバンク

日本外傷データバンクとは、日本外傷診療研究機構が運営する、損傷部位の緊急度・重症度情報、手術情報等から外傷診療の質向上を目的とした事業である。

対象期間（入院日）：2024年1月1日～2024年12月31日

1. 総登録数 476症例（男：209 女：267 / 平均年齢：73.2歳）
2. ISS*カテゴリー別症例数と死亡数

※ ISS (Injury Severity Score)：外傷重症度スコア

ISS	症例数	割合
1-8	20	4.2%
9-15	323	67.9%
16-24	47	9.9%
25-40	64	13.4%
41-75	22	4.6%
総数	476	100.0%

ISS	死亡数	割合
1-8	0	0.0%
9-15	11	15.9%
16-24	4	5.8%
25-40	34	49.3%
41-75	20	29.0%
総数	69	100.0%

上記のうち、来院時CPA患者：45症例

II JOANR (Japanese Orthopaedic Association National Registry)

JOANRとは、公益社団法人 日本整形外科学会が運営する、運動器疾患に対する整形外科手術を網羅的に登録した情報から良質な医療の提供、適性レベルの維持を目的とした事業である。

対象期間（手術日）：2024年4月1日～2025年3月31日

1. 総登録数 1,572症例（男：830 女：742）

III 大腿骨近位部骨折調査

大腿骨近位部骨折調査とは、公益社団法人 日本整形外科学会が運営する、骨折型、受傷原因、治療情報から大腿骨近位部骨折の病態を明らかにすることを目的とした事業である。

対象期間（入院日）：2024年1月1日～2024年12月31日

1. 総登録数 293症例（男：81 女：212）
2. 受傷原因/受傷場所別症例数

受傷原因/受傷場所	屋外	屋内	不明	総数
寝ていて・体を捻った	0	1	1	2
立った高さからの転倒	49	199	6	254
階段・段差の踏み外し	1	10	0	11
転落・交通事故	11	1	0	12
記憶無し	0	5	0	5
不明	0	5	4	9
総数	61	221	11	293

IV NCD (National Clinical Database) 症例登録

NCD症例登録とは、一般社団法人National Clinical Databaseが運営する、様々な疾患・治療・手術情報から医療の質向上と医療水準の維持に寄与し最善の医療を提供することを目的とした事業である。

対象期間（手術日）：2024年1月1日～2024年12月31日

1. 診療科別総登録数

診療科	症例数
外科	1,234
循環器内科	490
泌尿器科	285
形成外科	215
心臓血管外科	202
総数	2,426

V JND (Japan Neurosurgical Database)

JNDとは、一般社団法人 日本脳神経外科学会が運営する、日本の脳神経外科領域における診療内容から正確な実態把握を目的とした事業である。

対象期間（入院日）：2024年1月1日～2024年12月31日

1. 総登録数 936症例

VI 日本脆弱性ネットワークレジストリ

日本脆弱性ネットワークレジストリとは、一般社団法人 日本脆弱性骨折ネットワークが運営する、骨粗鬆症に起因した骨折（脆弱性骨折^{*}）患者の急性期治療および二次骨折予防を目的とした事業である。

※ 脆弱性骨折とは立った高さからの転倒を基準にそれよりも弱いわずかな外力で生じる骨折のこと
対象期間（入院日）：2024年1月1日～2024年12月31日

1. 総登録数 270症例（男：69 女：201）
2. 骨折タイプ別症例数

骨折タイプ	症例数
非転位型大腿骨頸部骨折	45
転位型大腿骨頸部骨折	93
大腿骨転子部骨折（頸基部骨折を含む）	126
大腿骨転子下骨折	6
その他	0
総数	270

3. 手術件数・術式等、麻酔件数、中央手術部統計

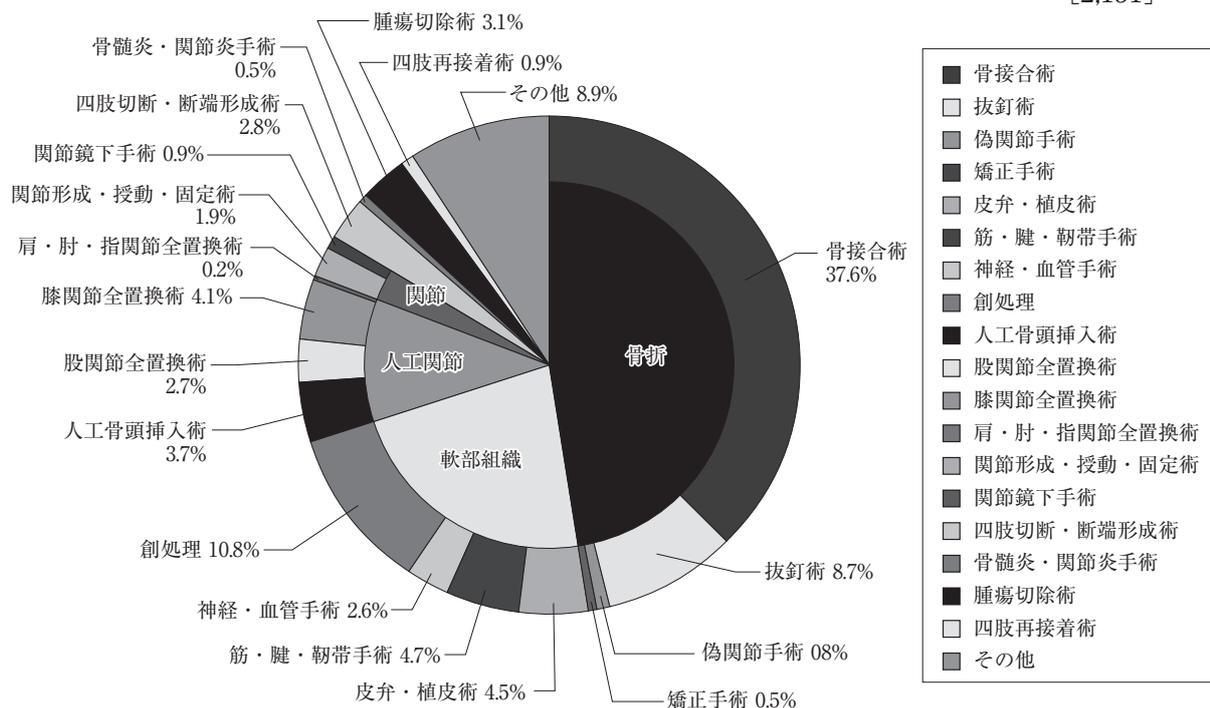
1) 整形外科・手外科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

[] : 2023年4月1日～2024年3月31日

整形外科・手外科手術分類術式別手術件数 (外来手術件数を含む)

術式		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計		
1	骨折	骨接合術	183	223	229	185	820	37.6%
2		抜釘術	47	45	47	51	190	8.7%
3		偽関節手術	6	4	2	5	17	0.8%
4		矯正手術	2	1	5	2	10	0.5%
5	軟部組織	皮弁・植皮術	24	24	25	26	99	4.5%
6		筋・腱・靭帯手術	25	31	29	17	102	4.7%
7		神経・血管手術	20	12	13	11	56	2.6%
8		創処理	38	48	82	68	236	10.8%
9	人工関節	人工骨頭挿入術	21	24	18	17	80	3.7%
10		股関節全置換術	15	12	18	14	59	2.7%
11		膝関節全置換術	26	18	23	22	89	4.1%
12		肩・肘・指関節全置換術	1	1		2	4	0.2%
13	関節	関節形成・授動・固定術	13	13	9	7	42	1.9%
14		関節鏡下手術	6	8	3	3	20	0.9%
15	四肢切断・断端形成	四肢切断・断端形成術	19	11	14	16	60	2.8%
16	骨髄炎・関節炎	骨髄炎・関節炎手術	2	6	2	1	11	0.5%
17	腫瘍	腫瘍切除術	14	13	21	20	68	3.1%
18	四肢再接着	四肢再接着術	6	4	5	5	20	0.9%
19	その他	その他	31	50	51	63	194	8.9%
合計			499	548	596	535	2,178	100.0%

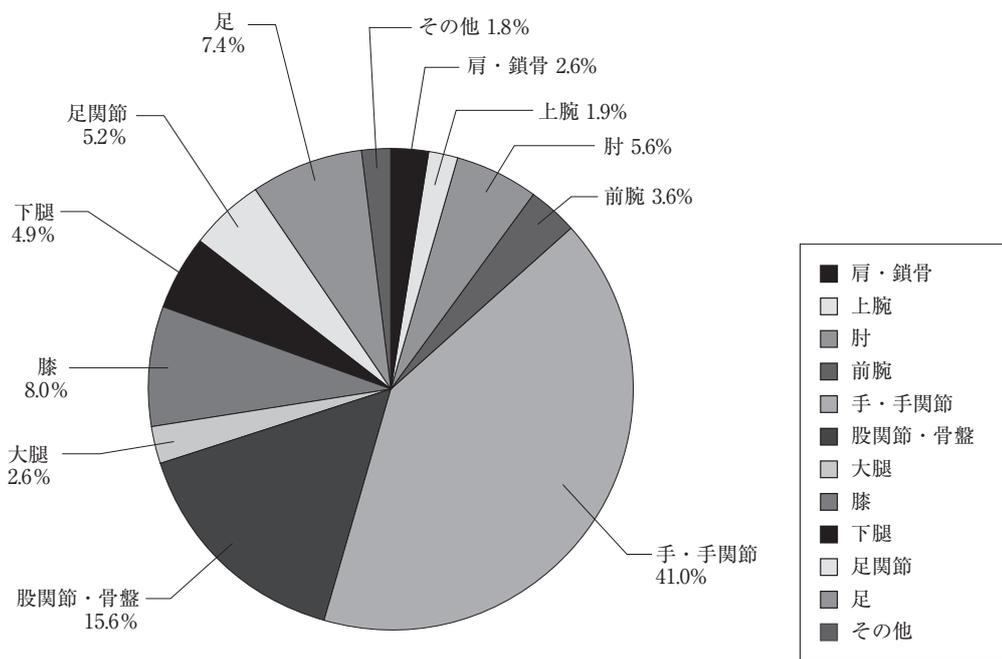
[2,151]



整形外科・手外科手術分類部位別手術件数（2024.4～2025.3）

		4～6月	7～9月	10～12月	1～3月	合計	
1	肩・鎖骨	19	10	12	15	56	2.6%
2	上腕	10	8	11	12	41	1.9%
3	肘	30	33	31	27	121	5.6%
4	前腕	14	31	25	8	78	3.6%
5	手・手関節	204	222	236	230	892	41.0%
6	股関節・骨盤	81	93	92	74	340	15.6%
7	大腿	15	11	15	15	56	2.6%
8	膝	41	41	53	39	174	8.0%
9	下腿	16	30	35	25	106	4.9%
10	足関節	33	22	29	30	114	5.2%
11	足	33	35	42	51	161	7.4%
12	その他	3	12	15	9	39	1.8%
	合計	499	548	596	535	2,178	100.0%

2023年度 [2,151]



整形外科・手外科 月別手術件数（2024.4～2025.3）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
件数	174	178	147	175	183	190	206	195	195	182	173	180	2,178
うち緊急	35	39	42	49	43	47	44	57	55	38	45	46	540

*外来手術を含む

2023年度 [2,151]

2) 外科・肛門科・呼吸器外科・乳腺外科 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)

総手術	1,244例 (284)
全身麻酔	1,025例 (261)
脊椎麻酔	121例 (4)
局所麻酔	98例 (13)
	() 内緊急手術

虫垂炎手術	124例	(119)
ヘルニア手術 (大人)	233例	(39) <63>
ヘルニア手術 (小人)	4例	(4)
痔疾手術	65例	(0)
胆嚢摘出術	123例	(122)
総胆管切石術	0例	(0)
イレウス手術	56例	(10)
小腸悪性腫瘍手術	0例	(0)
腹膜炎手術	61例	(1)
脾臓摘出術	1例	(1)
胃切除術	34例	(5) <21>
胃全摘術	15例	(1) <9>
結腸切除術	102例	(33) <40>
直腸低位切除術	56例	(15) <34>
直腸切断術	3例	(2)
ストーマ造設・閉鎖	43例	(4)
乳癌手術	153例	(0)
甲状腺・上皮小体手術	18例	(0)
副腎手術	6例	(6)
肺切除術	39例	(33)
食道切除術	0例	(0)
膵頭十二指腸切除術	10例	(0)
膵体尾部切除術	3例	(1)
胆嚢悪性腫瘍手術	3例	(0)
肝切除術	21例	(11)
その他	111例	(0)
合計	1244例	(407) <104>

() 内は鏡視下手術 < > 内はロボット支援下手術

3) 眼科 (2024年4月1日～ 2025年3月31日)

[] : 2023年4月1日～ 2024年3月31日の数値

白内障手術 (水晶体再建術)	316件 [229件]
硝子体切除術	0件 [0件]
後発白内障レーザー切除術	54件 [48件]
網膜光凝固術 (通常のもの)	11件 [20件]
同 上 (その他特殊なもの)	59件 [47件]
緑内障：レーザー虹彩切開術	2件 [1件]
翼状片手術	1件 [1件]
角膜・強膜異物除去術	2件 [0件]
前房・虹彩内異物除去術	1件 [0件]
結膜結石除去術	2件 [3件]
結膜縫合術	0件 [1件]
涙点プラグ挿入術	0件 [0件]
眼瞼結膜腫瘍手術	2件 [0件]
霰粒腫摘出術	2件 [1件]
角膜・強膜縫合術	0件 [0件]
マイボーム腺切開術	0件 [0件]
麦粒腫切開術	1件 [1件]
治療的角膜切除術	0件 [0件]
結膜嚢形成術	0件 [1件]
眼瞼膿瘍切開術	0件 [0件]
創部処理	0件 [0件]
皮膚皮下腫瘍摘出術	0件 [0件]
<hr/>	
合計	453件 [352件]

4) 泌尿器科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

ロボット支援下前立腺全摘除術 (RARP)	26件
ロボット支援下膀胱全摘術 (RARC)	6件
ロボット支援下腎部分切除術 (RAPN)	5件
ロボット支援下腎全摘除術 (RARN)	3件
腹腔鏡下腎 (尿管) 摘除術	25件
腹腔鏡下副腎切除術	1件
経尿道的膀胱腫瘍切除術 (TUR-BT)	115件
経尿道的前立腺切除術 (TUR-P)	2件
経尿道的ホルミニウムレーザー前立腺核出術	1件
経尿道的尿路結石除去術 (TUL)	47件
体外衝撃波腎・尿管結石破碎術 (ESWL)	53件
経尿道的膀胱結石摘出術 (TUCL)	12件
高位精巣摘除術	3件
精巣摘除術	2件
精巣捻転整復術	7件
停留精巣固定術	1件
陰嚢水腫根治術	4件
包茎手術	6件
膀胱瘻造設術	8件
経皮的腎瘻造設術	22件
経尿道的電気凝固術	1件
経尿道的尿道ステント留置術	8件
経尿道的尿管ステント抜去術	1件
経尿道的尿管拡張術	2件
尿道拡張術	5件
前立腺針生検 (経直腸)	43件
前立腺針生検 (経会陰)	4件
合計	413件

5) 歯科・口腔外科 (2024年1月～2024年12月)

口腔外科受診症例

調査項目 (58項目)			入力欄 症例数
先天異常・発育異常	唇裂口蓋裂	唇(顎)裂	0
		口蓋裂	0
		唇顎口蓋裂	0
		その他の唇裂口蓋裂	0
	顎変形症	下顎前突症	2
		その他の顎変形症	0
その他の先天異常・発育異常			35
外傷	骨折	歯槽骨骨折	3
		上顎骨骨折	2
		下顎骨骨折	11
		頬骨・頬骨弓骨折	3
	歯の外傷		27
	軟組織創傷		45
炎症	膿瘍		2
	顎骨炎	BRONJ	17
		その他の顎骨炎	81
	上顎洞炎		4
	特異性炎		0
	インプラント周囲炎		6
睡眠時無呼吸症候群			3
インプラント症例			1
口腔粘膜疾患	口腔乾燥症		8
	白板症		35
	扁平苔癬		35
	ウイルス性疾患		0
	その他の口腔粘膜疾患		278
嚢胞	歯源性嚢胞		59
	非歯源性嚢胞		23
	軟組織嚢胞		21
良性腫瘍および腫瘍類似疾患	歯源性腫瘍	エナメル上皮腫	1
		その他の歯源性腫瘍	9
	非歯源性腫瘍		59
	腫瘍類似疾患		9
歯科心身症			9
顎関節疾患	顎関節症		124
	顎関節脱臼		9
	顎関節強直症		0
	咀嚼筋腱・腱膜過形成症		0
神経性疾患	神経痛		5
	神経麻痺		4
	非定型顔面痛		0
	その他の神経性疾患		1

唾液腺疾患	唾液腺炎		1
	唾石症		10
	唾液腺腫瘍	良性唾液腺腫瘍	4
		悪性唾液腺腫瘍	0
悪性腫瘍	癌 腫	口唇	2
		頬粘膜	0
		歯肉	4
		口蓋	1
		舌	8
		口底	0
	肉腫	0	
	悪性黒色腫	0	
	悪性リンパ腫	0	
	その他の悪性腫瘍	0	
歯	P、Perなど		1070
	Perico、埋伏歯、位置異常		869

口腔外科入院手術症例

調査項目（74項目）			入力欄 症例数
A-1	歯・歯槽外科手術	智歯抜歯術	297
		智歯以外の抜歯術	93
		歯根端切除術	7
		その他の手術	10
A-2	補綴前外科手術／顎堤形成手術／ 骨移植手術	顎堤形成術	0
		歯槽骨延長術	0
		骨隆起形成術	4
		その他の手術	0
A-3	口腔・顎・顔面インプラント および関連手術	インプラント植立術	0
		インプラント摘出術	0
		上顎洞挙上術	0
		その他の手術	2
B-1	消炎手術	膿瘍切開術	1
		顎骨骨髓炎消炎手術	0
		腐骨除去術	2
		その他の手術	7
B-2	良性腫瘍・嚢胞・腫瘤形成性疾患 等の手術	軟組織腫瘍切除術	0
		顎骨腫瘍切除術	39
		軟組織嚢胞摘出・開窓術	0
		顎骨嚢胞摘出・開窓術	0
		その他の手術	3
B-3	唾液腺関連手術	唾石摘出術	2
		顎下腺摘出術	1
		舌下腺摘出術	0
		唾液腺良性腫瘍手術	0
		唾液腺悪性腫瘍手術	0
		その他の手術	0

B-4	上顎洞関連手術	口腔上顎洞婁閉鎖術	0
		上顎洞根治術	1
		その他の手術	0
C-1	顎顔面外傷手術/異物除去手術	上顎骨骨折手術	0
		下顎骨骨折手術（関節突起以外）	8
		関節突起骨折術	0
		頬骨・頬骨弓骨折術	1
		顔面多発骨折術	1
		異物除去術	7
		その他の手術	3
C-2	顎変形症関連手術/顎顔面骨延長術	歯槽部骨切り術	0
		Le Fort I型骨切り術	0
		下顎枝垂直骨切り術	0
		下顎枝矢状分割術	0
		オートガイ形成術	0
		骨延長術	0
		舌形成術（巨舌症）	0
		その他の手術	1
C-3	顎関節手術および 関連処置	顎関節鏡視下手術	0
		顎関節形成術	0
		顎関節強直症手術	0
		顎関節脱臼観血的手術	3
		その他の手術	0
D-1	癌／前癌病変関連手術（唾液腺悪 性腫瘍はB-3)	舌部分切除術	1
		舌半側切除術	2
		舌全摘術	0
		頬粘膜・口底・口蓋・口唇切除術	1
		上顎部分切除術	0
		上顎全摘術	0
		下顎辺縁切除術	0
		下顎区域切除術	0
		下顎半側切除術	0
		選択的頸部郭清術	2
		根治的頸部郭清術	1
		その他の手術	0
		D-2	再建外科手術
人工材料を用いた顎骨再建術	0		
自家骨を用いた顎骨再建術	0		
大型の有茎（筋）皮弁を用いた再建術	0		
自家遊離複合組織移植術	2		
その他の手術	0		
D-3	唇顎口蓋裂手術関連	口唇形成術	0
		口蓋形成術	0
		口唇外鼻修正術	0
		顎裂部骨移植術	0
		鼻口腔婁閉鎖術	0
		その他の手術	0

6) 脳神経外科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

年度	2024年	2023年	2022年	2021年	2020年	2019年	2018年	2017年	2016年	2015年	2014年	2013年	2012年
入院患者数	1,047件	1,019件	1,081件	1,085件	836件	717件	598件	515件	501件	565件	567件	550件	525件
通常手術	584件	547件	553件	568件	433件	315件	240件	233件	228件	210件	216件	221件	209件
血管内手術	104件	102件	123件	102件	115件	112件	89件	71件	58件	78件	70件	56件	48件
手術総数	688件	649件	676件	670件	548件	427件	329件	304件	286件	288件	286件	277件	257件
通常手術内訳													
脳動脈瘤	29件	32件	19件	18件	23件	26件	16件	18件	12件	19件	29件	18件	21件
脳内血腫	15件	11件	14件	19件	15件	14件	11件	12件	9件	9件	9件	8件	10件
脳腫瘍	17件	11件	16件	15件	17件	14件	12件	11件	11件	5件	12件	10件	19件
頭部外傷	19件	14件	9件	10件	20件	10件	9件	7件	10件	14件	7件	12件	10件
水頭症	17件	6件	20件	14件	12件	11件	11件	18件	16件	14件	10件	16件	16件
慢性硬膜下血腫	79件	59件	84件	84件	89件	90件	75件	73件	64件	59件	52件	62件	56件
脳膿瘍	0件	1件	1件	1件	0件	1件	4件	3件	4件	0件	2件	1件	3件
頭蓋形成術	7件	12件	14件	14件	16件	10件	6件	7件	7件	5件	12件	8件	13件
脊髄、末梢神経	371件	350件	338件	335件	197件	97件	74件	56件	74件	66件	61件	46件	40件
その他	30件	49件	件	件	44件	42件	22件	28件	21件	19件	22件	40件	21件
血管内手術内訳													
動脈瘤塞栓術	25件	20件	22件	20件	25件	25件	22件	27件	18件	30件			
閉塞性血管障害	74件	77件	92件	78件	70件	78件	60件	38件	36件	45件			
その他	5件	5件	9件	4件	10件	9件	7件	6件	4件	3件			

7) 心臓血管外科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

心臓血管外科手術例

心臓	50	冠動脈	20	1枝バイパス	1
				2枝バイパス	8
				3枝バイパス	10
				4枝以上バイパス	0
				心室中隔穿孔	1
				その他 (Dor) 同時	0
				うち人工心肺非使用冠動脈バイパス	7
		弁膜症	27	人工弁置換	25
				弁形成	2
		先天性	0		0
その他	3		3		
血管	92	大動脈	75	胸部大動脈 (開胸)	30
				胸部大動脈 (ステントグラフト)	18
				腹部大動脈 (開腹)	7
				腹部大動脈 (ステントグラフト)	20
		末梢血管	17	末梢血管	17
シャント	2			内シャント新規作成	2
				内シャント血栓除去	0
ペースメーカー	23			新規	0
				交換	23
その他	33			その他	33
総数	200				

合併手術は主たる手術のみにカウント。

(弁膜症+バイパス手術、大動脈+バイパス手術は、それぞれ弁膜症、大動脈手術のみにカウント)

(弁形成+弁置換は弁置換にカウント)

8) 耳鼻咽喉科 (2024年4月1日～2025年3月3日)

手術件数

	(件)
鼓膜切開術	23
鼓膜(排液、換気)チューブ挿入術	34
外耳道異物除去術(単純なもの)	6
先天性耳瘻管摘出術	8
鼓膜穿孔閉鎖術(一連につき)	4
鼻腔粘膜焼灼術	58
下甲介粘膜レーザー焼灼術(両側)	2
鼻内異物摘出術	1
鼻甲介切除術(その他のもの)	2
粘膜下鼻甲介骨切除術	6
内視鏡下鼻・副鼻腔手術3型(選択的(複数洞)副鼻腔手術)	24
内視鏡下鼻・副鼻腔手術4型(汎副鼻腔手術)	20
鼻副鼻腔腫瘍摘出術	3
鼻中隔矯正術	19
咽後膿瘍切開術	1
扁桃周囲膿瘍切開術	17
咽頭異物摘出術(簡単なもの)	7
咽頭異物摘出術(複雑なもの)	3
口蓋扁桃手術(摘出)	92
深頸部膿瘍切開術	2
気管切開術	5
喉頭蓋嚢腫摘出術	1
喉頭腫瘍摘出術(直達鏡によるもの)	3
喉頭悪性腫瘍手術(全摘)	1
口腔底膿瘍切開術	1
甲状舌管嚢胞摘出術	1
唾液腺膿瘍切開術	1
唾石摘出術(一連につき)(表在性のもの)	4
唾石摘出術(一連につき)(深在性のもの)	1
顎下腺腫瘍摘出術	1
耳下腺腫瘍摘出術(耳下腺深葉摘出術)	1
頸部郭清術併施加算(片側)	1
リンパ節摘出術(長径3センチメートル未満)	14

9) 産婦人科手術・分娩件数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

婦人科

卵巣腫瘍	良性	腹式付属器摘出または腫瘍核出術	15例	
		腹腔鏡下付属器摘出または腫瘍核出術	38例(予防的卵管卵巣摘出術 2例)	
	悪性	悪性卵巣腫瘍手術	9例	
子宮腫瘍	良性	腹式子宮全摘術	16例	
		腹式筋腫核出術	1例	
		子宮鏡手術	15例	
			腹腔鏡下子宮全摘術	36例(ロボット支援下 11例)
			腹腔鏡下子宮筋腫核出術	0例
	悪性		開腹子宮悪性腫瘍手術	20例(広汎子宮全摘 4例)
			腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術	1例
骨盤臓器脱		骨盤臓器脱手術	4例	
子宮外妊娠		腹腔鏡子宮外妊娠根治術	5例	
子宮頸部異形成		子宮頸部円錐切除術	70例	
その他			70例	

合計 300例

産科

分娩	総件数	370例(22週未満 7例)
	帝王切開術	120例
	無痛分娩	50例

10) 中央手術部 (2024年4月1日～2025年3月31日)

手術件数概要

科/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%	前年実績	前年比
外科	107	113	112	105	120	83	113	107	97	97	82	94	1230	21.81%	1159	106.13%
心臓血管外科	14	14	15	8	14	13	18	14	20	27	14	12	183	3.25%	163	112.27%
脳神経外科	47	43	49	45	64	40	45	53	50	55	42	52	585	10.37%	545	107.34%
整形外科・手外科	172	178	145	174	182	189	205	193	194	181	173	178	2164	38.38%	2138	101.22%
産婦人科	31	48	28	40	39	30	43	33	27	33	29	30	411	7.29%	385	106.75%
泌尿器科	28	26	26	32	37	33	37	24	29	30	24	38	364	6.46%	371	98.11%
眼科	30	24	29	33	26	24	28	24	18	30	26	26	318	5.64%	237	134.18%
耳鼻咽喉科	14	12	10	14	11	12	12	12	10	11	7	12	137	2.43%	87	157.47%
歯科・口腔外科	22	14	15	19	21	20	18	20	13	16	15	22	215	3.81%	230	93.48%
形成外科	5	2	1	3	2	1	4	2	0	0	0	0	20	0.35%	33	60.61%
その他	0	0	0	1	1	0	1	0	1	1	3	4	12	0.21%	6	200.00%
合計	470	474	430	474	517	445	524	482	459	481	415	468	5639		5354	105.32%

緊急手術 月別統計 (2024年4月1日～2025年3月31日)

科/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計	%	前年実績	前年比
外科	21	27	22	24	25	21	25	28	26	26	16	19	280	24.65%	256	109.38%
心臓血管外科	3	2	2	0	3	2	6	4	10	6	4	0	42	3.70%	50	84.00%
脳神経外科	14	8	15	9	23	17	11	15	15	16	10	10	163	14.35%	141	115.60%
整形外科・手外科	35	39	41	49	43	47	44	57	55	38	45	45	538	47.36%	507	106.11%
産婦人科	5	12	2	7	7	5	9	6	1	7	4	6	71	6.25%	68	28.00%
泌尿器科	3	5	0	3	2	4	3	1	3	2	0	3	29	2.55%	34	85.29%
眼科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0.09%	0	0.00%
耳鼻咽喉科	0	1	1	0	0	0	0	0	0	1	0	1	4	0.35%	2	200.00%
歯科・口腔外科	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0.18%	5	40.00%
形成外科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.00%	2	0.00%
その他	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	3	2	6	0.53%	3	200.00%
合計	81	94	83	94	103	96	98	111	111	96	82	87	1136		1068	106.37%

11) 形成外科 (2024年1月1日～2024年12月31日)

2024年「年間の麻酔別及び疾患大分類別手術手技数」

集計期間

2024年1月1日～2024年12月31日

	入院	外来	計
全身麻酔での手技数	47	1	48
腰麻・伝達麻酔での手技数			
局所麻酔・その他での手技数	32	160	192
入院または全身麻酔の手技数計：80			
外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他の手技数計：160			
合計係数：160			

※件数の条件

- ・入院手術または全身麻酔手術の手技数の合計が認定施設150以上、教育関連施設80以上であること
- ・「入院手術または全身麻酔手術1例を係数1.0」、「外来での腰麻・伝達麻酔、局麻・その他1例を係数0.5」とした場合の合計係数が認定施設200以上、教育関連施設130以上であること

疾患大分類手技数	入院			外来			計
	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	全身麻酔	腰麻・伝達麻酔	局所麻酔・その他	
外傷	18		18			17	53
先天異常	3					3	6
腫瘍	17			1		107	125
瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド						6	6
難治性潰瘍	4		4				8
炎症・変性疾患	5		9			7	21
美容(手術)							
その他			1			20	21
Extra レーザー治療							

12) 麻酔科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

麻酔科管理症例数 合計3,127

【麻酔法分類】	
全身麻酔(吸入)	1,823
全身麻酔(TIVA)	555
全身麻酔(吸入)+硬・脊、伝麻	456
全身麻酔(TIVA)+硬・脊、伝麻	203
脊髄くも膜下硬膜外併用麻酔	8
硬膜外麻酔	29
脊髄くも膜下麻酔	34
伝達麻酔	2
その他	17
	3,127

【手術部位分類】	
開頭	139
開胸	54
心臓・大血管	130
開胸+開腹	11
開腹(除：帝王切開)	945
帝王切開	27
頭頸部・咽喉頭	244
胸壁・腹壁・会陰	248
脊椎	354
四肢(含：末梢血管)	735
その他	240
	3,127

4. 検査・治療実績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

1) 消化器内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

() : 2023年4月1日～2023年3月31日 [] : 2022年4月1日～2022年3月31日

・上部消化管

上部消化管内視鏡総数	3,152	(2,979)	〔3,151〕
1) 内視鏡的粘膜・ポリープ切除術 (うちESD)	50	(40)	〔 43〕
2) 内視鏡的止血術	88	(72)	〔 81〕
3) 食道静脈瘤結紮術、硬化療法 (EVL, EIS)	27	(29)	〔 38〕
4) 胃瘻造設術 (PEG)	43	(29)	〔 36〕
5) 狭窄拡張術・ステント留置術	13	(16)	〔 6〕

・下部消化管

下部消化管内視鏡検査総数	2,217	(2,087)	〔2,201〕
1) 内視鏡的粘膜・ポリープ切除術 (うちESD)	667	(559)	〔 616〕
2) その他治療 (ステント・止血など)	41	(36)	〔 39〕

・肝臓

1) 経皮的ラジオ波焼灼療法 (RFA)	2	(7)	〔 4〕
2) 経動脈的抗腫瘍剤注入療法 (TAI/TAE)	14	(12)	〔 23〕

・胆道、膵臓

1) 内視鏡的膵胆管造影 (ERCP)	388	(422)	〔 367〕
2) 経皮的ドレナージ			
経皮的胆嚢ドレナージ術 (PTGBA含む)	61	(106)	〔 87〕
経皮的肝膿瘍ドレナージ術	12	(11)	〔 13〕
経皮的胆管ドレナージ術	5	(4)	〔 5〕
3) 超音波内視鏡 (消化管含む)	67	(57)	〔 88〕
超音波内視鏡下穿刺吸引法 (EUS-FNA)	35	(32)	〔 36〕
超音波内視鏡下瘻孔形成術	6	(0)	〔 8〕

2) 膠原病リウマチ内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

院内外初診件数	425件
外来延べ受診数	4785件
入院総数件	106件

3) 呼吸器内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

TBLB (経気管支肺生検)	200件
EBUS-GS (エコー下経気管支肺生検)	94件
EBUS-TBNA (気管支腔内超音波断層法)	99件
CTガイド下経皮肺生検	16件
局所麻酔下胸腔鏡検査	15件
TBLC (経気管支クライオ生検)	12件

4) 循環器内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 検査・手術件数など

1) 心臓カテーテル検査	406
2) 冠動脈インターベンション	471
3) 心筋生検	17
4) 心臓電気生理検査	27
5) カテーテルアブレーション	248
6) EVT	171
7) 心エコー	7,936
8) ホルター心電図	845
9) 長時間ホルター心電図	174
10) トレッドミル運動負荷試験	6
11) CPX	27
12) 心筋シンチグラフィ (負荷と安静合わせて)	210
13) 心アミロイドシンチグラフィ	11
14) 肺血流シンチグラフィ	2
15) その他 (レノグラムなど)	3
16) FDG PET	2
17) 冠動脈CT	404
18) 肺静脈CT	113
19) 心臓MRI	25
20) 新規ペースメーカー植込み (経静脈/リードレス)	26/19
21) 新規ICD/CRT-P/CRT-D/S-ICD植込み	10/3/3/4
22) 植え込み型ループレコーダー	6
23) 着用型除細動器	6
24) デバイス外来患者数	621
25) 遠隔モニタリング	2,797
26) 生理検査室予約外アプノモニター	52
27) CPAP遠隔モニタリング	1,089 (呼吸器内科含む)

5) 腎臓内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

[] : 2023年4月1日～2024年3月31日

透析延べ件数

透 析	外 来	入 院	計
4月	316 [384]	165 [185]	481 [569]
5月	330 [426]	208 [143]	538 [569]
6月	301 [400]	137 [152]	438 [552]
7月	354 [382]	121 [175]	475 [557]
8月	342 [375]	143 [156]	485 [531]
9月	309 [359]	130 [133]	439 [492]
10月	355 [350]	128 [118]	483 [468]
11月	341 [333]	205 [136]	546 [469]
12月	318 [331]	162 [188]	480 [519]
1月	324 [353]	210 [218]	534 [571]
2月	286 [304]	237 [234]	523 [538]
3月	288 [314]	264 [182]	552 [496]
合計	3,864 [4,311]	2,110 [2,020]	5,974 [6,331]

透析以外の体外循環療法としては敗血症、多臓器不全での血圧低下、呼吸状態悪化に対してPMX（エンドトキシン吸着）を、血栓性血小板減少性紫斑病、SLE、ギランバレー症候群、重症筋無力症、多発性硬化症に対して単純血漿交換を、潰瘍性大腸炎に対して白血球除去療法を、閉塞性動脈硬化症に対してレオカーナ療法を施行しました。他に腹水濃縮還流を施行しました。

腎臓内科としては急性腎炎症候群、慢性腎炎症候群、急性腎不全、慢性腎不全、膠原病、血管炎症候群の診断治療をしています。腎生検、透析導入をしています。

6) 血液内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

1) 当科通院患者数

急性白血病：	58件
悪性リンパ腫：	332件
多発性骨髄腫：	81件
骨髄異形成症候群：	91件

2) 化学療法施行数

入院延べ件数：	872件
外来延べ件数：	1896件

3) 骨髄穿刺検査延べ数： 229件

4) 骨髄採取件数： 2件

7) 放射線科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

I 医療活動に関する実績

読影件数 年度	2024										2025		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
2024年度 CT件数	3,753	3,755	3,700	4,088	4,126	3,866	3,874	4,272	4,272	4,252	3,720	3,932	
2024年度 CT読影数	2,819	2,947	2,972	3,397	3,442	3,217	3,195	3,170	3,466	3,459	3,038	3,278	
2024年度 CT読影率(*1)	75.1	78.5	80.3	83.1	83.4	83.2	82.5	74.2	81.1	81.3	81.7	83.4	
2024年度 CT放科読影数(*2)	624	497	578	612	573	512	584	552	593	482	466	544	
2024年度 CT放科読影率	16.6	13.2	15.6	15.0	13.9	13.2	15.1	12.9	13.9	11.3	12.5	13.8	
2024年度 MRI件数	926	955	919	1,035	940	852	1,004	936	943	881	877	902	
2024年度 MRI読影数	632	693	709	819	734	668	783	761	751	688	694	687	
2024年度 MRI読影率	68.3	72.6	77.1	79.1	78.1	78.4	78.0	81.3	79.6	78.1	79.1	76.2	
2024年度 MRI放科読影数	193	169	181	190	168	142	157	146	163	137	143	161	
2024年度 MRI放科読影率	20.8	17.7	19.7	18.4	17.9	16.7	15.6	15.6	17.3	15.6	16.3	17.8	
2024年度 RI件数	89	83	84	89	81	58	73	79	71	86	77	58	
2024年度 RI読影数	74	71	71	78	69	51	62	67	56	74	70	54	
2024年度 RI読影率	83.1	85.5	84.5	87.6	85.2	87.9	84.9	84.8	78.9	86.0	90.9	93.1	
2024年度 RI放科読影数	58	44	51	36	50	33	42	40	38	47	41	30	
2024年度 RI放科読影率	65.2	53.0	60.7	40.4	61.7	56.9	57.5	50.6	53.5	54.7	53.2	51.7	
2024年度 PET-CT件数	68	68	59	77	65	68	59	86	64	54	62	64	
2024年度 PET-CT読影数	67	66	59	77	63	66	58	86	64	54	61	64	
2024年度 PET-CT読影率	98.5	97.1	100.0	100.0	96.9	97.1	98.3	100.0	100.0	100.0	98.4	100.0	
2024年度 PET-CT放科読影数	44	59	42	65	54	64	58	82	62	54	61	64	
2024年度 PET-CT放科読影率	64.7	86.8	71.2	84.4	83.1	94.1	98.3	95.3	96.9	100.0	98.4	100.0	

*1：読影率は、(%)。以下同じ。

*2：放射線科読影数は、全読影数の内数

II 放射線治療に関する実績

原疾患別	血液腫瘍	頭頸部癌	肺・縦隔腫瘍	乳癌	消化器腫瘍	泌尿器腫瘍	婦人科腫瘍	原発不明癌	計
件数	32	7	69	67	12	34	15	6	242
治療部位別	脳・脊髄	頭頸部	肺・縦隔	乳房・胸壁	腹部	骨盤部	骨	皮膚・軟部	計
件数	25	16	32	57	13	33	61	5	242

核医学治療	10
定位放射線治療	40

8) 糖尿病・内分泌内科

糖尿病外来通院患者数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

[] : 2023年4月1日～2024年3月31日

外来糖尿病患者数 1,500名

入院糖尿病患者数 100名

甲状腺検査

甲状腺エコー : 622件 [597件]

甲状腺穿刺吸引細胞診 : 86件 [91件]

9) 脳神経内科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

1) 全入院数 : 1001名

脳卒中	571名
神経変性疾患	43名
神経感染症	17名
その他感染症	112名
発作性・機能性疾患	129名
末梢神経・筋疾患	14名
免疫関連疾患	13名
代謝性疾患	27名
その他・他科疾患	75名

2) 退院時転帰 (脳卒中/他疾患)

転院	330名	[246/ 84]
退院	453名	[217/236]
施設	121名	[41/ 80]
死亡	63名	[44/ 19]
転科	34名	[22/ 12]

3) 転院先内訳

脳卒中 : 回復期リハビリ病院	186名	療養型病院	60名
その他疾患 : 回復期リハビリ病院	15名	療養型病院	67名
一般	2名		

4) 転科先内訳

脳卒中 : 血液内科	2名	膠原病内科	1名
呼吸器内科	1名	整形外科	3名
内分泌科	1名	脳外科	4名
その他疾患 : 救急科	1名	血液内科	1名
循環器内科	1名	消化器内科	1名
脳外科	18名		

5) 脳卒中内訳

脳梗塞	361名	脳出血	166名
TIA	40名	SAH	2名
静脈同血栓	2名		

6) 病型別内訳

脳梗塞：アテローム血栓性脳梗塞	146名
心原性脳塞栓	73名
ラクナ梗塞	64名
BAD	52名
塞栓性脳梗塞（塞栓源不明ESUS）	19名
その他	7名
脳出血：被殻出血	40名
視床出血	50名
脳皮質下出血	43名
脳幹部出血	17名
小脳出血	12名
基底核出血	1名
脳室内出血	1名
尾状核出血	1名
脳出血後遺症	1名

10) 腫瘍内科（毎週水曜日午後）

（2024年4月1日～2025年3月31日）

新規レジメン開始時・レジメン変更時のカルテ確認、および各診療科からのコンサルタント対応、カンサーボードの参加

2022年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	34	29	32	24	27	16	23	43	27	30	51	25
レジメン変更	18	15	23	18	34	14	14	27	18	21	43	18
コンサルタント	13	9	13	15	16	8	17	37	7	22	43	18

2023年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	23	41	18	20	30	32	16	28	28	29	19	21
レジメン変更	16	18	15	19	13	12	17	21	10	37	20	27
コンサルタント	24	23	22	23	23	21	30	17	33	20	21	17

2024年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新規	17	27	17	28	24	17	21	22	27	32	13	27
レジメン変更	18	13	17	16	19	17	22	24	17	27	21	21
コンサルタント	15	25	16	19	26	16	14	16	14	11	13	10

2024年度 キャンサーボード開催記録

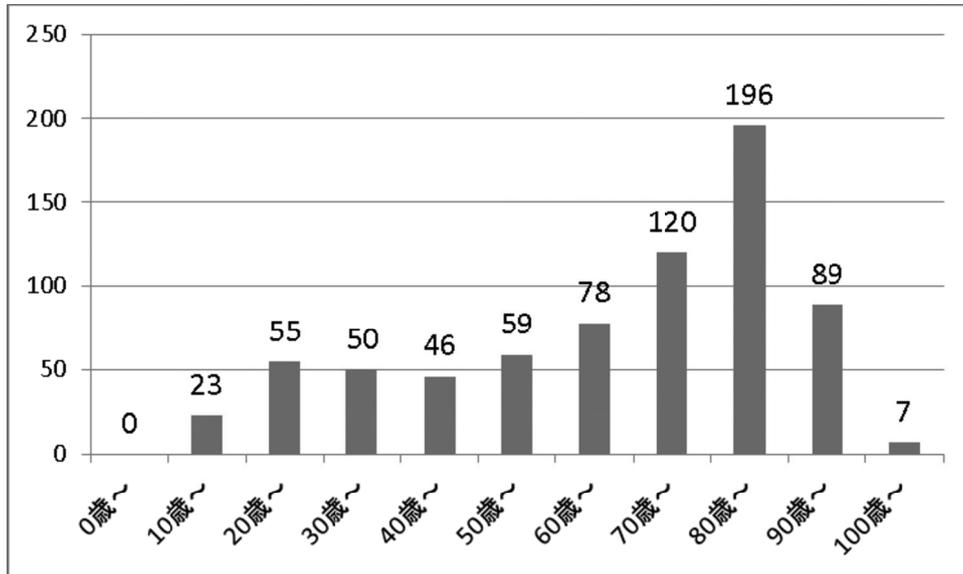
※Ns:看護師、Ph:薬剤師

日にち	時間	場所	参加職種
4月24日	13:30～14:00	化療センター	Dr(消、腫) Ns、Ph
5月1日	15:00～15:30	化療センター	Dr(外、腫)、Ns、Ph
6月5日	15:00～15:30	化療センター	Dr(婦、呼、腫)、Ph
6月5日	15:00～15:30	化療センター	Dr(婦、腫)、Ph
7月17日	15:30～15:50	5南病棟	Dr(歯、腫)、Ns、Ph
7月17日	15:50～16:10	5南病棟	Dr(歯、腫)、Ph
8月27日	9:30～9:50	耳鼻科外来	Dr(耳)、Ns、Ph
8月30日	14:00～14:35	化療センター	Dr(外)、Ns、Ph
9月18日	16:00～16:30	化療センター	Dr(呼、眼科、腫)、Ph
10月2日	16:00～16:35	化療センター	Dr(外、膠、腫)、Ph
10月16日	13:30～14:00	化療センター	Dr(消、外、腫)、Ph
10月16日	16:00～16:30	化療センター	Dr(外、緩、腫)、Ns、Ph
10月23日	15:30～16:00	5南病棟	Dr(外、膠、糖、腫)、Ns、退院調整、PT、ST、Ph
10月23日	13:30～14:30	3東病棟	Dr(婦、放、腎、腫)、Ns、Ph
10月30日	14:00～14:30	化療センター	Dr(外、腫)、Ns、Ph
11月6日	13:00～13:30	化療センター	Dr(外、呼、腫)、Ns、Ph
11月6日	14:30～15:00	化療センター	Dr(消、腫)、Ns、Ph
11月13日	13:45～14:30	化療センター	Dr(外、腫)、Ns、Ph
11月13日	14:00～14:30	化療センター	Dr(外、腫)、Ns、Ph
11月26日	8:50～9:10	耳鼻科外来	Dr(耳)、Ph
11月28日	11:30～12:00	5南病棟	Dr(外)、Ns、Ph
12月19日	13:30～13:50	6南病棟	Dr(脳外、血、腫、放)、Ns、Ph
12月19日	13:50～14:20	6南病棟	Dr(脳外、腫、放)、Ns、Ph
12月19日	14:30～15:30	化療センター	Dr(消、緩、腫、泌、腎内、循)、Ns、Ph
1月8日	14:00～14:40	化療センター	Dr(脳外、消、泌、病理、緩、放、腫)、Ph
1月15日	14:00～15:00	6東病棟	Dr(脳外、血、緩、整形、病理、放、腫、皮)、Ns、MSW、Ph
1月28日	16:00～16:30	化療センター	Dr(耳、腫)、Ph
3月19日	15:00～15:30	化療センター	Dr(歯、腫)、Ns、Ph

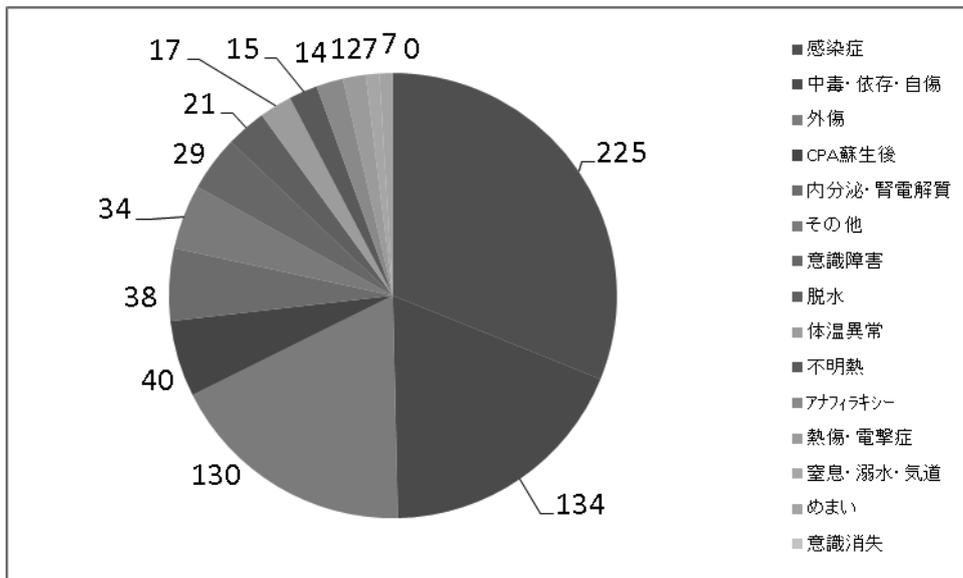
11) 救急科入院患者数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

入院患者数 723名 (男: 371名 女: 352名)

年齢分布



疾患分類別



5. 救命救急センター

1) 実績 令和6年度(2024年4月1日～2025年3月31日)

[] : 2023年4月1日～2024年3月31日の数値

① 受診患者数(人)

時間内	時間外	合計
6,836〔6,907〕	30,978〔30,448〕	37,814〔37,355〕

② 救命救急センターへの紹介患者数及び内訳

	患者数	比率%
センター入院	497〔408〕	13.2%
一般病棟入院	1,567〔1,429〕	41.6%
他医療機関転送	62〔51〕	1.6%
帰宅	1,637〔1,510〕	43.5%
計	3,763〔3,398〕	100.0%

※センター入院とは、救命救急室、ICU、HCUに入院することを指す。

③ 救命救急センター受診者数における入院患者数

	センター入院	一般病棟入院	合計
時間内	540	1,786	2,326
時間外	1,672	3,685	5,357
合計	2,212〔1,884〕	5,471〔5,503〕	7,683〔7,387〕

④ 救急車搬入患者数及び内訳

	センター入院	一般病棟入院	他医療機関転送	死亡	入院外	合計
時間内	431	997	117	85	1,118	2,748
時間外	1,358	1,901	133	314	4,117	7,823
合計	1,789〔1,502〕	2,904〔2,977〕	250〔133〕	399〔372〕	5,235〔5,817〕	10,571〔10,801〕

⑤ 原因発生別入院患者数

	交通外傷	産業災害	その他	計
救急外来患者	488	579	28,665	29,732
センター入院	67	27	2,517	2,611
一般病棟入院	41	109	5,321	5,471
合計	596〔744〕	715〔723〕	36,503〔35,888〕	37,814〔37,355〕

⑥ 入院患者 病類別患者数(人)

	患者数	比率%
01 神経系疾患	1,026	11.5%
02 眼科系疾患	10	0.1%
03 耳鼻咽喉科系疾患	212	2.4%
04 呼吸器系疾患	1,681	18.9%
05 循環器系疾患	940	10.6%
06 消化器系疾患、肝臓・胆道・膵臓疾患	1,584	17.8%
07 筋骨格系疾患	184	2.1%
08 皮膚・皮下組織の疾患	109	1.2%
09 乳房の疾患	20	0.2%
10 内分泌・栄養・代謝に関する疾患	304	3.4%
11 腎・尿路系疾患及び男性生殖器系疾患	540	6.1%
12 女性生殖器系疾患及び産褥期疾患・異常妊娠分娩	152	1.7%
13 血液・造血器・免疫臓器の疾患	241	2.7%
14 新生児疾患、先天性奇形	10	0.1%
15 小児疾患	61	0.7%
16 外傷・熱傷・中毒	1,340	15.1%
17 精神疾患	17	0.2%
18 その他	458	5.2%
合 計	8,889	100.0%

⑦ 入院患者 患者数比率

		患者数	65歳以上	比率%
入院患者	男	4,249	2,594	61.0%
	女	3,434	2,278	66.3%
計		7,683	4,872	63.4%
死亡退院		708	605	85.5%
内訳	救命救急室	176	138	78.4%
	ICU	19	10	52.6%
	HCU	66	59	89.4%
	その他	447	398	89.0%

センター入院内訳	患者数	65歳以上	比率%
救命救急室	1,524	936	61.4%
ICU	90	58	64.4%
HOU	598	437	73.1%
合 計	2,212〔1,884〕	1,431〔1,232〕	64.7%〔65.4%〕

⑧ 受診患者住居地別患者数 (人)・比率 (%)

	市内(Dブロック)					市内 (Dブロック以外)	市外	合計
	中川区	港区	熱田区	中村区	小計			
受診患者数	17,008	11,637	1,431	1,940	32,016	2,335	3,463	37,814
(比率%)	45.0%	30.8%	3.8%	5.1%	84.7%	6.2%	9.2%	100.0%
うち入院患者数	3,577	2,102	298	407	6,384	603	696	7,683
(比率%)	46.6%	27.4%	3.9%	5.3%	83.1%	7.8%	9.1%	100.0%

⑨ 心肺停止患者搬入数（CPA）及び比率%

	人	比率%
循環器疾患	92	20%
脳血管障害	11	2%
外傷	5	1%
多発外傷	15	3%
呼吸不全	52	12%
窒息	7	2%
縊溺	4	1%
その他	257	57%
合計	450	100%

1C死亡患者数	399
---------	-----

⑩ センター受診患者における緊急手術件数

	時間内	時間外	深夜	計
開頭	23	33	10	66〔80〕
開腹	9	20	7	36〔91〕
整形	97	122	27	246〔329〕
婦人科	0	0	0	0〔7〕
開胸	3	10	2	15〔39〕
その他	17	16	5	38〔113〕
合計	149	201	51	401〔659〕

2) Drへり・海保へり利用リスト

(2023年4月1日～2024年3月31日)

No	受付日時	到着時間	時間別	年齢	患者住所	病院名	主訴	科名	傷病名	転帰
1	2024/4/14	17:49	休日	41	愛知県知多市	藤田医科大学病院	祭りの山車が動いている状態で、担ぎ棒が心窩部に差し込み受傷	救急外科	外傷性肝損傷	救命救急室
2	2024/7/22	12:18	時間内	43	岐阜県高山市	高山赤十字病院	動作中のドリルの機械に右上肢が巻き込まれ受傷	救急整形外科・手外科	右前腕切断	HCU
3	2024/8/10	10:17	時間外	62	大阪府松原市	藤田医科大学病院	バイクで走行中、ガードレールに衝突し転倒	救急整形外科・手外科	左大腿骨骨幹部骨折、右大腿骨骨幹部骨折	救命救急室
4	2024/8/19	13:22	時間内	67	愛知県津島市	愛知医科大学病院	バイクで走行中、乗用車の側面に衝突し転倒	救急脳神経外科	外傷性気胸・胸腔に達する開放創合併なし	救命救急室
5	2024/8/22	10:55	時間内	77	愛知県名古屋市	藤田医科大学病院	サーフィン中に浅瀬に転落し頭部を受傷	救急脳神経外科	頸椎損傷	救命救急室
6	2024/9/7	14:59	時間外	14	愛知県津島市	藤田医科大学病院	バイクで走行中、バスと接触し転倒	救急整形外科・手外科	左大腿骨骨幹部開放骨折	救命救急室
7	2024/9/15	15:34	休日	59	愛知県東海市	藤田医科大学病院	トラックから重量1t程のトラクターを降ろす際、トラクターが体の上に落ち、はさまれて受傷	救急心臓血管外科	胸骨骨折	
8	2024/9/21	10:52	時間外	67	岐阜県岐阜市	藤田医科大学病院	エアコン取り付け作業中、2階の作業現場から転落	救急外科	外傷性気胸、外傷性肺挫傷、外傷性肋骨骨折	救命救急室
9	2024/10/15	10:42	時間内	84	愛知県知多市	藤田医科大学病院	農地で前方のトラックが急にバックしたため、トラックの下敷きとなり受傷	救急外科	多発性外傷	HCU
10	2024/11/23	9:46	休日	23	愛知県碧南市	藤田医科大学病院	乗用車運転中、前方の乗用車に衝突し受傷	救急整形外科・手外科	左上腹部打撲傷	
11	2024/12/20	13:17	時間内	6	愛知県名古屋市	愛知医科大学病院	そりで滑り終えて停止中、後ろから衝突され頭部を受傷	救急脳神経外科	脳振盪疑い	
12	2025/1/17	10:55	時間内	40	愛知県名古屋市	藤田医科大学病院	高さ2m程の脚立から、尻餅をつくような形で転落	救急脳神経外科	第2腰椎破裂骨折	
13	2025/3/24	11:35	時間内	80	愛知県知多市	藤田医科大学病院	畑作業中、耕耘機に下腿を挟まれ受傷	救急整形外科・手外科	右下肢切断	HCU

6. 緩和・化学療法センター（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 緩和ケアチーム 診療科/病棟別新規依頼患者のべ人数343人（2024年4月1日～2025年3月31日）

診療科	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
消化器	9	12	10	13	10	4	11	10	7	8	11	18	123
外科	3	3	4	5	7	8	3	3	5	11	6	6	64
呼吸器	6	9	10	6	8	7	6	5	4	7	5	1	74
血液内科	6	6	2	2	8	6	9	3	3	5	3	7	60
循環器	0	0	2	0	1	0	1	0	0	0	1	0	5
婦人科	1	3	3	5	2	4	1	1	0	4	2	1	27
緩和ケア内科	0	0	0	0	0	0	0	1	0	2	1	0	4
泌尿器	2	3	4	3	1	2	2	1	2	3	1	0	24
その他	2	1	1	3	2	3	2	4	0	4	1	1	24
合計	29	37	36	37	39	34	35	28	21	44	31	34	405

2. 緩和ケア病棟入棟患者データ（2024年4月1日～2025年3月31日）

(1) 緩和ケア病棟患者の紹介元

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計
入棟患者総数： (延べ249人)	院外	9	10	6	9	8	8	10	11	4	4	5	0	84
	院内	8	11	11	19	11	11	14	8	14	7	9	12	135
	総計	17	21	17	28	19	19	24	19	18	11	14	12	219

(2) 院外からの緩和ケア入棟患者の紹介元施設

名古屋共立病院、名古屋大学医学部附属病院	4
愛知県がんセンター、クリニックテルミナ、中部ろうさい病院	3
太田内科クリニック、佐藤歯科医院、中京病院、東洋病院、名古屋セントラル病院、 にのクリニック、吉田クリニック	2
愛知学院大学歯学部附属病院、あおなみクリニック、あつた神宮東クリニック、今井医院、 うちで歯科、桜花ホームクリニック、大野皮膚科医院、岡本医院分院、 おしむら歯科・こども矯正歯科クリニック、覚王山内科・在宅クリニック、加藤内科、 木の香往診クリニック中川、協立総合病院、小出内科眼科医院、こうのう内科、小島歯科、 児玉クリニック、小牧市民病院、在宅支援なごや南ホームクリニック、重工大須病院、 しょうわ橋内科外科クリニック、老健)松和苑、スカイル内科・スカイル健康管理センター、 杉山歯科、すずむら歯科医院、総合在宅医療クリニック名駅、だいどうクリニック、 高畑生協診療所、とうじま内科・外科クリニック、富田クリニック、豊橋市民病院、 中川胃腸科外科、ながしま内科、中村内科クリニック、名古屋市立大学病院、 名古屋市立大学医学部附属西部医療センター、名古屋西病院、野崎医院、はやせ希望クリニック、 ひさだファミリークリニック、藤田医科大学ばんたね病院、増子記念病院、松井醫院、 松本ファミリークリニック、まるやま泌尿器科クリニック、三重県立総合医療センター、 水谷クリニック、水谷整形外科・内科クリニック、みずほ在宅支援クリニック、 名港在宅クリニック、八事小林泌尿器科、安間眼科、山本医院	1

(3) 院内からの緩和ケア病棟入棟患者数

病棟	2南	3東	3南	4F	4東	4南	5東	5南	6東	6南	7東	7南	救命救急室	外来	総計
件数	1	9	1	1	2	5	35	11	29	3	27	6	2	3	135

(4) 緊急受け入れ入棟患者（院内外比較）（小数点以下四捨五入）

	緊急	比率	至急	比率	通常	比率	総計
院外	57	26%	2	1%	25	11%	84
院内	11	5%	1	0%	123	56%	135
総計	68	31%	3	1%	148	68%	219

(5) 入棟待ち日数(院内外比率)

	平均値	中央値
院外	28	5
院内	5	2
全体	14	2

(6) 入棟目的別患者数（内訳）

	ターミナル ケア目的	レスパイト ケア目的	看取り 目的	看取り目的ターミナル ケア目的	症状コントロール 目的	総計
院外	3		3	1	128	135
院内	1	1	3		79	84
総計	4	1	6	1	207	219

(7) がん原発部位別（内訳）

部位	女性	男性	総計
脳	1		1
咽喉頭癌	1	1	2
乳癌	9		9
肺癌	19	34	53
口腔癌	2	2	4
子宮癌	4		4
卵巣癌	9		9
食道癌		5	5
胃癌	10	8	18
盲腸癌	2	1	3
直腸癌	7	6	13
十二指腸癌		1	1
小腸癌	1		1
大腸癌	9	10	19
胆管癌	3	1	4
胆嚢癌		1	1
肝臓癌	5	8	13
膵臓癌	11	14	25
腎癌		1	1
前立腺癌		4	4
尿路膀胱癌	2	4	6
悪性リンパ腫	2	7	9
甲状腺癌	1		1
皮膚癌		1	1
悪性中皮腫	1		1
原発不明癌	1	1	2
その他	2	8	10
総計	101	118	219

3. 緩和ケア病棟退棟患者データ (2024年4月1日～2025年3月31日)

(1) 月別退棟患者数 (内訳)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	総計	
退棟患者 (延べ245人)	死亡	15	19	17	23	21	17	23	22	16	12	13	12	210	
	退院	在宅	0	0	0	3	0	1	0	1	1	0	0	0	6
		施設	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		転院	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	2
計	総計	15	20	17	26	21	18	23	23	17	14	13	12	219	

(2) 年齢別、性別 (内訳)

		性別/ 年齢	40代	50代	60代	70代	80代	90代	100代	総計		
退棟患者 のべ人数259名	女		1	8	18	28	37	5	2	99	平均年齢	76歳
	男		2	7	18	41	40	11	1	120	最年少	42歳
計			3	15	36	69	77	16	3	219	最高齢	103歳

(3) 緩和ケア病棟在棟日数

最小	1日
最大	133日
平均	23日
中央値	14日

がんの治療と緩和療法検討委員会

化学療法センター 科別延べ人数と平均人数 (2024年4月～2025年3月)

診療科	年月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
外科		171	156	172	172	183	191	189	168	165	165	159	171	2,062
消化器		91	71	63	50	67	53	54	56	49	66	58	55	733
呼吸器		81	90	66	61	67	67	92	62	61	70	74	79	870
血液		164	171	152	154	154	165	166	158	142	178	147	145	1,896
産婦		33	22	20	25	20	33	26	25	22	22	28	35	311
泌尿器		41	49	41	39	48	40	41	32	40	38	40	43	492
膠原病リウマチ		24	29	23	18	24	26	26	19	33	23	21	21	287
神内		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他		13	10	9	22	15	10	14	20	10	7	5	11	146
合計		618	598	546	541	578	585	608	540	522	569	532	560	6,797
稼働日数		21	21	20	22	21	19	22	20	20	19	18	20	
1日平均人数		29.4	28.5	27.3	24.6	27.5	30.8	27.6	27.0	26.1	29.9	29.6	28.0	

7. 健康管理科 健診実績

(2024年4月1日～2025年3月31日)

健 診 項 目	2024年度 件数	2023年度 件数
半日ドック(契約会社等)	194	
半日ドック(個人)	125	
協 会 け ん ぽ		
一般・付加健診	216	
一般健診	1,439	1,541
子宮がん健診	21	18
船 員 保 険		
中高年健診及び手帳健診	196	190
一 般 健 診	2,309	1,561
特 定 保 健 指 導	61	20
禁 煙 外 来	10	15
コンシェルジュ検診	60	50
予防接種(その他)	1,472	1,635
合 計	5,456	5,456

8. リハビリテーション科

リハビリテーション部実績（件数）2024年4月～2025年3月

診療科	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	当年度合計
理学療法	4,357	4,165	3,364	3,681	3,996	3,419	3,528	3,160	3,508	3,861	3,354	3,649	44,042
心臓リハビリ	633	578	538	653	527	662	691	639	794	875	488	511	7,589
作業療法	1,359	1,234	1,227	1,266	1,227	1,183	1,400	1,214	1,345	1,523	1,462	1,646	16,086
手外科リハビリテーション	1,047	907	900	1,135	1,003	1,122	1,202	1,086	1,111	1,000	1,051	1,272	12,836
言語療法	1,334	1,212	989	1,212	1,186	1,082	1,276	968	1,027	1,089	1,036	1,201	13,612
小計	8,730	8,096	7,018	7,947	7,939	7,468	8,097	7,067	7,785	8,348	7,391	8,279	94,165
義肢装具部門	95	118	90	100	85	94	102	93	112	84	93	97	1,163

診療科	入院	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	当年度合計
脳神経内科		1,750	1,934	1,612	1,977	1,699	1,757	1,812	1,383	1,528	1,751	1,883	1,788	20,874
脳神経外科		1,451	1,342	1,345	1,183	1,272	1,225	1,258	1,042	1,165	1,351	1,390	1,496	15,520
整形外科・手外科		1,189	785	681	925	904	950	957	719	823	1,010	791	1,006	10,740
呼吸器内科		681	516	431	629	579	435	458	479	462	617	542	697	6,526
救急科		612	510	372	425	587	505	601	493	626	782	500	824	6,837
循環器内科		521	485	370	453	639	529	497	535	722	799	376	357	6,283
外科		374	319	258	251	178	202	166	155	168	180	200	101	2,552
消化器内科		366	347	428	309	420	175	233	308	239	212	175	185	3,397
心臓血管外科		249	253	202	174	135	209	300	211	258	250	138	119	2,498
血液内科		238	227	184	247	216	161	264	324	343	221	150	219	2,794
腎臓内科		94	92	31	26	80	58	60	30	33	58	45	66	673
糖尿病・内分泌内科		66	82	23	72	66	62	84	85	90	35	59	112	836
膠原病リウマチ内科		66	46	51	44	116	31	50	41	54	61	44	23	627
泌尿器科		65	29	33	79	22	57	76	36	78	34	44	58	611
歯科・口腔外科		47	42	1	62	52	41	48	54	8		5	24	384
皮膚科		27	8	20					4					59
緩和ケア内科		24	19	16	18									77
形成外科			15											15
耳鼻咽喉科						11	15	1		13	13			53
小児科					13									13
産婦人科		11	14		5		20	5					10	65
小計		7,831	7,065	6,058	6,892	6,976	6,432	6,870	5,899	6,610	7,374	6,342	7,085	81,434
診療科	外来	2024/4	2024/5	2024/6	2024/7	2024/8	2024/9	2024/10	2024/11	2024/12	2025/1	2025/2	2025/3	当年度合計
整形外科・手外科		668	793	733	790	752	796	974	935	962	775	858	969	10,005
循環器内科		223	228	210	243	201	230	247	223	210	196	184	216	2,611
外科		4	4	3	7	5	5	2	2					32
脳神経外科		4												4
形成外科			4	14	10	4	5							37
心臓血管外科			1		5	1		4	8	3	3	6	9	40
救急科												1		1
泌尿器科			1											1
小計		899	1,031	960	1,055	963	1,036	1,227	1,168	1,175	974	1,049	1,194	12,731
総計		8,730	8,096	7,018	7,947	7,939	7,468	8,097	7,067	7,785	8,348	7,391	8,279	94,165

義肢装具部門

項 目	件 数
総 計	1163
ギ プ ス	955
採 寸	72
上肢装具	10
体幹装具	74
下肢装具	36
義 肢	16

9. 遺伝相談室

(毎月第一金曜日、遺伝カウンセリング枠 2枠/日) (2024年4月1日～2025年3月31日)

	相談総数	外科	産婦人科	消化器内科	泌尿器科	循環器内科	心臓血管外科	神経内科	その他
2019年度	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2020年度	14	8	6	0	0	0	0	0	0
2021年度	11	2	6	0	0	1	2	0	0
2022年度	10	8	1	0	0	0	0	0	1
2023年度	20	7	4	0	0	2	0	5	2
2024年度	46	3	37 (うちNIPT35)	1	1	2	0	0	2

※同一クライアントが複数回来談したケースも含めています

※2024.4.1よりNIPT（新型出生前検査）の院内運用開始。NIPTに関わる遺伝カウンセリングも産婦人科領域でカウント。

10. 医療相談室 (2024年4月1日～2025年3月31日)

I 医療活動に関する実績

相談依頼科別件数

相談依頼科別	新規件数			延件数			2023年度		2022年度		2021年度		2020年度		2019年度	
	入院	外来	合計	割合	入院	外来	合計	割合	延件数	割合	延件数	割合	延件数	割合	延件数	割合
呼吸器内科	297	16	313	12.2%	1412	26	1,438	10.7%	1,438	10.7%	1,220	9.6%	894	7.9%	1,257	11.7%
消化器内科	287	4	291	11.4%	1083	27	1,110	8.2%	1,110	8.2%	1,300	10.3%	1,299	11.4%	832	7.7%
循環器内科	187	7	194	7.6%	991	35	1,026	7.6%	1,026	7.6%	915	7.2%	946	8.3%	776	7.2%
血液内科	47	4	51	2.0%	490	20	510	3.8%	510	3.8%	305	2.4%	197	1.7%	329	3.1%
腎臓内科	77	5	82	3.2%	505	16	521	3.9%	521	3.9%	541	4.3%	403	3.5%	408	3.8%
糖尿病・内分泌内科	67	4	71	2.8%	430	4	434	3.2%	434	3.2%	216	1.7%	152	1.3%	263	2.4%
小児科	8	1	9	0.4%	5	3	8	0.1%	8	0.1%	30	0.2%	13	0.1%	22	0.2%
精神科	22	7	29	1.1%	63	23	86	0.6%	86	0.6%	179	1.4%	103	0.9%	111	0.8%
脳神経内科	459	15	474	18.5%	2,880	45	2,925	21.7%	2,925	21.7%	2,630	20.7%	2,371	20.8%	2,236	20.7%
外科・肛門科	107	17	124	4.8%	472	60	532	3.9%	532	3.9%	463	3.7%	385	3.4%	378	3.5%
整形外科・リウマチ科	459	28	487	19.0%	2,072	60	2,132	15.8%	2,132	15.8%	2,112	16.7%	1,818	16.0%	1,738	16.1%
形成外科	1		1	0.0%	8	0	8	0.1%	8	0.1%	33	0.3%	8	0.1%	11	0.1%
脳神経外科	374	19	393	15.4%	1,940	17	1,957	14.5%	1,957	14.5%	1,967	15.5%	1,913	16.8%	1,716	15.9%
心臓血管外科	31		31	1.2%	129	1	130	1.0%	130	1.0%	159	1.3%	108	0.9%	67	0.5%
呼吸器外科	6		6	0.2%	55	0	55	0.4%	55	0.4%	13	0.1%	15	0.1%	9	0.1%
産婦人科	6	8	14	0.5%	15	32	47	0.3%	47	0.3%	28	0.2%	54	0.5%	27	0.3%
眼科		2	2	0.1%	1	7	8	0.1%	8	0.1%	6	0.0%	10	0.1%	21	0.2%
耳鼻咽喉科	6		6	0.2%	20	10	30	0.2%	30	0.2%	31	0.2%	96	0.8%	50	0.5%
皮膚科	12	7	19	0.7%	119	10	129	1.0%	129	1.0%	87	0.7%	79	0.7%	102	0.8%
泌尿器科	45	9	54	2.1%	185	11	196	1.5%	196	1.5%	310	2.4%	239	2.1%	176	1.6%
歯科口腔外科	7		7	0.3%	49	3	52	0.4%	52	0.4%	12	0.1%	20	0.2%	8	0.1%
緩和医療科	5	3	8	0.3%	25	1	26	0.2%	26	0.2%	78	0.6%	59	0.5%	59	0.4%
膠原病内科	17	1	18	0.7%												
その他(診療科なし含む)	61	24	85	3.3%	96	33	129	1.0%	129	1.0%	45	0.4%	191	1.7%	184	1.7%
合計	2,316	243	2,559	100.0%	13,045	444	13,489	100.0%	12,680	100.0%	11,373	100.0%	10,780	99.9%	11,809	99.8%

医療ソーシャルワーカー (社会福祉士)

配置状況 2023年度 8名

統計手法は公益社団法人 日本医療社会福祉協会
SWHS2010ソーシャルワークデータシステムによる

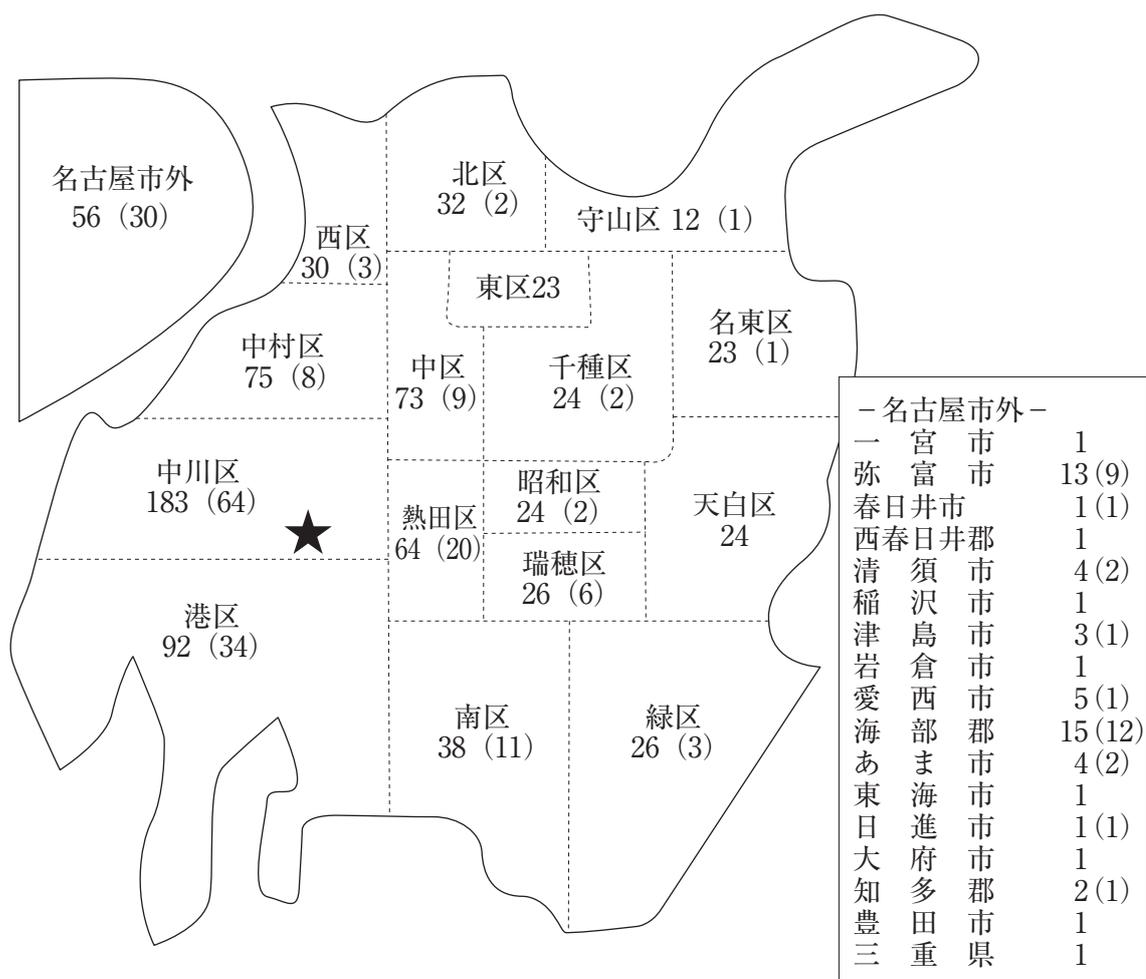
援助分類・援助内容（2024年度分）

援助分類	新規件数	延件数	援助内容	新規件数	延件数	割合
心理・社会的問題	27	119	在宅ケア	2	5	0.0%
			家事・育児・教育	2	4	0.0%
			心理的問題	4	8	0.0%
			情報提供	14	52	0.2%
			その他	1	19	0.1%
退院支援	2,556	12,421	退院先選定	1,648	7,140	23.3%
			在宅ケア	150	517	1.7%
			転院・転施設	1,785	8,334	27.2%
			情報提供	2,136	10,272	33.5%
			その他	131	689	2.2%
受診・受療	134	430	入院相談	7	20	0.1%
			受診相談	33	47	0.2%
			治療	5	24	0.1%
			情報提供	29	51	0.2%
			その他	12	43	0.1%
			苦情クレーム相談	9	18	0.1%
			がんに関する相談	61	290	0.9%
経済的問題	1,044	1,639	経済的な問題	130	445	1.5%
			情報提供	758	1,074	3.5%
			その他	18	63	0.2%
家族への支援	485	1,488	家族の問題	24	63	0.2%
			家族への支援	170	828	2.7%
			情報提供	298	558	1.8%
			その他	8	22	0.1%
社会復帰支援	15	45	就労・復職	11	38	0.1%
			就学・復学			0.0%
			情報提供	8	18	0.1%
			その他	1	2	0.0%
合計	4,261	16,142	合計	7,455	30,644	100.0%

11. 医療連携室（2024年4月1日～2025年3月31日）

1) 名古屋掖済会病院 病診連携システム 地域別登録医数（2025年3月31日現在）

	医療機関数	エキサイネット 利用医療機関数
近隣3区（中川・港・熱田）	339	118
名古屋市内（3区除く）	430	48
名古屋市外	56	30
計	825	196



() はエキサイネット利用施設数

2) 講演会・研修会・勉強会等

2024年度病診連携システムによる症例検討会等勉強会記録 (2024年4月～2025年3月)

月日	曜日	開催時間	内容(演題・テーマ・演者等)	計	院内	院外
4月16日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	6	-	6
5月21日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	6	-	6
6月18日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	6	-	6
6月20日	木	17:30～	感染対策 地域合同カンファレンス	80	14	66
6月26日	水	15:00～	第1回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 「がんの栄養管理」 名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島美保先生 名古屋掖済会病院 栄養科栄養士長 角田こころ先生	114	74	40
6月27日	木	19:00～	中部臨床脳波研究会	17	7	10
7月9日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	5	-	5
8月20日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	7	-	7
8月29日	木	15:00～	第2回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 「がんのリハビリテーション」 名古屋掖済会病院 副院長兼外科部長 加藤祐一郎先生 名古屋掖済会病院 麻酔科医師 本池有希先生 名古屋掖済会病院 リハビリテーション部副木視聴 森雅大先生	91	72	19
9月10日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	6	-	6
9月26日	木	19:00～	中部臨床脳波研究会	21	7	14
10月2日	水	15:00～	地域で心不全患者を支えるための地域多職種シンポジウム	77	44	33
10月8日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	7	-	7
10月23日	水	19:00～	医療連携システムセミナー 『当院における喘息患者の入院と外来診療』 講師:名古屋掖済会病院 呼吸器内科 部長 西尾朋子 先生 『ICL/LABA/LAMA早期治療介入がにたらす予後へのインパクト -心肺リスクを見据えたCOPD管理-』 講師:山口大学医学部付属病院 呼吸器・感染症内科 准教授 平野綱彦 先生	114	56	58
11月6日	水	15:00～	第3回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 「地域多職種交流会」～その人らしく生きる為にACPをふまえて～ 名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島美保先生 株式会社ブラーナ 総括管理者 浅井千春先生	91	72	19
11月19日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	7	-	7
11月26日	火	19:00～	中部臨床脳波研究会	15	7	8
11月27日	水	15:00～	第3回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 「地域多職種交流会」～その人らしく生きる為にACPをふまえて～ 名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島美保先生 医療法人フューチャー山本医院 院長 山本有巖先生	77	44	33
12月4日	水	15:00～	第3回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 「地域多職種交流会」～その人らしく生きる為にACPをふまえて～ 名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島美保先生 桜花ホームクリニック 院長 山口仁先生	40	24	16
12月17日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	7	-	7
12月18日	水	17:30～	第4回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 「がんの放射線治療」～愛知県がん診療拠点病院として～ 名古屋掖済会病院 放射線科医長 近藤拓人先生 名古屋掖済会病院 がん放射線治療看護認定看護師 教育課程修了者 島田安沙子先生	54	31	23
1月15日	水	17:30～	第5回 がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会 当院における内視鏡診断 名古屋掖済会病院 消化器内科部長 内視鏡センター長 大橋暁先生	77	65	12
1月21日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	7	-	7
1月28日	火	15:00～	地域市民講座 人生会議してみませんか? 名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島美保先生	139	0	139
2月18日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	6	-	6

2月22日	土	16:00～	医療連携システム勉強会 『当院における認知証治療について』 講師：名古屋掖済会病院 脳神経内科 部長 加賀友継 先生 『知っておきたい抗Aβ抗体薬の知識と実際 - 認知症治療ではパラダイムシフトが生じてる！ -』 講師：八千代病院 認知証疾患医療センター長 川畑信也 先生	87	44	43
2月27日	木	19:00～	中部臨床脳波研究会	17	5	12
3月10日	月	14:00～	地域市民講座 内視鏡でがんを治療する 名古屋掖済会病院 消化器内科部長 内視鏡センター長 大橋暁先生	172	0	172
3月14日	金	18:00～	名古屋市南部がん診療研修会	44	44	0
3月18日	火	14:00～	胸部レントゲンを読む会 腹部レントゲン勉強会	9		9

2024年度病診連携に関わる各種会議記録（2024年4月～2025年3月）

年月日	曜日	開催時間	会議名	計	院内	院外
5月9日	木	14:00～	2024年度 第1回 地域医療支援病院運営委員会	21	7	14
5月9日	木	15:00～	2024年度 開放型病床運営委員会	13	5	8
9月11日	水	14:00～	2024年度 第2回 地域医療支援病院運営委員会	21	7	14
11月7日	木	14:00～	2024年度 第3回 地域医療支援病院運営委員会	21	7	14
2月13日	木	14:00～	2024年度 第4回 地域医療支援病院運営委員会	21	7	14
2月22日	土	15:30～	病診連携システム運営協議会	9	4	5

3) 科別紹介患者数及び逆紹介患者数 2024年度

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
内 科	紹介患者数	1	4	3	0	0	0	2	3	1	3	6	1	24
	救急車件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診患者数	2	4	4	0	1	1	4	4	3	1	2	2	28
	逆紹介患者数	1	4	3	0	1	0	1	0	0	0	1	1	12
糖内内 尿分 病泌科	紹介患者数	44	41	58	57	53	44	48	49	31	40	37	33	535
	救急車件数	12	10	20	19	19	19	16	14	12	13	15	18	187
	初診患者数	36	30	46	33	36	42	33	26	33	33	28	33	409
	逆紹介患者数	40	40	40	43	45	38	34	40	47	35	37	47	486
血液内科	紹介患者数	33	29	40	42	34	33	33	26	31	20	26	45	392
	救急車件数	9	9	18	8	7	7	8	5	10	1	4	13	99
	初診患者数	26	14	36	38	30	19	29	16	20	19	19	19	285
	逆紹介患者数	31	11	17	35	18	26	21	19	29	15	9	18	249
腎臓内科	紹介患者数	32	33	34	29	37	37	46	25	29	29	27	31	389
	救急車件数	18	15	18	52	44	44	17	15	26	18	9	15	291
	初診患者数	24	23	38	97	68	35	26	17	31	29	25	29	442
	逆紹介患者数	44	49	54	39	49	43	45	42	47	42	37	32	523
精神科	紹介患者数	9	15	9	14	8	12	14	6	12	8	8	11	126
	救急車件数	32	33	35	51	53	53	21	30	37	32	46	31	454
	初診患者数	27	31	25	36	26	35	20	17	33	18	31	26	325
	逆紹介患者数	11	15	15	12	9	19	13	13	15	6	20	16	164
脳内 神 経科	紹介患者数	140	134	127	147	119	115	153	145	118	123	136	116	1,573
	救急車件数	76	75	78	106	96	96	81	92	99	106	102	91	1,098
	初診患者数	193	199	196	238	167	189	168	193	189	206	201	178	2,317
	逆紹介患者数	130	149	146	159	124	141	177	150	165	116	152	155	1,764
呼内 吸 器科	紹介患者数	144	112	121	158	134	127	154	135	162	155	133	153	1,688
	救急車件数	76	70	65	96	102	102	72	71	118	134	79	103	1,088
	初診患者数	163	173	151	229	191	185	198	178	320	317	168	186	2,459
	逆紹介患者数	74	96	82	76	86	90	100	57	73	96	81	98	1,009
循内 環 器科	紹介患者数	162	158	134	162	132	126	147	130	136	142	107	149	1,685
	救急車件数	83	76	74	99	119	119	86	99	148	143	112	104	1,262
	初診患者数	159	165	160	183	167	167	150	157	203	193	153	186	2,043
	逆紹介患者数	242	205	178	190	182	191	194	177	196	178	180	189	2,302
消内 化 器科	紹介患者数	229	212	247	265	236	207	274	255	233	217	231	243	2,849
	救急車件数	96	98	103	126	145	145	95	78	95	135	111	106	1,333
	初診患者数	287	320	316	348	356	298	346	300	366	393	375	409	4,114
	逆紹介患者数	145	146	154	149	143	147	165	158	154	124	145	166	1,796
膠原ウマ病子科 リ内	紹介患者数	30	21	27	20	25	21	25	17	20	20	21	25	272
	救急車件数	6	1	5	6	8	8	4	3	8	4	3	4	60
	初診患者数	22	18	17	15	20	12	17	16	20	13	17	18	205
	逆紹介患者数	13	20	13	16	17	19	22	15	17	11	16	11	190
腫瘍内科	紹介患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	救急車件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	逆紹介患者数	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
小児科	紹介患者数	141	123	133	165	120	124	126	114	133	101	129	129	1,538
	救急車件数	64	62	76	74	45	45	33	52	90	86	55	40	722
	初診患者数	544	565	560	600	487	449	428	462	735	632	476	486	6,424
	逆紹介患者数	50	49	50	46	35	42	52	34	58	55	71	47	589
外科	紹介患者数	112	96	91	101	90	91	103	90	91	86	75	78	1,104
	救急車件数	39	31	27	34	33	33	23	39	40	36	31	33	399
	初診患者数	114	107	99	98	88	98	91	102	100	107	74	87	1,165
	逆紹介患者数	42	39	47	47	60	32	55	54	44	56	64	48	588
整形外科・ 手外科	紹介患者数	197	176	171	208	201	199	204	200	167	162	178	193	2,256
	救急車件数	102	111	106	131	96	96	76	95	117	86	87	96	1,199
	初診患者数	453	453	454	426	457	499	446	472	437	395	377	429	5,298
	逆紹介患者数	218	240	235	221	230	233	238	219	244	235	257	302	2,872

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
形成外科	紹介患者数	20	24	16	18	15	20	18	14	11	12	11	17	196
	救急車件数	8	15	13	16	17	17	10	14	9	8	5	8	140
	初診患者数	64	70	65	71	61	60	72	63	57	45	51	56	735
	逆紹介患者数	1	1	1	1	2	2	6	0	11	10	4	7	46
脳神経外科	紹介患者数	82	74	101	106	95	74	101	69	107	77	76	95	1,057
	救急車件数	105	109	87	100	114	114	92	87	118	106	97	92	1,221
	初診患者数	259	248	254	255	226	232	251	247	270	240	208	229	2,919
	逆紹介患者数	74	70	89	97	75	104	100	77	86	72	72	82	998
心血管外科	紹介患者数	13	11	15	13	19	22	20	12	17	17	10	24	193
	救急車件数	7	8	5	3	11	11	13	8	16	20	17	13	132
	初診患者数	14	10	7	10	10	18	16	10	19	16	20	13	163
	逆紹介患者数	19	22	15	25	9	14	14	26	15	9	20	11	199
皮膚科	紹介患者数	65	62	69	61	63	52	66	77	52	38	41	54	700
	救急車件数	8	9	2	10	12	12	12	11	5	6	4	13	104
	初診患者数	125	134	149	147	143	124	120	129	102	92	77	111	1,453
	逆紹介患者数	24	21	15	16	22	15	25	24	24	16	12	22	236
泌尿器科	紹介患者数	89	73	81	96	72	74	80	74	81	83	63	81	947
	救急車件数	18	12	28	37	31	31	21	26	21	34	14	33	306
	初診患者数	99	89	94	123	114	96	108	98	97	99	76	103	1,196
	逆紹介患者数	41	40	30	48	46	50	39	51	55	59	46	46	551
産婦人科	紹介患者数	73	69	88	83	76	73	87	69	69	83	66	73	909
	救急車件数	8	14	16	14	11	11	9	9	10	6	11	10	129
	初診患者数	62	71	86	85	70	75	64	66	68	70	64	58	839
	逆紹介患者数	30	18	19	18	18	12	15	18	26	16	15	17	222
眼科	紹介患者数	31	38	31	37	33	27	29	21	30	25	27	23	352
	救急車件数	2	1	1	1	2	2	1	0	2	0	2	3	17
	初診患者数	41	47	37	43	33	25	31	21	30	26	26	23	383
	逆紹介患者数	22	26	25	22	27	24	27	15	22	21	23	23	277
耳鼻咽喉科	紹介患者数	77	77	75	72	57	55	65	58	62	70	59	63	790
	救急車件数	28	31	33	43	42	42	33	25	47	43	29	24	420
	初診患者数	214	268	254	339	289	185	208	200	657	689	227	243	3,773
	逆紹介患者数	18	13	13	22	19	20	16	21	18	16	12	10	198
放射線科	紹介患者数	157	155	144	170	126	136	180	169	157	158	136	148	1,836
	救急車件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診患者数	101	112	110	125	84	104	137	117	106	102	99	112	1,309
	逆紹介患者数	152	146	140	165	123	134	177	164	150	149	133	143	1,776
歯口腔外科	紹介患者数	156	187	156	207	135	147	148	158	130	145	147	174	1,890
	救急車件数	10	5	7	7	8	8	1	11	4	2	1	4	68
	初診患者数	288	317	287	344	276	283	288	305	259	263	247	297	3,454
	逆紹介患者数	180	151	154	163	185	164	178	127	158	136	166	175	1,937
緩和ケア科	紹介患者数	10	7	7	9	10	14	12	9	6	7	6	7	104
	救急車件数	4	1	2	2	4	4	4	6	1	2	2	1	33
	初診患者数	0	1	0	1	2	2	1	1	2	1	3	1	15
	逆紹介患者数	0	2	1	2	1	1	1	1	0	1	1	0	11
麻酔科	紹介患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	救急車件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診患者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	逆紹介患者数	0	0		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
健康管理科	紹介患者数	0	0	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	3
	救急車件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	初診患者数	0	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	3
	逆紹介患者数	0	0		0	0	0		0	0	0	0	0	0
合計	紹介患者数	2,047	1,931	1,978	2,240	1,891	1,831	2,136	1,925	1,887	1,821	1,756	1,966	23,409
	救急車件数	811	796	819	1,035	1,019	1,019	728	790	1,033	1,021	836	855	10,762
	初診患者数	3,317	3,470	3,445	3,884	3,402	3,234	3,253	3,217	4,157	3,999	3,044	3,334	41,756
	逆紹介患者数	1,602	1,573	1,536	1,612	1,526	1,561	1,715	1,502	1,654	1,474	1,574	1,666	18,995

12. 入退院支援室実績報告

1) 令和6年度入院支援室実績報告（4月～3月）

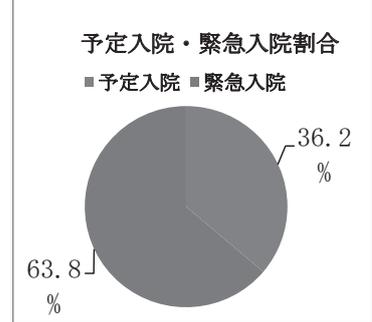
令和3年1月より、麻酔科外来設置され周術期の入院支援（歯科衛生士・手術室看護師）開始

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
血液内科	11	10	8	19	10	9	15	16	10	6	10	12	136
腎臓内科	2	7	4	5	3	3	3	4	3	4	1	4	43
内分泌科	3	5	4	4	5	6	2	6	2	8	2	3	50
神経内科	6	2	1	4	2	3	2	2	1	5	4	4	36
呼吸器科	46	42	34	36	39	33	30	29	40	47	40	43	459
消化器科	25	38	29	27	36	29	33	36	27	32	29	27	368
循環器科	60	73	79	70	103	68	60	55	48	78	55	72	821
膠原病科	1	1	0	1	0	0	1	2	1	1	0	2	10
小児科	14	11	10	17	7	16	5	15	12	22	17	14	160
外科	72	67	75	73	78	55	81	71	62	64	69	58	825
整形外科	72	71	54	68	78	76	90	75	53	74	66	51	828
脳外科	30	29	25	23	16	16	36	26	23	22	20	31	297
心臓外科	8	3	5	12	7	12	7	6	10	11	9	14	104
泌尿器科	42	42	40	59	52	49	46	27	42	41	40	31	511
産婦人科	25	18	27	29	20	17	20	18	17	22	19	12	244
耳鼻科	11	14	12	15	13	14	13	17	10	10	8	16	153
口腔外科	25	36	19	50	39	27	24	28	23	34	33	42	380
皮膚科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
精神科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
緩和科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
救急科	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1
眼科	11	13	12	12	10	11	12	11	7	14	11	12	136
形成外科	2	2	2	1	1	3	3	0	0	0	0	0	14
合計	466	484	440	525	519	447	483	444	391	495	433	449	5,576

入院患者に対する入院支援室介入率（入院支援室にて介入した実人数/DPC様式1の（予定入院）の数（入院日で抽出））

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
入院支援数	466	484	440	525	519	447	483	444	391	495	433	449	5,576
予定入院数	515	477	483	545	523	480	535	488	444	490	457	513	5,950
入院支援介入率	90.5%	101.5%	91.1%	96.3%	99.2%	93.1%	90.3%	91.0%	88.1%	101.0%	94.7%	87.5%	93.7%

入院支援数：入院支援室にて支援介入した実人数（入院日で抽出）



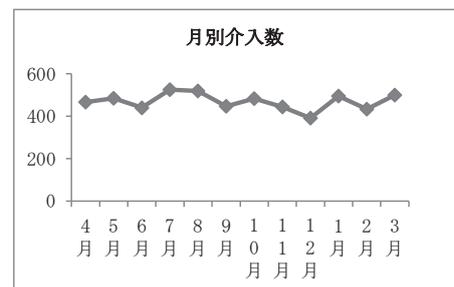
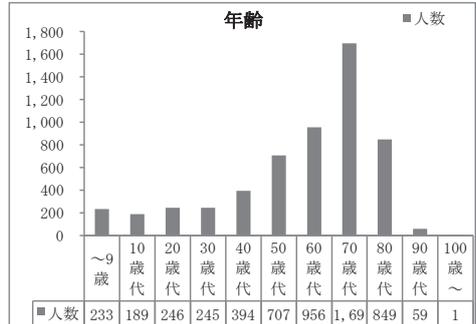
介入から入院までの日数

入院まで	件数	介入から入院までの日数	割合
1日	24		
2日	304		
3日	210		
4日	265		
5日	255		
6日	332		
7日	415	1,805	32%
8日	410		
9日	277		
10日	206		
11日	193		
12日	216		
13日	222		
14日	211	1,735	31%
15日	205		
16日	143		
17日	99		
18日	103		
19日	115		
20日	134		
21日	92	891	16%
22~30日	572		
31~60日	491		
61~日	82	1,145	21%
計	5,576		

麻酔科	入院まで3週以上の内訳	
	22日から30日	31日以上
消化器科	53	27
外科	54	27
整形外科	74	68
脳外科	9	6
泌尿器科	60	44
耳鼻科	17	5
口腔外科	41	53
眼科	7	5
呼吸器科	12	17
産婦人科	21	33
循環器科	126	244
心臓外科	4	16
内分泌科	3	1
形成外科	1	4
血液内科	5	2
神経内科	1	2
膠原病科	0	0
小児科	30	68
腎臓内科	3	2
皮膚科	0	0
精神科	0	0
緩和科	0	0
救急科	0	0
合計	521	624

平均面談時間 分	
事務	8.2
薬剤師	4.6
看護師	20.6
計	33.4

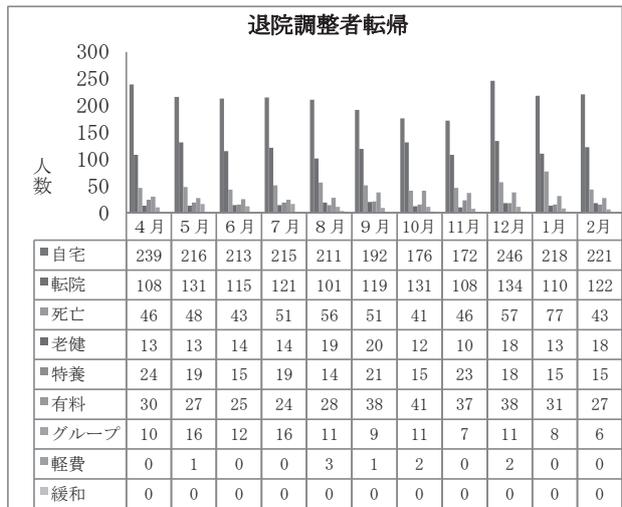
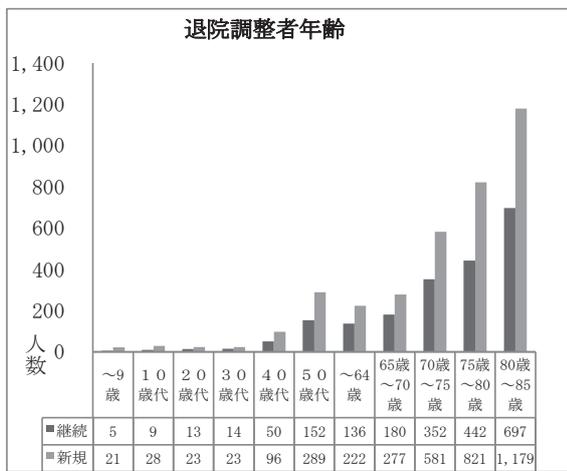
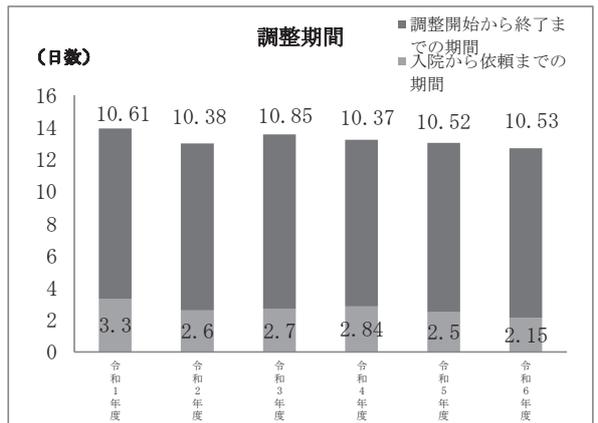
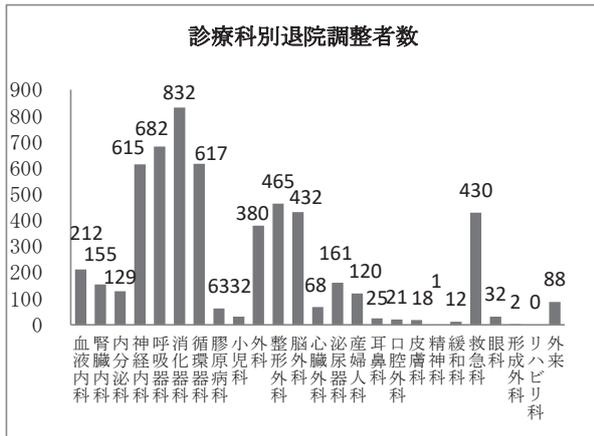
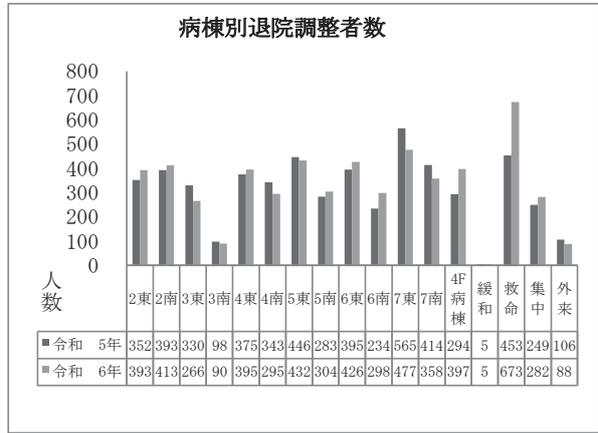
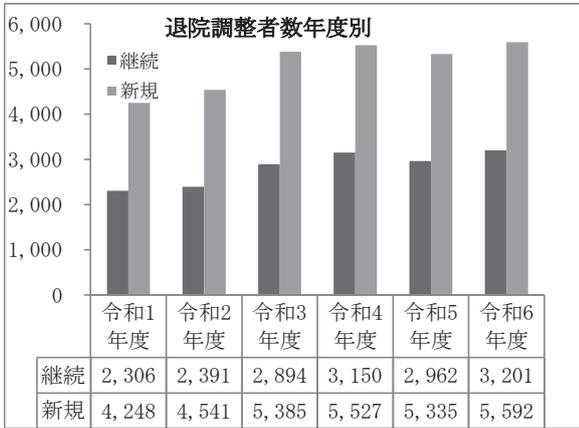
記録・情報収集時間含まず



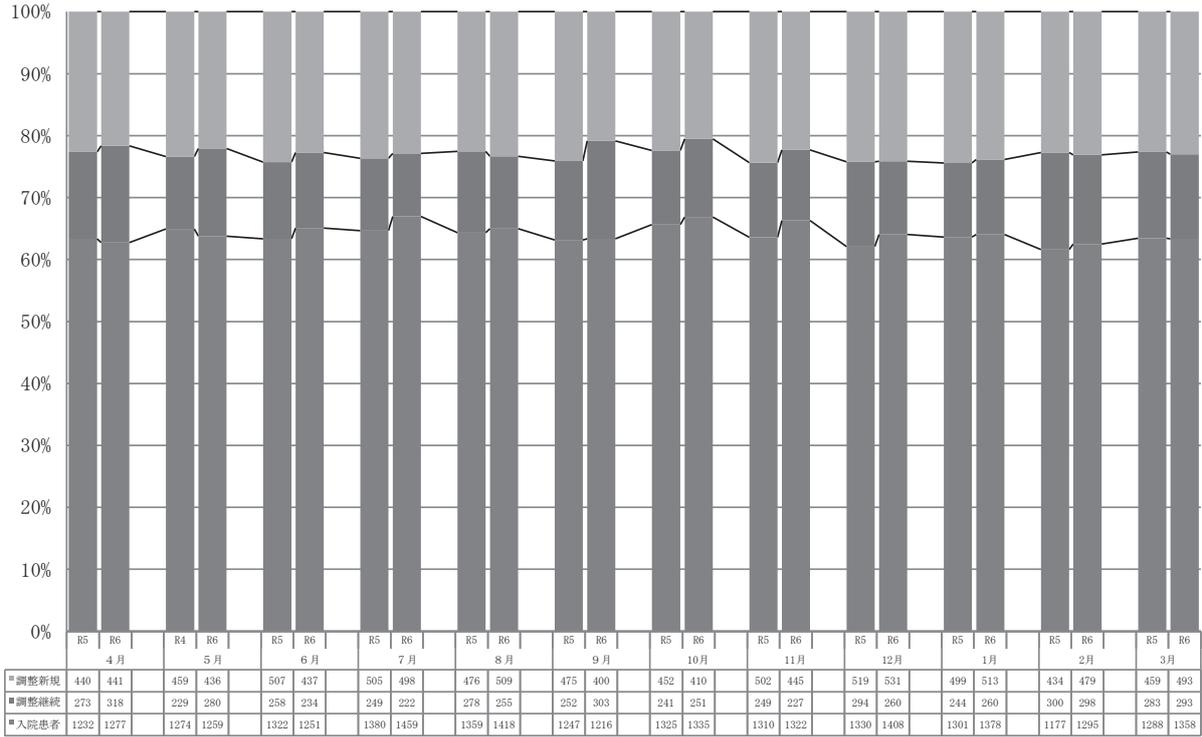
2) 令和5年度退院調整室実績報告

入院数に対する退院調整者数月別 (人)

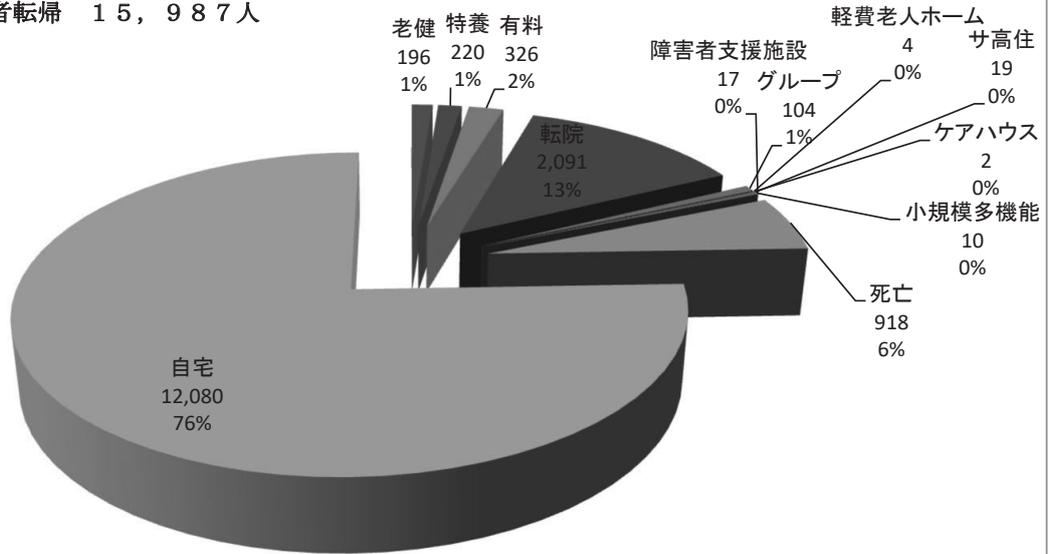
	4月		5月		6月		7月		8月		9月		10月		11月		12月		1月		2月		3月		令和6年度 合計
	R5	R6																							
入院患者	1,207	1,277	1,314	1,259	1,345	1,251	1,387	1,459	1,373	1,418	1,198	1,216	1,305	1,335	1,310	1,322	1,263	1,408	1,302	1,378	1,301	1,295	1,293	1,358	15,976
調整継続	249	318	225	280	263	234	238	222	255	255	237	303	248	251	233	227	240	260	197	260	271	298	306	293	3,201
調整新規	417	441	444	436	435	437	466	498	464	509	402	400	443	410	438	445	430	531	450	513	481	479	465	493	5,592



入院数に対する退院調整者数月別



令和6年度退院者転帰 15,987人



	自宅	転院	死亡	特養	有料	老健	グループ	サ高住	小規模多機能	障害者支援施設	軽費老人ホーム	ケアハウス	合計
件数	12,080	2,091	918	220	326	196	217	19	10	17	4	2	15,987
割合	75.6%	13.1%	5.7%	0.0%	2.0%	1.2%	0.7%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	100.0%

3) 地域連携と教育活動

1. 院内開催

1) 地域で心不全患者を支えるための地域多職種シンポジウム

開催日：令和6年10月2日（水） 15時～16時30分

内 容：第1部 講演 「これからの心不全診療」

第2部 シンポジウム テーマ「地域で心不全患者を支えるためには」

対 象：中川区・港区・熱田区・訪問看護師・ケアマネージャー・障害者相談支援専門員・
当院職員

講演者：第1部 名古屋掖済会病院循環器内科部長 谷村 大輔医師

第2部 コーディネーター 中川区医師会長 松本ファミリークリニック院長

松本 幸三先生

シンポジスト プラーナ昭和橋訪問看護ステーション統括管理者

浅井 千春看護師

名古屋掖済会病院 循環器内科部長 谷村 大輔医師

慢性心不全看護認定看護師 梅田 香織

薬剤部 心不全療養指導士 加藤 まゆ

リハビリテーション部 理学療法士 恒川 裕気

栄養科 管理栄養士 角田こころ

場 所：名古屋掖済会病院 救命センター4F 講堂（ハイブリッド方式 zoom参加の方は配信のみ）

参加者：院外33名（医師・歯科医師・薬剤師・看護師・ケアマネージャー・MSW・障害者
相談支援専門員）

院内44名（医師・薬剤師・看護師・MSW・リハビリ・栄養士・事務）

2) がん患者のシームレスな医療・支援を考える多職種勉強会

開催日：令和6年11月6日（水） 15時～16時30分

内 容：「地域多職種交流会」～その人らしく生きる為にACPをふまえて～

対 象：中川区・港区・熱田区・医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネージャー・障害者相
談支援専門員等 当院職員

講演者：名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島 美保医師

プラーナ昭和橋訪問看護ステーション統括管理者 浅井 千春看護師

場 所：名古屋掖済会病院 救命センター4F 講堂（ハイブリッド方式）

参加者：院外19名（医師・薬剤師・訪問看護師・MSW・障害者相談支援専門員）

院内72名（看護師・MSW・リハビリ）

開催日：令和6年11月27日（水） 15時～16時30分

内 容：「地域多職種交流会」～その人らしく生きる為にACPをふまえて～

対 象：中川区・港区・熱田区・医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネージャー・障害者相
談支援専門員等 当院職員

講演者：名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島 美保医師

医療法人フューチャー山本医院 院長 山本 有厳医師
場 所：名古屋掖済会病院 救命センター4F 講堂（ハイブリッド方式）
参加者：院外33名（薬剤師・訪問看護師・MSW・障害者相談支援専門員）
院内44名（医師・薬剤師・看護師・MSW・リハビリ・栄養士）

開催日：令和6年12月4日（水） 15時～16時30分

内 容：「地域多職種交流会」～その人らしく生きる為にACPをふまえて～

対 象：中川区・港区・熱田区・医師・薬剤師・訪問看護師・ケアマネージャー・障害者相談支援専門員等 当院職員

講演者：名古屋掖済会病院 緩和ケア内科部長 小島 美保医師
桜花ホームクリニック 院長 山口 仁医師

場 所：名古屋掖済会病院 救命センター4F 講堂（ハイブリッド方式）

参加者：院外16名（薬剤師・訪問看護師・障害者相談支援専門員）

院内24名（医師・薬剤師・看護師・MSW・リハビリ・栄養士）

2. 院外参加

1) 中川区在宅医療介護研究会（第37～39回）

主 催：中川区はち丸在宅支援センター

内 容：「在宅医療・介護連携に関すること」等について 現状把握と課題の抽出・対応策の検討

日 時：第37回：令和6年6月13日 13時30分～

第38回：令和6年11月14日 13時30分～

第39回：令和7年3月13日 13時30分～

場 所：中川区休日急病診療所 3階会議室

参加者：地域医療支援センター副センター長 入退院支援室看護師1名 MSW 1名

13. 診療補助部門

1) 看護部

■スタッフ

看護部長 山口弘子
副看護部長 水谷由香里(総務)
山田秀則(業務)
水貝和恵(地域)
中村裕子(教育)
中條朱子(医療安全)

看護職員数 685名
看護師 680名 (常勤 635名 非常勤 45名)
准看護師 5名 (常勤 1名 非常勤 4名)

(令和6年4月1日現在)

■基本理念

当院は、地域に根ざし、地域の基幹病院として24時間365日断らない救急、高度・先進医療を提供することにより地域住民の命と健康を守ることを使命としている。私たち看護部は、専門職としての自覚を持ち、看護職としての能力の維持・向上に努め、チーム医療の中心となって、地域と連携しながらよりよい看護を提供することを目指している。

1. 看護部基本理念

えきさい(導き、たすける)の精神に基づき、患者さんひとりひとりを大切にし、命を守り、苦痛を和らげ、住み慣れた地域で長く過ごせるよう支援すること

2. 看護部基本方針

- 1)安全を最優先に看護を行います
- 2)私たちは、知識を深め、技術を磨いていきます
- 3)最新情報を取り入れ、チーム医療を充実します
- 4)地域の皆様と共に健康について考え、支援いたします

■看護部の組織と体制

1. 看護部組織

病棟部門	7東、7南、6東、6南 5東、5南、4東、4南、3東、3南、2東、2南、4F、緩和ケア
救急・中央部門	初療室、救命救急室、集中治療室(ICU / HCU) 中央手術室、中央放射線部、透析室
外来部門	外来、外来化学療法センター、健康管理科
地域連携部門	入退院支援室
管理部門	看護部管理室、専任室(教育専任・認定看護師・看護部RRT) 医療安全管理室

2. 看護部委員会活動

2024年度 看護部委員会活動

看護部委員会名	活動内容
看護部感染対策委員会	1.手指衛生直接観察実施 2.リンクナースの活発な実践活動への支援
看護部安全対策委員会	1. 事例検討会とリンクナースの部署活動への支援 2.内服に関する誤薬予防 3.不要な身体拘束の削減
院内認定資格育成・管理委員会	1.IVナースに関するマニュアル整備及び周知活動 2.院内資格認定制度の導入に向けた企画・準備
看護部臨床倫理委員会	1. 患者・家族の価値観、考え方をふまえた倫理カンファレンスの開催 2. 看護師の倫理感性が育まれる環境整備 3. 病院臨床倫理チーム、ACPプロジェクトと連携したACP活動の推進
記録・情報管理委員会	1.規定に遵守した看護記録の改善活動 2.看護記録を整備し、看護の効率化
教育委員会	1. ラダー研修企画・運営及び評価 2. 教育担当者の役割遂行能力の育成と支援
人材確保委員会	1.離職防止に向けた支援体制の強化 2.新規採用者の確保に向けた活動
地域連携委員会	1.DPCⅡ期超え率を28%を目指しリンクナース活動支援 2.診療報酬トリプル改訂に伴い「入退院支援の手引き」の改訂
患者サービス委員会	1. 患者満足度アンケートを60%以上回収 2. 看護職員の待遇改善
看護研究委員会	1.看護管理者を含む研究支援 2.看護研究コースの運用上の取り決めの検討
業務委員会	1. デイ・ナイトアシスタントの直接ケアに関するOJT教育の定着 2.業務の効率化
臨地実習指導者委員会	1. 臨地実習指導者への支援する 2. 院内臨地実習指導者講習会の企画・運営

■活動内容

令和6年度看護部重点目標

～変革期を味方にして看護が医療の質・院経営を支える!!看護の魅力で集患しよう～

1. 診療報酬改定、ドクターカー運用開始、新棟建設準備など病院運営および事業に対し、看護部に求められる役割を果たす
 - 1) 診療報酬改定にともなう対応・取り組み
 - (1) 急性期一般入院料1(7:1)を維持するため重症度・医療看護必要度を確保する
 - (2) 下り搬送の実施、上位50位疾患のDPCⅡ期以内での退院支援・調整に取り組み、DPCⅢ期・期間超えを28%以下、平均在院日数11日を目指す(BSC)
 - (3) 看護が関連した加算の減算、とり漏れを防止する
 - 2) 新棟建設に向け看護部の役割を果たす

2. 院内のみならず院外と連携した在宅療養支援を実施するためのしくみを構築する(BSC)
3. 患者の変化に気づくためのシステムを構築する (RRT BSC)
4. 部署間、地域と連携し、患者の希望・思いをつなぐためにACPを強化する。(BSC)
5. チーム力向上のために心理的安全性が保たれた職場作りを推進・強化する(BSC)
6. 災害対応力の強化する(BSC)
 - 1) 受援体制を整備する
 - 2) 大規模災害発生時の初期対応フロー及びライフラインについて実践的に確認する

戦略目標

1. 多職種での治療方針・患者のゴールの共有を徹底し、目標期間内(DPCⅡ期以内)での退院を目指します。
2. 院内のみならず院外と連携した継続看護を実施し地域で安心して生活できるよう支援します。
3. 院内外のACPを推進し患者の思いを切れ目なくつなぐ医療・看護の提供をします。
4. 大規模災害発生時の初期対応を実践的に確認し、患者にも職員にも安心な環境を整備します。
5. いつでも誰とでも話し合える心理的安全な職場環境を醸成し、働きたい・働き続けたいNo1病院を目指します

活動成果

1. 病床稼動状況

	病床利用率	平均在院日数	回転率	必要度
R1	83.8	11.5	2.7	33.1
R2	76.7	11.6	2.6	37.8
R3	83.5	11.8	2.6	39.1
R4	84.7	11.9	2.6	37.3
R5	83.1	11.4	2.7	36.9
R6	84	11.1	3.7	34.1

2. DPCⅡ期超え率

重症患者の病床を確保するため、効果的な病床運用が課題となり重点課題として取り組んだ。DPCⅡ期超え率28%以下目標に重点課題として取り組んだ結果、病床回転率が上がり、年度平均は28.8%となった。

3. 看護部RRT活動

病院RRSが構築され、病院としての急変対応の仕組みが整備された。看護部RRTは、CCOT(集中治療アウトリーチチーム)として3名の専従者でチームを編成した。ICU/HCU、救命救急室からの退室患者のフォローアップ、重症化する懸念のある患者の観察、ケア介入を組織横断的に行うチームとした。病棟看護師とともに観察、呼吸管理などを中心に行い、約200件/月程度の患者に対応してきた。RRTコール件数は2件あった。RRSの周知活動とRRSを起動させるためのフィジカルアセスメント力の強化が課題となっている。

4. ACPの普及・啓蒙活動

ACPについて学習するとともに、ACPに関する記録を残しておくことが重要であり、ACPシートと患者の意思により記入できるシートを作成した。

院内外が連携してACPを推進していくために、地域交流会を開催した。100名を超える多くの地域住民が参加した。また、看護師に対しては、ACP事例共有の会を開催し、取り組みを共有する機会を持つとともに学習の場ともなった。これらの取り組みにより患者の意思を尊重することの重要性を認識した。

5. 心理的安全性が保たれた職場環境の整備

一人一人が自主的に心理的安全性を高めるための行動ができるよう取り組んだ。心理的安全性は、人間関係の質がよくなり、一人ひとりが個性を発揮し働けるといわれ、エンゲージメントが高まることで離職防止に有効であるともいわれている。シビリンクによるレジリエンスワークショップを活用し、上からの押しつけではなく自主的に心理的安全な職場環境を提供するための取り組みを意識した。

	離職率(%)
R2	11.7
R3	11.8
R4	14.2
R5	10
R6	9.4

6. 災害対応力の強化

1) 災害対応リンクナースを設置

全部署アクションカードを活用した初動訓練を実施

2) 受援体制実動訓練実施

令和6年11月29日 13時～17時(訓練振り返り含め)

訓練部署 6部署

応援 9施設から23名の応援者受け入れ

■その他実績

1. 研修実績

ラゲージI申請対象	2024年度研修名			ラゲージI申請対象	2024年度研修名			ラゲージI申請対象	2024年度研修名		
	講師	受講人数			講師	受講人数			講師	受講人数	
ラゲージI申請対象 習熟段階I 習熟段階II 習熟段階III 習熟段階IV	感染管理 I	感染管理認定看護師	72	前期(目安2・3年目)	感染管理 II	感染管理認定看護師	68	ラゲージI申請対象	リーダーシップIV:コーチング	未定	17
	気道吸引	呼吸療法認定士	72		看護管理 II:目標管理	看護部長	64		災害看護 III	防災・災害対策委員会	35
	フィジカルアセスメント I	集中ケア認定看護師	72		フィジカルアセスメント III 2023 II・IV 合体 旧フィジカルアセスメント II	集中ケア認定看護師	101		がん看護 IV (ACP,エンドオブライフケア)	がん性疼痛看護認定看護師	39
	リーダーシップ I	看護部教育委員会	72		排泄ケア II 旧排泄 III	皮膚・排泄ケア認定看護師	61		看護倫理 III	看護部臨床倫理委員会	27
	栄養管理 I	摂食・嚥下障害看護認定看護師	72		医療安全 II:危険予知トレーニング 旧危険予知トレーニング	看護安全対策委員会	62		ナラティブアプローチ III	看護師長もしくは看護部教育委員会	26
	排泄ケア I	皮膚・排泄ケア認定看護師	72		入退院支援 II:目標共有と支援	入退院支援室看護師長	72				
	医療安全 I	看護安全対策委員会	72		リーダーシップ II	看護部教育委員会	58		2024年度研修名	講師	受講人数
	看護管理 I	主任看護師	72		がん看護 II:症状コントロール	緩和ケア認定看護師	69		災害看護 IV	防災・災害対策委員会	15
	褥瘡ケア I	皮膚・排泄ケア認定看護師	72		看護倫理 II	日本臨床倫理学会 臨床倫理認定士	56		人材育成2023年コース	昭和大学医学部 川原千香子准教授	13
	フィジカルアセスメント II	集中ケア認定看護師	72		ナラティブアプローチ II	看護師長もしくは看護部教育委員会	46		人材育成2024年コース	愛知県看護協会 三浦昌子会長	8
	心停止対応シミュレーション I	救命救急士	72	災害看護 II	防災・災害対策委員会	50	看護部長	昭和大学医学部 川原千香子准教授			
	看護倫理 I	日本臨床倫理学会 臨床倫理認定士	72	心停止対応シミュレーション II IBICLS	救急看護認定看護師	40	看護管理 IV:組織マネジメント	看護部長	18		
	入退院支援 I	入退院支援室師長	72	入退院支援 III:地域連携と調整	入退院支援室看護師長、NSW	44	看護管理 IV	看護部教育委員会 看護部臨床倫理委員会	19		
	災害看護 I	防災・災害対策委員会	72	がん看護 III:癌サイバイバー	がん看護専門看護師	32					
	がん看護 I	緩和ケア認定看護師	72	フィジカルアセスメント IV 2023 III・IV 合体	集中ケア認定看護師	52					
	ナラティブアプローチ I	看護部教育委員会	72	医療安全 III:ノンテクニカルスキル	看護安全対策委員会	31					
	プロフェッショナルサービス	副看護部長	72	看護管理 III:分析手法	看護部教育委員会	47					
				リーダーシップ III:アサーション 旧リーダーシップ II:アサーション	看護部教育委員会	30					

2. クリニカルラダー・IVナース

1) クリニカルラダー

ラダーレベル	取得人数
I	277
II	128
III	144
IV	57
未	33

2) IVナース

IVナースレベル	取得人数
	未33
1-①	67
1-②	97
I	67
2-①	176
2-②	89
3-①	77
IVアドバンス	35
3-②	36

3. 実習受け入れ実績

1) 大学・養成校

大学	養成校
289名	212名

2) 専門・認定看護師教育課程受け入れ実績

摂食・嚥下障害看護認定看護師教育課程 2名

3) 海外看護学生受け入れ実績

タイ王国：看護学部4年次学生4名

4. 管理者育成・研修

1) 新任師長・主任研修

日時	新任師長研修	新任主任研修
	項目	項目
1月～3月	■看護師長会参加	■看護師長会・主任会参加
	■管理会参加	■管理会参加
	■自己学習(ナースングスキル)	■部署のBSC立案に参画する
	① ラテラルシンキング	■自己学習(ナースングスキル)
	② レジリエンス	①明日から実践 問題解決のキホン
2月～3月	③ 地域包括ケア時代に部署の管理者が持つべき視点	②看護師の働き方改革 —中小病院の看護師の採用・定着を考える—
	④ 看護管理者に求められる倫理的なリーダーシップ	③看護マネジメントリフレクション
	■管理夜勤体験	④看護管理者に求められる倫理的なリーダーシップ
	■看護師長としての心構え ～看護師長に求めるもの～先輩師長からのメッセージ	⑤リーダーシップ&フォローアップ
	■DPCを意識したベッドコントロール	■主任看護師としての心構え ～主任看護師に求めるもの～先輩主任からのメッセージ
4月～5月	■退院調整室との連携	■レポート提出:「主任看護師として提供したい看護」
	■労務管理	
	・労務管理と勤務表作成	
	■レポート提出:「看護師長として目指す看護」	
	■新人教育	
6月～10月	・新人教育	
	・実地指導者、フリセプターとの連携	
	■看護管理者としての危機管理	
	・事故及び災害発生時の報・連・相	
	・災害防災対策 盗難・防犯対策	
11月	■看護部方針と目標管理・人事考課	
	■BSC発表会に参加	■BSC発表会に参加
	■感染管理	
	■臨地実習指導	
	・臨地実習の受け入れと指導者育成	
2月	■労務管理とWLB	
	・働き方改革	
	■看護補助者	
	■安全管理とコンフリクトマネジメント	
	・事故発生時の対応と事故防止の管理	
2月	・暴言暴力対応	
	■人材育成とキャリア開発	
	・クリニカルラダー	
	■DINQLデータ①データの入力	
	■マネジメントリフレクション	■マネジメントリフレクション
2月	「新任師長としてのモヤモヤを話そう」	「新任主任としてのモヤモヤを話そう」
	■倫理問題の解決	■臨床判断能力評価者トレーニング
	・倫理問題対応 倫理コンサルト	
	■退院支援と退院調整および地域連携	
	■DINQLデータ② データの活用	
2月	■インシデント分析	
	■マネジメントリフレクション	■マネジメントリフレクション
	「師長としてのモヤモヤを話そう①」	「主任としてのモヤモヤを話そう①」
	■マネジメントリフレクション	■マネジメントリフレクション
	「師長としてのモヤモヤを話そう②」	「主任としてのモヤモヤを話そう②」

2) 目標管理及び研修

日時	項目
5月	■BSC期首発表会
8月	■管理研修 ・「生涯学習支援」 ・「効果的な教育手法 (シミュレーション教育)」
9月	■BSC中間発表会
3月	■BSC最終発表会

2) 薬剤部 (2024年4月1日～2025年3月31日)

算定項目 その他	2023年度	2024年度	単位
外来処方箋 枚数	46,653	45,592	枚
入院処方箋 枚数	110,738	113,476	枚
院外処方箋 枚数	117,319	119,472	枚
院外処方箋 発行率	71.6	72.4	%
薬剤情報提供 件数	34,222	35,926	件

注射処方箋 枚数	132,431	138,873	枚
無菌製剤(TPN) 件数	824	830	件

薬剤管理指導 件数(1,2合わせて)	30,915	30,899	件
薬剤管理指導 率(1,2合わせて)	80.6	79.1	%
病棟薬剤業務 件数(1,2合わせて)	42,684	43,908	件
退院時管理指導加算 件数	12,089	12,389	件
退院時薬情連携加算 件数	133	118	件
薬剤総合調整加算 件数	228	185	件
薬剤調整加算 件数	95	75	件
麻薬指導加算 件数	675	1,068	件

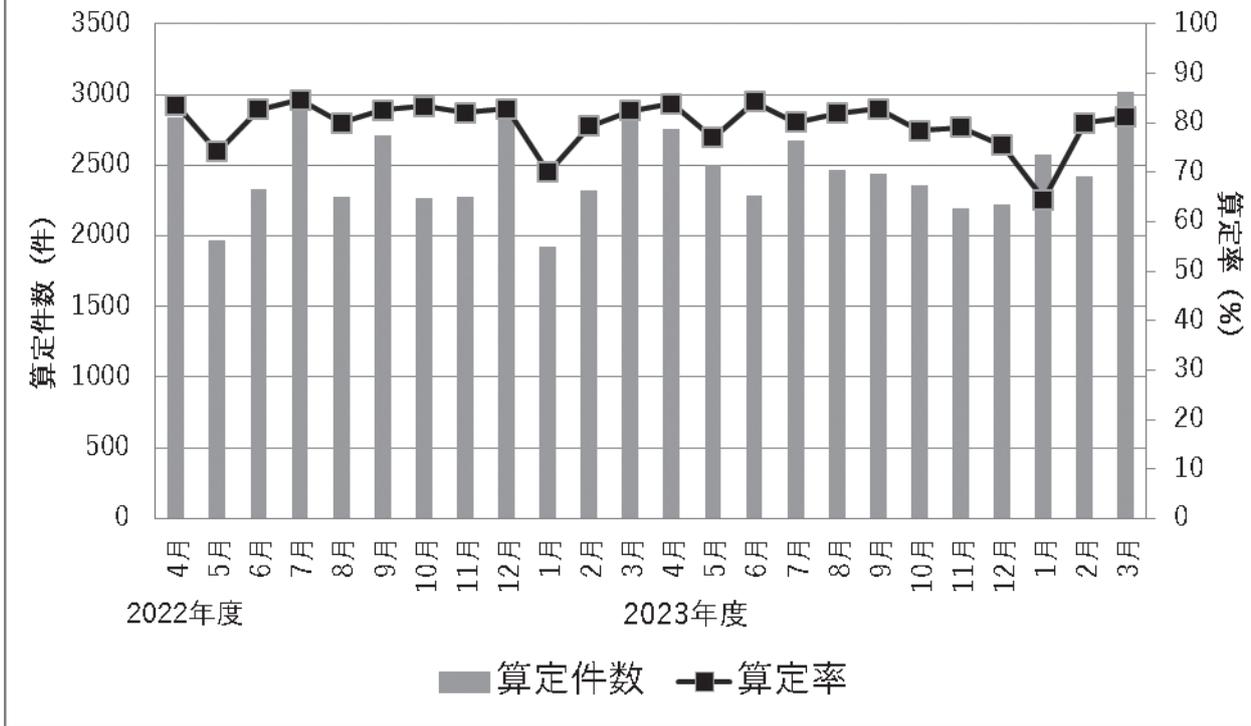
無菌製剤(抗がん剤) 件数	7,460	7,534	件
無菌製剤(抗がん剤閉鎖式) 件数	499	479	件

【外来】 化療予約人数	7,685	7,717	人
調製実施人数(点滴、皮下、その他)	6,796	6,797	人
1日平均実施人数	28.0	28.0	人
【入院】 化療予約人数	1,854	1,746	人
調製実施人数	1,780	1,694	人
1日平均実施人数	7.4	7.0	人
レジメン審査件数	20	20	件
連携充実加算 件数	4	45	件

入退院支援室対応件数	5,518	5,615	件
------------	-------	-------	---

実務実習受け入れ人数	2	2	人
------------	---	---	---

薬剤管理指導算定 件数・率 推移



外来科別人数 (延べ合計人数)

年度	外科	消化器科	呼吸器科	血液内科	婦人科	泌尿器	その他
2023	1776	929	1049	1951	258	344	489
2024	2062	733	870	1896	311	492	433

※外来「その他」は膠原病リウマチ内科や神経内科などの非抗がん剤も含む。

※血内はビダーザ・ベルケイド・ダラキューロを含む。

入院科別人数 (延べ合計人数)

年度	外科	消化器科	呼吸器科	血液内科	婦人科	泌尿器科	耳鼻科	その他
2023	56	215	298	821	110	238	4	38
2024	42	133	344	872	103	127	22	51

3) 中央検査部・輸血部・病理診断科 (2024年4月1日～2025年3月31日)

[] : 2023年4月1日～2024年3月31日

臨床検査件数

分野	件数
一般検査	57,909 [53,258]
血液検査	320,491 [312,640]
生化学検査Ⅰ	2,364,158 [2,295,932]
生化学検査Ⅱ	72,140 [66,227]
免疫学検査	158,505 [154,771]
輸血検査	20,556 [19,550]
微生物検査	81,792 [83,470]
病理検査	16,013 [15,194]
生理検査	78,896 [76,470]
外注検査	65,441 [67,709]
総合計	3,235,901 [3,145,221]

静脈採血件数

	件数
外来	79,413 [77,503]
外来1日平均	327 [319]
入院	22,151 [21,966]
入院1日平均	91 [91]

各科別赤血球液使用状況

	外科	整形外科	脳外科	心臓外科	泌尿器科	消化器科	内科	産婦人科	その他	合計
交差単位数	858	1,022	346	2,240	92	1,242	4,133	184	30	10,147 [9,705]
返品単位数	128	100	54	608	8	8	150	36	10	1,102 [1,327]
C / T 比	1.2	1.1	1.2	1.4	1.1	1.0	1.0	1.2	1.5	1.1 [1.2]

[] : 2023年4月1日～2024年3月31日

血液製剤使用状況

	製剤別使用数	製剤別廃棄数
RBC L R - 1	2	0
RBC L R - 2	4,530	16
P C - 5	11	0
P C - 1 0	1,231	0
P C - 1 5	43	0
P C - 2 0	29	0
WPC - 1 0	0	0
PC-HLA-10	20	0
PC-HLA-15	3	0
FFPLR-240	1,578	42
FFPLR-480	82	0

病理診断科実績（2024年4月1日～2025年3月31日）

科 別	剖検件数		科 別	組織件数		細胞診件数	
	2024年度	2023年度		2024年度	2023年度	2024年度	2023年度
内 科	0	0	内 科	0	0	0	0
総合診療科	0	0	総合診療科	0	0	0	0
血液内科	2	1	血液内科	273	291	45	51
腎臓内科	0	0	腎臓内科	22	29	66	50
糖尿病・内 分泌内科	0	1	糖尿病・内 分泌内科	0	1	93	105
精神科	0	0	精神科	0	0	0	0
脳神経内科	3	4	脳神経内科	4	1	23	21
呼吸器内科	1	0	呼吸器内科	374	345	1,278	1,154
消化器内科	1	0	消化器内科	1,772	1,715	113	130
循環器内科	0	1	循環器内科	20	32	23	24
小 児 科	0	0	小 児 科	0	0	0	0
外科・消化器外科・ 乳腺外科・呼吸器 外科・肛門外科	0	0	外科・消化器外科・ 乳腺外科・呼吸器 外科・肛門外科	1,064	999	128	137
整形外科・手外科	0	1	整形外科・手外科	129	126	6	6
リウマチ科	0	0	膠原病リウ マチ内科	1	0	1	1
形成外科	0	0	形成外科	89	71	1	1
脳神経外科	0	0	脳神経外科	52	44	5	5
心臓血管外科	0	1	心臓血管外科	2	5	1	0
皮膚科	0	0	皮膚科	436	407	0	0
泌尿器科	0	0	泌尿器科	338	367	1,170	1,269
産婦人科	0	1	産婦人科	584	600	2,605	2,669
眼 科	0	0	眼 科	2	0	0	0
耳鼻咽喉科	0	0	耳鼻咽喉科	172	93	38	45
緩和ケア内科	0	0	緩和ケア内科	0	0	0	0
歯科・口腔 外 科	0	0	歯科・口腔外科	204	209	108	132
健康管理科	0	0	健康管理科	6	3	424	423
救 急 科	2	1	透 析 科	0	0	0	0
合 計	9	11	救 急 科	28	21	73	81
			合 計	5,572	5,359	6,201	6,304
			迅速標本件数	171	176	3	4

4) 栄養科 (2024年度)

栄養食事指導件数 (2024年4月1日～2025年3月31日)

個別栄養食事指導(入院)						
	糖尿病	糖尿病性 腎症	高脂血症 ・心疾患	腎臓病・ 透析	消化器疾患 ・その他	合 計
4月	16	1	33	6	24	80
5月	19	0	29	4	21	73
6月	17	0	27	4	18	66
7月	16	0	26	2	17	61
8月	13	0	32	0	22	67
9月	15	0	29	0	24	68
10月	9	0	30	0	28	67
11月	14	0	25	3	19	61
12月	15	1	30	4	23	73
1月	18	0	32	2	27	79
2月	17	0	35	3	29	84
3月	20	0	34	4	31	89
合計	189	2	362	32	283	868

個別栄養食事指導(外来)						
	糖尿病	糖尿病性 腎症	高脂血症 ・心疾患	腎臓病・ 透析	消化器疾患 ・その他	合 計
4月	42	0	13	24	11	90
5月	43	0	18	23	9	93
6月	40	0	19	25	8	92
7月	49	0	23	25	13	110
8月	32	0	15	26	12	85
9月	37	0	22	24	7	90
10月	35	0	29	26	15	105
11月	40	0	25	25	17	107
12月	30	0	15	24	6	75
1月	39	0	17	24	9	89
2月	33	0	21	24	8	86
3月	35	0	27	22	11	95
合計	455	0	244	292	126	1,117

集団栄養食事指導					
	糖尿病	糖尿病教室	糖尿病食 バイキング	減塩ランチ	合 計
4月	0	3	0	4	7
5月	0	4	0	3	7
6月	0	2	0	4	6
7月	0	3	0	4	7
8月	0	6	0	4	10
9月	0	3	0	3	6
10月	0	6	0	9	15
11月	0	3	28	8	39
12月	0	0	0	7	7
1月	0	3	0	5	8
2月	0	2	0	9	11
3月	0	3	0	8	11
合計	0	38	28	68	134

5) 中央放射線部

【一般撮影・外部画像・画像出力・Ai】(2024年4月1日～2025年3月31日)

A. 一般撮影

	外 来		入 院		救 命	
一般撮影						
部 位	件数	撮影回数	件数	撮影回数	件数	撮影回数
頭 部	259	514	76	146	146	322
耳鼻科	261	574	16	38	167	332
頸 部	1,086	3,328	218	485	327	783
胸 部	31,551	36,502	6,726	7,439	12,997	13,875
胸 椎	337	696	73	150	54	108
腰 椎	1,996	5,910	388	851	435	944
上 肢	7,429	26,864	484	1,683	3,307	10,536
下 肢	4,998	16,253	1,134	3,598	2,627	7,788
腹 部	2,118	3,718	999	1,727	796	989
骨 盤	1,972	3,821	1,000	1,797	1,117	1,586
骨盤計測	22	22	0	0	0	0
合計	52,029	98,202	11,114	17,914	21,973	37,263

ポータブル						
撮影場所	件数	撮影回数	件数	撮影回数	件数	撮影回数
一般病棟	10	10	8,706	8,734		
OPE室	63	197	4,080	7,039		
ICU	7	8	3,758	3,766		
初療					861	862
救命救急室					2,321	2,324
合計	80	215	16,544	19,539	3,182	3,186

特殊撮影				
検査名	件数	撮影回数	件数	撮影回数
マンモグラフィ	1,769	5,323	30	46
オルソパントモ	2,231	2,257	227	230
セファロ	0	0	0	0
TMJ	0	0	0	0
職員健診	1,354	1,354	0	0
合計	5,354	8,934	257	276

骨塩定量				
部位	件数		件数	
腰椎	323		24	
大腿骨	6		3	
前腕	5		1	
腰椎+大腿	1,448		347	
合計	1,782		375	

一般撮影 総合計	外 来		入 院		救 命	
	件数	撮影回数	件数	撮影回数	件数	撮影回数
	59,245	107,351	28,290	37,729	25,155	40,449

B. 外部画像・画像出力

外部画像	総件数	緊急
コピー(患者負担)	0	0
コピー(病院負担)	0	0
コピー&サーバー入力(患者負担)	0	0
コピー&サーバー入力(病院負担)	0	0
サーバー入力	3,768	399

画像出力	総件数	緊急
フィルム出力(患者負担)	0	0
フィルム出力(病院負担)	56	37
CD出力(患者負担)	533	94
CD出力(病院負担)	7,335	3,324
ペーパー出力	0	0
画像データ長期保存	9	0

C. ウイルスチェック

場所	正常	異常
南館	325	0
救命	858	0
合計	1,183	0

D. Ai

	件数
CT	17

E. 検診(健康管理科)*他の集計にも含まれています。

	件数	撮影回数
胸部	3,188	3,223
腹部	80	80
骨塩定量	288	
マンモグラフィ	784	2,067
胃透視	1,653	28,275
注腸	6	135
頭部CT	6	
胸部CT	13	
腹部CT	9	
頭部MRI	50	

【CT】（2024年4月1日～2025年3月31日）

F. CT部門

部 位		CT1F-3			CT2F-1			CT2F-2			放射線棟CT総合計		
		外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数
頭 部	単純	1,987	1,229	3,216	503	50	553	106	41	147	2,596	1,320	3,916
	造影	0	0	0	4	3	7	233	127	360	237	130	367
	単純+造影	0	0	0	10	0	10	0	0	0	10	0	10
頸 部	単純	416	106	522	95	2	97	14	2	16	525	110	635
	造影	0	0	0	5	2	7	66	46	112	71	48	119
	単純+造影	0	0	0	34	3	37	0	0	0	34	3	37
胸 部	単純	2,970	373	3,343	832	15	847	401	42	443	4,203	430	4,633
	造影	0	0	0	129	7	136	107	7	114	236	14	250
	単純+造影	0	0	0	61	6	67	0	0	0	61	6	67
腹部・骨盤	単純	2,819	694	3,513	799	32	831	244	16	260	3,862	742	4,604
	造影	10	0	10	264	95	359	6	1	7	280	96	376
	単純+造影	1	1	2	361	48	409	22	0	22	384	49	433
体幹部	単純	2,666	803	3,469	643	29	672	192	19	211	3,501	851	4,352
	造影	4	0	4	1,290	188	1,478	12	6	18	1,306	194	1,500
	単純+造影	6	0	6	1,136	205	1,341	12	4	16	1,154	209	1,363
上 肢	単純	656	68	724	23	1	24	8	0	8	687	69	756
	造影	0	0	0	1	1	2	3	2	5	4	3	7
	単純+造影	0	0	0	4	1	5	0	0	0	4	1	5
下 肢	単純	416	160	576	48	3	51	4	1	5	468	164	632
	造影	0	0	0	0	3	3	3	4	7	3	7	10
	単純+造影	0	0	0	5	3	8	4	0	4	9	3	12
全 身	単純	2	3	5	2	0	2	5	0	5	9	3	12
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	4	0	4	4	0	4
心 臓	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	396	8	404	396	8	404
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計	11,953	3,437	15,390	6,249	697	6,946	1,842	326	2,168	20,044	4,460	24,504	

部 位		救命センター CT			救命センター Hybrid-CT			救命合計		
		外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数	外来件数	入院件数	合計件数
頭 部	単純	6,835	1,116	7,951	170	18	188	7,005	1,134	8,139
	造影	83	22	105	8	0	8	91	22	113
	単純+造影	8	0	8	0	0	0	8	0	8
頸 部	単純	443	56	499	1	0	1	444	56	500
	造影	68	1	69	0	0	0	68	1	69
	単純+造影	10	1	11	0	0	0	10	1	11
胸 部	単純	1,102	57	1,159	2	0	2	1,104	57	1,161
	造影	2	0	2	0	0	0	2	0	2
	単純+造影	0	1	1	0	0	0	0	1	1
腹部・骨盤	単純	3,411	169	3,580	2	5	7	3,413	174	3,587
	造影	673	13	686	0	0	0	673	13	686
	単純+造影	32	10	42	0	0	0	32	10	42
体幹部	単純	5,762	247	6,009	52	6	58	5,814	253	6,067
	造影	605	70	675	23	5	28	628	75	703
	単純+造影	136	68	204	5	2	7	141	70	211
上 肢	単純	234	8	242	3	0	3	237	8	245
	造影	2	0	2	0	0	0	2	0	2
	単純+造影	2	1	3	0	0	0	2	1	3
下 肢	単純	434	30	464	5	0	5	439	30	469
	造影	9	0	9	0	0	0	9	0	9
	単純+造影	5	3	8	0	0	0	5	3	8
全 身	単純	261	5	266	135	0	135	396	5	401
	造影	122	6	128	64	2	66	186	8	194
	単純+造影	56	0	56	80	0	80	136	0	136
心 臓	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	単純	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合 計		20,295	1,884	22,179	550	38	588	20,845	1,922	22,767

【MRI】（2024年4月1日～2025年3月31日）

G. MRI部門

部 位		MRI(1)				MRI(2)				合計			
		外来 件数	入院 件数	入外 合計	うち 時間外	外来 件数	入院 件数	入外 合計	うち 時間外	外来 件数	入院 件数	入外 合計	うち 時間外
頭 部	単純	1,709	180	1,889	913	3,097	917	4,014	72	4,806	1,097	5,903	985
	造影	65	1	66	0	184	33	217	0	249	34	283	0
	単純+造影	21	3	24	0	123	38	161	0	144	41	185	0
頸 部	単純	685	77	762	115	87	22	109	3	772	99	871	118
	造影	0	0	0	0	16	1	17	0	16	1	17	0
	単純+造影	5	1	6	0	0	0	0	0	5	1	6	0
胸 部	単純	118	49	167	20	3	6	9	1	121	55	176	21
	造影	4	0	4	0	0	0	0	0	4	0	4	0
	単純+造影	28	4	32	0	56	0	56	0	84	4	88	0
腹 部	単純	1,452	270	1,722	177	31	22	53	1	1,483	292	1,775	178
	造影	11	2	13	0	1	0	1	0	12	2	14	0
	単純+造影	21	3	24	0	49	1	50	0	70	4	74	0
骨 盤	単純	417	29	446	5	640	15	655	3	1,057	44	1,101	8
	造影	3	0	3	0	0	0	0	0	3	0	3	0
	単純+造影	95	1	96	0	3	0	3	0	98	1	99	0
上 肢	単純	113	2	115	1	120	2	122	2	233	4	237	3
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
下 肢	単純	256	32	288	2	1	0	1	0	257	32	289	2
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	2	0	2	0	0	0	0	0	2	0	2	0
その他	単純	32	14	46	0	0	0	0	0	32	14	46	0
	造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	単純+造影	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計		5,037	668	5,705	1,233	4,411	1,057	5,468	82	9,448	1,725	11,173	1,315

緊急検査	MRI(1)	MRI(2)	合計
時間内	731	634	1,365
時間外	812	15	827
合計	1,543	649	2,192

【透視検査・血管撮影検査】（2024年4月1日～2025年3月31日）

H. 透視検査部門

部 位	中 央				救 命			
	外来		入院		外来		入院	
	件数	撮影回数	件数	撮影回数	件数	撮影回数	件数	撮影回数
胃	6	30	38	285	0	0	1	1
胃(ドック)	1,653	28,275	0	0				
胃精密	0	0	0	0	0	0	0	0
大腸	37	676	17	198	0	0	0	0
大腸(ドック)	6	135	0	0				
肝胆膵	27	137	535	3,871	9	45	4	24
泌尿器	212	741	98	364	15	27	3	6
ヒステロ	2	8	0	0	0	0	0	0
整形領域	24	6	3	2	99	117	1	0
ミエロ	35	45	6	14	0	0	0	0
TBLB	4	1	366	29	0	0	0	0
ESWL	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	41	137	556	1,760	69	184	27	78
合計	2,047	30,191	1,619	6,523	192	373	36	109

I. 血管撮影部門

撮影室	検 査	予約	緊急	合計
		件数	件数	件数
血管撮 影室19	心血管	287	86	373
	頭部血管	105	6	111
	アブレーション	14	0	14
	その他	70	19	89
	合 計	476	111	587
撮影室	部 位	予約	緊急	合計
血管撮 影室20	心血管	272	122	394
	頭部血管	0	0	0
	アブレーション	236	0	236
	その他	21	9	30
	合 計	529	131	660

撮影室	部 位	予約	緊急	合計
		件数	件数	件数
血管撮 影室22	心血管	41	16	57
	頭部血管	2	2	4
	腹部血管	14	0	14
	食道VTR	19	0	19
	その他	194	6	200
	合 計	270	24	294
撮影室	検 査	予約	緊急	合計
救 命	PCPS	23	5	28
	IABP挿入	2	0	2
	頭部血管	36	7	43
	体幹部血管	64	14	78
	その他	22	11	33
	合 計	147	37	184
撮影室	検 査	予約	緊急	合計
OPE室		22	5	0
	合 計			0

【治療・RI部門】（2024年4月1日～2025年3月31日）

J. 治療部門

照射

照射方法	照射	計画
	件数	件数
一門・対向二門	54	9
非対向二門・三門	529	26
四門・運動	3,008	233
強度変調	0	0
頭頸部定位		14
体幹部定位		23
全身照射	0	
合計	3,591	305
固定器具	35	
リニアックグラフィ	258	
新患	165	

治療計画

部位	CT	
	件数	
頭部		26
頸部		36
胸部		113
腹部		26
骨盤部		69
股関節		
肩関節		
上腕		
前腕		
大腿		
下腿		
上肢		2
下肢		3
合計		275

K. RI部門

心筋シンチグラム

検査名		件数
心筋シンチ 運動負荷	Tl	6
	マイオビュー	0
	BMIPP	0
	MIBG	0
心筋シンチ ペルサンチン負荷	Tl	186
	マイオビュー	0
	BMIPP	0
	MIBG	0
心筋シンチ レスト	Tl	3
	マイオビュー	30
	BMIPP	8
	MIBG	51
	MIBI	0
心筋シンチ 合計		298

各種シンチグラム

検査名		件数
脳血流シンチ	セレプロテック	0
	IMP	120
	ニューロライト	70
	ダットスキャン	70
骨シンチ	クリアボーン	1
	MDP	197
腫瘍シンチ	Ga	1
レノグラム	MAG3	10
	DTPA	0
腎シンチ	DMSA	16
心プールシンチ	プールシンチ注	0
甲状腺シンチ	Tl	0
	Tc	2
	Iカプセル	7
肝胆道シンチ	アシアロシンチ	0
	ヘパティメージ	0
骨髄シンチ	InCl	0
唾液腺シンチ	Tc	0
肺血流シンチ	MAA	2
副腎シンチ	アドステロール	3
	フェオMIBG	0
	ミオMIBG	1
メッケル憩室	Tc	0
肺換気K r	Kr	0
蛋白漏出	プールシンチ注	0
消化管シンチ	Tc-アルブミン	0
脳槽シンチ	In-DTPA	0
副甲状腺	Tc-MIBI	4
睾丸シンチ	Tc	0
甲状腺内容療法効果判定	131 I	0
その他		0
各種シンチグラム合計		504
心筋シンチ 合計		298
シンチグラム総合計		802

L. その他（放射性医薬品疼痛緩和薬剤など）

検査	件数
131I内用療法(甲状腺がん)	0
ゾーフィゴ投与	13
センチネルリンパ節シンチ	91
131I内用療法(バセドウ病)	7
合計	111

M. PET

検査	件数
悪性腫瘍	719
心サルコイドーシス	3
てんかん	0
自由診療(検診)	60
アミロイド	11
合計	793

【救命救急センター】（2024年4月1日～2025年3月31日）

一般撮影

部 位	時間内		時間外	
	件数	撮影回数	件数	撮影回数
頭 部	47	105	129	276
耳鼻科	20	38	149	298
頸 部	95	196	336	781
胸 部	3679	3880	9483	10177
胸 椎	30	60	37	74
腰 椎	135	290	390	833
上 肢	772	2329	2562	8283
下 肢	571	1598	2091	6290
腹 部	113	127	696	876
骨 盤	348	526	797	1097
ポータブル	504	505	2783	2786
合 計	6314	9654	19453	31771

緊急血管撮影件数

撮影室	部位	件数
血管撮影室19	心血管	55
	頭部血管	1
	その他	4
血管撮影室20	心血管	107
	頭部血管	0
	その他	2
血管撮影室22	心血管	14
	頭部血管	2
	その他	0
合計		185

救命血管撮影室 (Hybrid-ER)

透視検査	件数	血管撮影	件数
胃	1	IABP挿入	2
大腸	0	PCPS挿入	28
肝胆膵	13	頭部血管	44
泌尿器	18	体幹血管	112
整形領域	101	四肢血管	0
その他	96		
合 計	229	合 計	186

6) 臨床工学部 (2024年4月1日～2025年3月31日)

1. 血液浄化業務

	2023年度	2024年度	前年度比
通院透析	4232	3481	82%
入院透析	1886	1679	89%
アフエレシス	23	28	122%
TPE (遠心分離型血漿交換)	1	0	0%
血液浄化 ICU・救命	110	106	96%
CHDF症例数	130	88	68%
CHDF延べ日数	231	167	72%
シャントエコー	20	76	380%

2. 呼吸関連業務

	2023年度	2024年度	前年度比
人工呼吸器使用中点検 ICU・救命	2502	2566	103%
人工呼吸器使用中点検 病棟	1044	614	59%
人工呼吸器使用後点検	550	431	78%
HFT使用中点検	763	872	114%
HFT使用後点検	150	130	87%
RTX/カフアシスト症例数	13	7	54%
呼吸器移動介助、検査治療立会い業務	103	152	148%
呼吸器転院/在宅搬送、訪問 同乗介助(外勤)	11	10	91%
Trilogy呼吸器データ解析	3	2	67%
在宅C P A P 遠隔	1100	1091	99%

3. 補助循環業務

	2023年度	2024年度	前年度比
IABP 症例数	63	29	46%
IABP 延べ日数	199	73	37%
IABP 使用後点検	44	15	34%
Impella 症例数	17	9	53%
Impella 延べ日数	104	64	62%
Impella 使用後点検	13	9	69%
VA ECMO 症例数	33	24	73%
VA ECMO 延べ日数	114	51	45%
VA ECMO 使用後点検	28	9	32%
VV ECMO 症例数	3	6	200%
VV ECMO 延べ日数	15	32	213%
VV ECMO 使用後点検	3	6	200%

4. 手術室関連業務

	2023年度	2024年度	前年度比
人工心肺	59	60	102%
自己血回収装置	77	80	104%
耳鼻科ナビゲーション	9	25	278%
Davinci(泌尿器)	59	38	64%
Davinci(外科)	121	149	123%
Davinci(産婦人科)	13	11	85%

5. 心臓／頭部血管撮影室業務

		2023年度	2024年度	前年度比
心臓カテーテル検査	予定	254	371	146%
	緊急	86	193	224%
冠動脈形成術	予定	286	273	95%
	緊急	165	163	99%
EVT		207	140	68%
BAV		2	4	200%

6. 不整脈治療業務

	2023年度	2024年度	前年度比
ABL（カテーテルアブレーション）	252	248	98%
EPS（電気生理検査）	42	31	74%
ペースメーカー 植え込み	62	59	95%
ペースメーカー 電池交換	28	16	57%
ペースメーカー 外来	538	563	105%
ペースメーカー 手術/CT/MRI/心リハ立ち会い	83	58	70%
ペースメーカー 作動点検	110	116	105%
遠隔モニタリング 新規導入	63	19	30%
遠隔モニタリング フォロー	2465	2840	115%
テンポラリーペースメーカー挿入介助	65	55	85%
テンポラリーペースメーカー使用中点検	487	411	84%

7. その他

	2023年度	2024年度	前年度比
腹水処理	9	5	56%
PBSCH（末梢血幹細胞採取）	1	0	0%
NIROモニタリング（心外/脳外）	123	147	120%
臓器移植関連業務	1	2	200%
NO吸入療法 症例数	7	5	71%
NO吸入療法 延べ日数	50	27	54%

8. 機器管理

部署別	点検			修理		
	2023年度	2024年度	前年度比	2023年度	2024年度	前年度比
透析室	4432	5023	113%	57	28	49%
集中治療室	65	72	111%	2	29	1450%
救急救命室 ER	183	176	96%	19	78	411%
血管造影室	45	48	107%	1	2	200%
手術室	13335	10607	80%	93	104	112%
臨床工学部	8546	9195	108%	10	11	110%
一般病棟	32	7	22%	13	34	262%

14. 委員会

がんの治療と緩和ケア検討委員会 がん看護サポートチーム

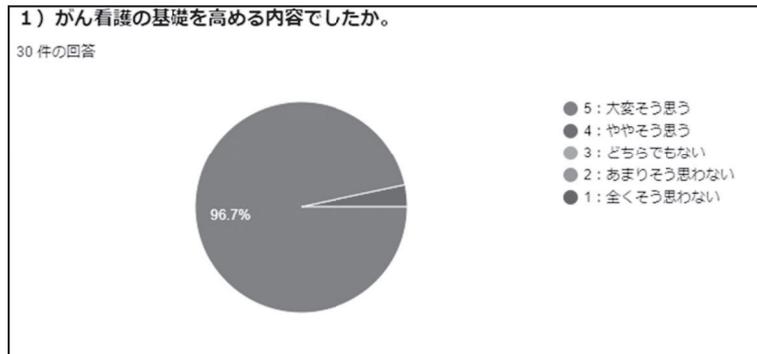
I. がんの治療と緩和ケア検討委員会 がん看護サポートチーム主催

1. 院内外に向けた名古屋掖済会病院がん看護研修会

1) がん看護基礎研修

令和6年7月20日(土) 7月27日(土)

参加者；院内23名 院外10名



2) がん薬物療法看護 I

9月14日(土) 9月21日(土)

参加者；院内12名 院外7名

3) 緩和ケア I

9月7日(土)

参加者；院内10名 院外16名

II. 緩和ケア病棟主催

1. 令和6年度地域の看護師に向けた緩和ケア病棟研修プログラム

2月～3月；一日目講義・二日目緩和ケア病棟にて実習

2月27日修了；1名 2月28日修了；2名 3月5日修了；3名

参加者6名

地域の医療機関勤務4名(中日病院2名、郡上市民病院1名、一志病院1名)

訪問看護師2名

15. 託児所（2024年4月1日～2025年3月31日）

主な活動

月	保育者数	託児数	子供の生活・発達の様子など
4	7	17	<ul style="list-style-type: none"> ・少人数になり、落ち着いた環境で遊びを楽しむ ・天気の良い日は庭に出て、虫や花に触れ季節を感じる ・季節の変わり目で気温差が激しい為か、体調を崩す子が増える
5	7	9	<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの日のペープサートを見たり、製作したこいのぼりを持ち帰り、成長を祝う ・日差しが強くなり、戸外遊びでは日陰で遊ぶよう促したり、水分補給を多めにするよう心がける ・おもちゃの貸し借りが上手になってきた子が増える
6	7	9	<ul style="list-style-type: none"> ・七夕飾り製作で指スタンプやお絵かき、シール貼りを楽しむ ・サークルを取り外して部屋を広く使い、粗大遊びをする ・気温が高くなり、ミストを出したり、氷を触ったりして熱中症に注意しながら戸外遊びを楽しむ
7	7	11	<ul style="list-style-type: none"> ・夏の壁面製作で手形を押し、絵の具の感触を知る ・水遊び開始 ・手足口病が流行する ・ブロックをくっつけることができる子が増える
8	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・粗大遊びを組み合わせて、サーキット遊びをする ・噴水マットから出る水に触れ、感触を喜ぶ ・新サークル活用により、好きなおもちゃを探し、遊びたいもので遊ぶようになる
9	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・お友だちを意識し、関わろうとする子が増える ・金魚すくいやシリコンバブルボールで、普段できない体験をする ・保育者と一緒なら、お友達とブロックで一つのものを作り上げることができる
10	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・戸外で、宝探しゲームやかくれんぼをして遊ぶ ・おもちゃでの遊び方が上手になり、集中して遊べる子が増える ・ハロウィンイベントでボールを使ったゲームを楽しむ
11	7	13	<ul style="list-style-type: none"> ・見立て遊びをする子が増える ・気温が低くなり、上着を着て戸外遊びをする ・話すことが上手になってきて、お友だちに「一緒に遊ぼう」と誘う姿を見かけるようになる
12	7	12	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいボールプールテントやトンネルで、楽しそうに遊ぶ ・気の合うお友達と遊ぶ子が増える ・クリスマスツリーを皆で飾り付けし、クリスマス会ではマジックを見る
1	7	15	<ul style="list-style-type: none"> ・雪投げや、雪だるま作りを通して、雪の感触を知り、季節を感じる ・お絵かきやシール貼りで、手先を使った遊びをする ・戸外にバスケットゴールを作り、ボールを入れて楽しむ
2	7	16	<ul style="list-style-type: none"> ・RSウイルス感染症が流行する ・オムツ交換時に、自分でズボンをはこうとする子が増える ・節分イベントでボールを使ったゲームを楽しみ、その後鬼登場で驚く ・月齢の高い子と低い子をサークルで分けて、のびのび遊べるようにする
3	7	15	<ul style="list-style-type: none"> ・小麦粉粘土で、指先を使った感触遊びをする ・言葉で自分の意思を伝えられる子が増える ・ヒトメタニューモウイルス感染症が流行する ・ひなまつり会やお別れ会は、部屋を飾り、お話を聞いて、特別な日を感じる

《1年間を通して》

- ・活発な子が多く、今年度も主活動は戸外遊び中心に行った。夏場は猛暑日も多く、熱中症警戒アラートを確認しながら水遊びを行った。
- ・4月には外に手洗い水道を設置し、7月には室内に柵付きの新サークルを導入するなど、保育環境を整えた。
- ・5月 BLS研修
- ・6、11月 小児科医による健康診断実施
- ・7月 名古屋市通例の監査
- ・12月 名古屋市巡回訪問

令和6年度 病児・病後児保育室 キッズポートえきさい

事業報告

4月	第16回 病児・病後児保育室キッズポートえきさい運営会開催 通信 キッズポートえきさいだより 春号発行 移転施設にて防災・避難計画作成
5月	BLS研修 病棟、託児所へ研修 新施設図面作成
6月	第17回 病児・病後児保育室キッズポートえきさい運営会開催 防災設備、防災リュック点検実施
7月	通信 キッズポートえきさいだより 夏号発行 名古屋市(チャイルド)オンライン研修第1期 参加 感染対策指導
8月	第18回 病児・病後児保育室キッズポートえきさい運営会開催 名古屋市令和6年度現任研修 参加 保育実技研修会 参加
9月	名古屋市(チャイルド)オンライン研修第2期 参加 幼児教育研修会参加
10月	第19回 病児・病後児保育室キッズポートえきさい運営会開催 通信 キッズポートえきさいだより 秋号発行 名古屋市(チャイルド)オンライン研修第3期 参加
11月	名古屋市令和6年度現任研修 参加 看護保健職、専門研修、教育保育施設研修 参加
12月	第20回 病児・病後児保育室キッズポートえきさい運営会開催 名古屋市令和6年度現任研修 参加 名古屋市(チャイルド)オンライン研修第4期 参加 防災設備、防災リュック点検実施
1月	通信 キッズポートえきさいだより 冬号発行 名古屋市オンライン研修 参加
2月	第21回 病児・病後児保育室キッズポートえきさい運営会開催 緊急時対応見直し
3月	名古屋市医師会主催 病児・病後児事業実施施設スタッフ研修会参加

利用児童数 335名

※今年度は移転に伴い仮施設にて規模を縮小し運営を行っているため利用者数は減少。

登録児童者数 153名

16. 図書室（2024年4月1日～2025年3月31日）

1. 購入資料数

資料種別	購入・契約数	合計
和書	122冊	131冊
洋書	9冊	
和雑誌	33誌	69誌
洋雑誌（EJ）	36誌	
オンラインデータベース	8種	-

※和・洋書と和雑誌は冊子体の冊数、洋雑誌（EJ）は単体で購読中のタイトルのみカウント

※和・洋EJ、EBOOKはデータベースでも契約中

2. 図書貸出冊数

・長期貸出（科・部署保管）

科・部署	冊数
歯科口腔外科	18
薬剤部	8
病理診断科	7
放射線科	4
救急科	3
眼科	2
呼吸器内科	2
小児科	2
中央検査部	2
医療安全対策室	2
中央放射線部	1
リハビリテーション部	1
初療室	1
渉外室	1
人事課	1
第二医事課	1
連携システム推進室	1
合計	57

・個人貸出

職種	冊数
看護師	124
研修医	5
技師	4
栄養士	3
薬剤師	2
医師	1
事務	1
合計	140

3. 他機関相互利用（ILL）数

ILL種別	件数
文献複写依頼	111
文献複写受付	2

17. 洋上救急、訪船診療

1) 洋上救急の概要

○概 要

洋上の船舶上で傷病者が発生し、医師による緊急の加療が必要な場合に、医師等を海上保安庁の巡視船・航空機により現場に急送するとともに、患者を巡視船等に引取り、医師の救急措置を加えつつ、陸上の病院にできるだけ早く搬送する制度です。

○体制整備の経緯

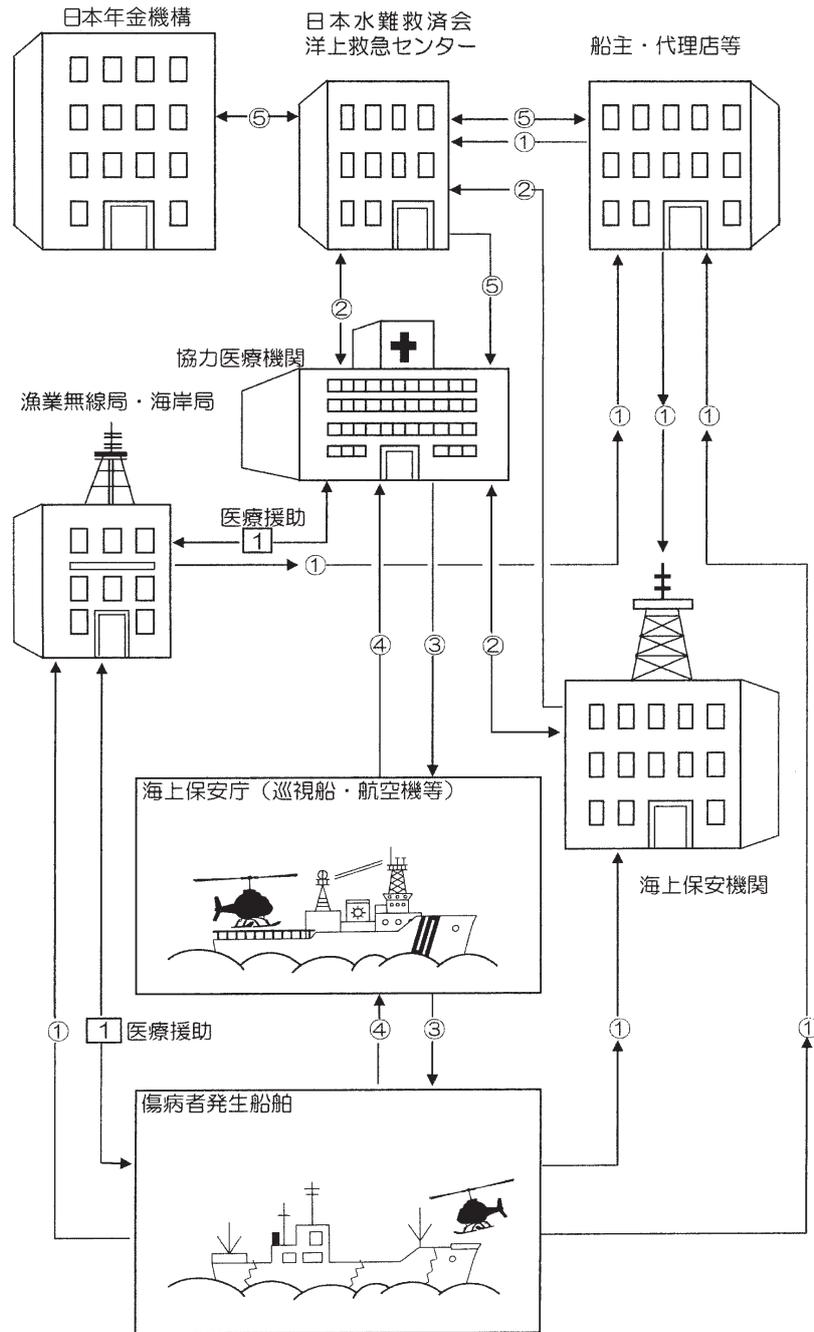
(社)日本水難救済会は、昭和60年10月1日から洋上救急事業を開始しました。医師の洋上における往診は、海を職場とする人々の長年の念願でありましたが、人命救助と船員福祉という人道的観点に立脚して、昭和59年12月3日に行われた運輸大臣に対する海上安全船員教育審議会会長からの建議に基づき、海上保安庁を始め社会保険庁及び関係官庁、医療機関、関係公益法人並びに関係民間団体が協力して整備したものです。

○仕 組

- ① 洋上の船舶上で傷病者が発生した場合、通常、医療通信で医師の指示を受けていますが、医師の加療が必要な場合、船主、代理店等（以下「船主等」という。）を通じ、あるいは直接、海上保安機関または洋上救急センターに医師の洋上往診を要請します。
- ② 要請を受けた海上保安機関または洋上救急センターは、協力医療機関と協議し、医師の洋上往診が必要であると判断された場合には、洋上救急センターは、直ちに協力医療機関に医師および看護師の派遣を要請します。この要請は、海上保安機関が代行することがあります。
- ③ 協力医療機関が医師等の派遣を決定した場合、海上保安機関は、医師等を巡視船・航空機に乗せ、現場に急送します。同時に傷病者発生船舶は海上保安機関の指示に従い会合地点に向かいます。
- ④ 巡視船は、ヘリコプター等により傷病者発生船舶から傷病者を収容し、医師の応急措置を行いつつ、できるだけ早く陸上の医療機関に搬送します。
- ⑤ 洋上救急センターは、協力医療機関に出動協力費を支払います。また、船主等から負担金を徴収するなど必要な事後処理を行います。
- ⑥ 洋上救急支援協議会は、以上の事業を支援します。

以上について図示すると次のとおりです。

洋上救急の手順例



2) 令和6年度 洋上救急慣熟訓練

実施日時 令和6年7月24日(水)
実施地区 東海地区
出動人員 医師 2名
 看護師 1名
 その他 2名

3) 令和6年度 無線医療相談件数

延相談件数 8件

医療無線内容について

4月	9日	不明	男性	82歳	不明
5月	2日	不明	男性	69歳	突発性難聴(疑)
5月	15日	不明	男性	不明	左母指爪脱臼、挫傷(疑)
6月	16日	不明	不明	不明	陰嚢腫大(疑)
7月	3日	日本人	男性	83歳	心不全(疑)
11月	3日	不明	不明	不明	良性発作性頭位めまい症(疑)
12月	27日	日本人	男性	56歳	急性緑内障発作(疑) アデノウイルス感染症(疑)
令和7年					
3月	19日	日本人	男性	74歳	虚血性腸炎(疑)

18. 情報管理センター（2024年4月1日～2025年3月31日）

1) システム・運用稼働・セキュリティ対策実績 2024年4月1日～2025年3月31日

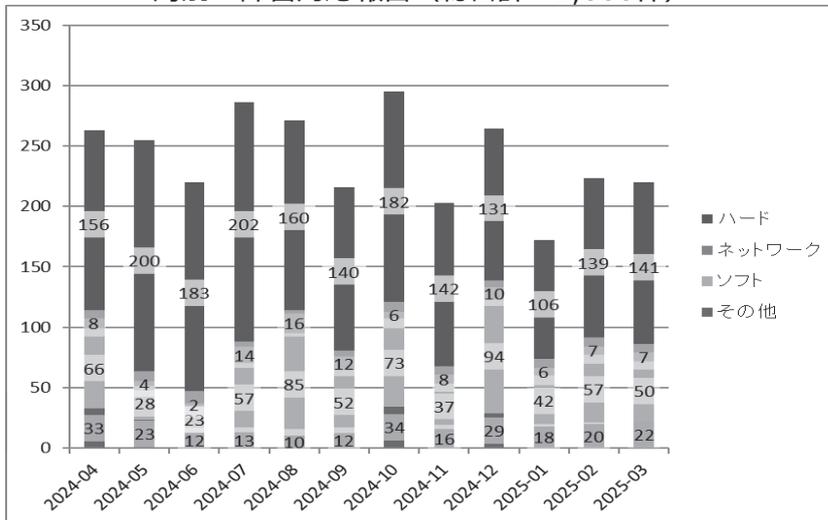
No	種 別	新	内 容
1	重要課題	○	システム障害時の業務継続計画(IT-BCP)策定
2	重要課題	○	DX推進委員会発足支援
3	重要課題	○	地域医療支援センター発足支援
4	重要課題	○	電子カルテデスクトップPC更新(レンタル)
5	重要課題	○	標的型攻撃メール訓練実施
6	重要課題	○	セキュリティ講演会実施
7	重要課題	○	翻訳システム導入支援
8	重要課題		データセンターを利用した世代バックアップサービス運用管理
9	重要課題		愛知県サイバーテロ対策協議会加盟による最新情報収集
10	重要課題		システム障害対策部会運営支援
11	システム変更・強化	○	生体情報管理システム更新支援
12	システム変更・強化	○	薬物アレルギーシステム更新支援
13	システム変更・強化	○	オンライン資格確認機能拡張支援
14	システム変更・強化	○	自動精算機 帳票変更支援
15	企画運営・導入支援	○	労災レセプトデジタル化システム導入支援
16	企画運営・導入支援	○	ペーパーレス会議導入運用支援
17	企画運営・導入支援		電子処方せん管理システム運用支援
18	企画運営・導入支援		レセプト院内審査支援システム運用支援
19	企画運営・導入支援		オンライン資格確認 医療扶助機能追加対応
20	企画運営・導入支援		オンライン資格確認システム運用支援
21	企画運営・導入支援		所見既読管理システム運用支援
22	企画運営・導入支援		入院棟ネットワーク監視
23	企画運営・導入支援		ナースコールシステム運用支援
24	企画運営・導入支援		外来待合システム構成運用支援
25	企画運営・導入支援		EkisaiMoodleサーバネットワーク運用支援
26	企画運営・導入支援		手術動画録画システム運用支援
27	企画運営・導入支援		オンライン診療システム運用支援
28	企画運営・導入支援		ネットワーク定期メンテナンス計画立案実施
29	企画運営・導入支援		Web会議・Webカンファレンスシステム開発・運用支援
30	企画運営・導入支援		ライブ配信システム開発・運用支援
31	企画運営・導入支援		医師書類代行システムメディパピルス更新に伴う運用支援
32	企画運営・導入支援		今日の診療更新に伴う運用支援
33	企画運営・導入支援		セキュリティ対策ソフトESETシステム運用管理
34	企画運営・導入支援		外来棟改修ネットワーク、システム運用支援
35	定期システム運営管理		病院旧資産を用いたプラベートサーバ構築
36	定期システム運営管理		ランサムウェア対策 セキュリティ教育Moodle配信
37	定期システム運営管理		コンピュータセキュリティ啓蒙活動
38	定期システム運営管理		名札・入退室カード作成支援
39	定期システム運営管理		SKYSEA クライアント管理システムによる不正PC監視
40	定期システム運営管理		ランサムウェア脅威に備えるためのサイバーリスク保険契約更新

2) 電子カルテシステム管理状況 2024年4月1日～2025年3月31日

部門別障害報告

診療部門・安全管理部・診療補助部門				病棟・看護部門		事務部門・その他	
部門名	件数	部門名	件数	部門名	件数	部門名	件数
血液内科	8	緩和ケア内科	9	2東	52	人事課	29
腎臓内科	7	歯科・歯科口腔外科	27	2南	74	会計課	5
糖尿病・内分泌内科	15	麻酔科	18	3東	78	庶務課(防/図/施/託/住/秘)	47
精神科	12	健康管理科	14	3南	45	用度課	10
脳神経内科	30	救急科	1	4東	55	第一医事課	22
腫瘍内科	0	化学療法センター	35	4南	53	第二医事課	43
呼吸器内科	36	臨床研修センター	31	5東	71	診療支援室	8
消化器内科	40	院内教育シミュレーションセンター	3	5南	83	救命救急センター管理課	1
循環器内科	55	医療安全対策室	20	6東	57	渉外室	6
膠原病リウマチ内科	7	感染対策室	4	6南	68	地域医療支援センター	109
小児科	23	薬剤部	58	7東	59	連携システム推進室	4
外科(消/乳/呼/肛)	56	中央検査部	30	7南	91	治験事務局	12
整形外科・手外科	45	検査部系	30	4F病棟	58	経営企画部	4
形成外科	9	輸血部	2	集中治療室	88	広報部	9
脳神経外科	36	中央放射線部	25	救命救急室	75	えきさい看護専門学校	0
心臓血管外科	5	リハビリテーション部	28	初療室	83	個室系	91
皮膚科	25	臨床工学部	14	緩和ケア病棟	46	講堂・会議室	38
泌尿器科	25	救命救急士部	0	中央放射線看護部	25	その他	27
産婦人科	26	栄養科	34	看護部	86	全体・複数部署	9
眼科	27	中央手術部	141	外来看護部	8		
耳鼻咽喉科	40	中央材料部	1	透析室	31		
リハビリテーション科	0	情報管理センター	5	入退院支援室	21		
放射線科	13	開発管理室	0				
病理診断科	9	病歴管理課	27				
		小計	1,107	小計	1,307	小計	474
総合計 2,888							

月別・障害対応報告 (総合計 2,888件)



故障・交換物品

物品	件数
デスクトップPC	125
ノートPC	131
プリンタ	65
モニタ	15
スキャナ	27
ハドワイアーミナル	73

ネットワーク・サーバ管理状況 2022年4月1日～2023年3月31日

	計画停止 (メンテナンス)	計画外停止 (障害)	NW瞬停 (瞬間的無応答)
サーバー	3	0	
ネットワーク	2	11	45

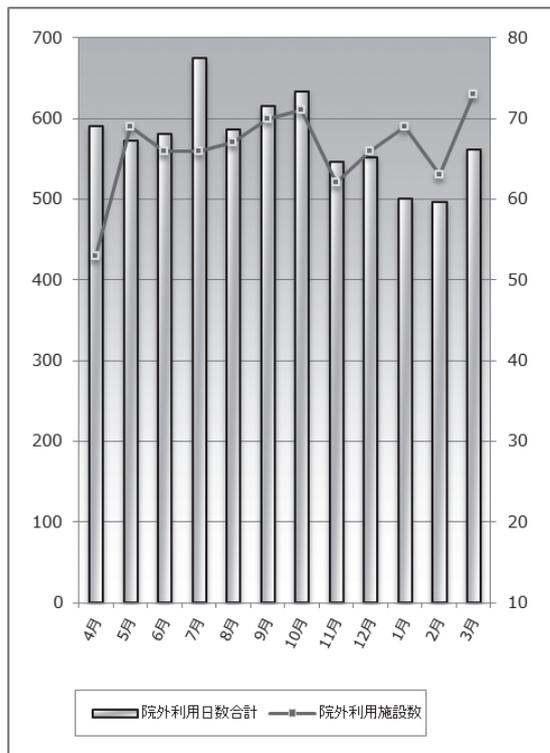
3) 医療情報連携システム（エキサイネット）について

エキサイネット利用状況（2024年4月1日-2025年3月31日）

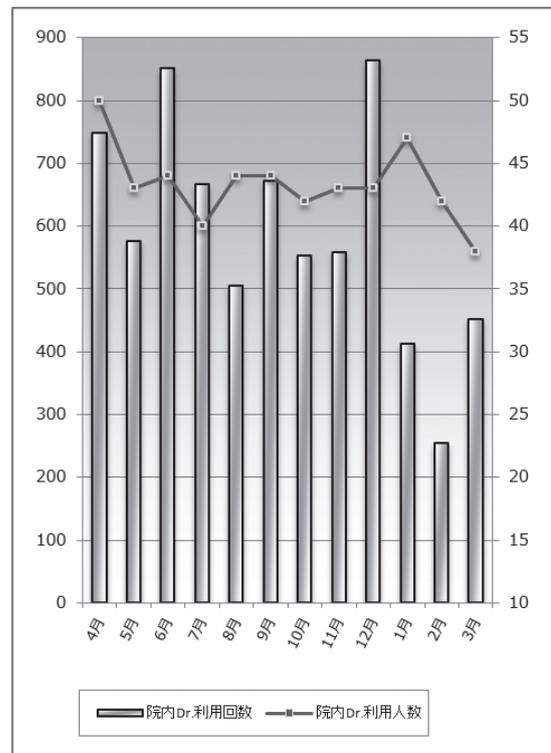
院外利用施設	ユーザー数
病院	25
リハビリ病院	6
歯科医院	2
診療所	160
地域支援センター	1
在宅クリニック	9
薬局	0
訪問看護ステーション	4
介護老人保健施設	8
その他	4
合計	219

院内利用者	ユーザー数
内科系	44
外科系	57
その他	30
合計	131

エキサイネット院外利用日数・利用施設数



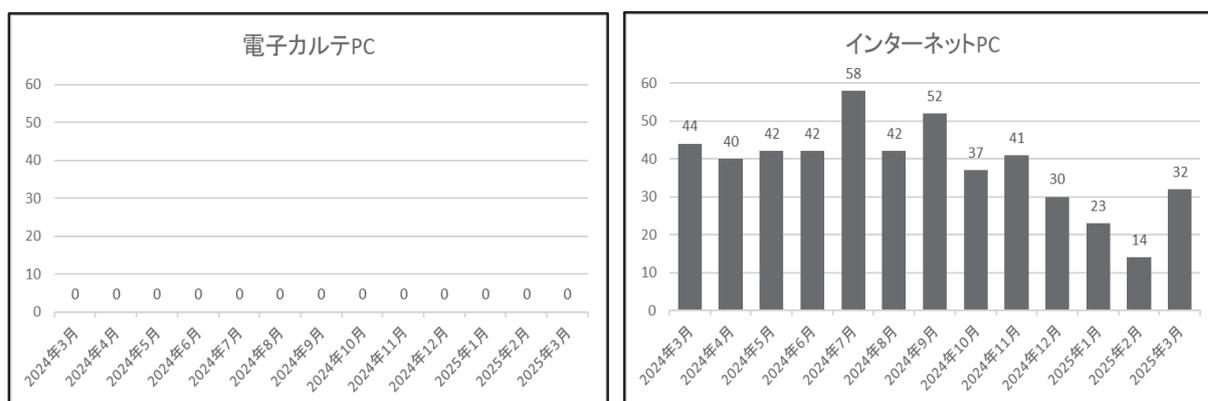
エキサイネット 院内Dr利用回数・利用人数



3) 電子カルテシステム関連プログラム修正・追加件数 2024年4月1日-2025年3月31日

依頼部署/項目	件数	依頼部署/項目	件数	依頼部署/項目	件数
栄養科	12	健康管理科	2	感染対策室	1
救命救急センター	7	情報管理センター	128	臨床研修センター	1
循環器内科	4	地域医療支援センター	13	庶務課	1
医事課	208	リハビリテーション部	8	透析室	1
病歴室	8	麻酔科	11	臨床工学部	1
検査部	3	放射線部	9	医療安全対策室	1
輸血部	4	看護部	60	薬剤部	2
合計					485

4) セキュリティ管理状況[ウイルス検知・削除数] 2024年4月1日～2025年3月31日



5) Web会議、Webカンファレンス実績 2024年4月1日～2025年3月31日

Web会議サポート実績

実施部署/担当	実施回数
医療安全対策室	5
医療相談室	5
看護部	4
感染対策室	5
救命救急センター管理課	44
庶務課	1
人事課	1
医事課	2
地域医療支援センター	3
治験事務局	1
リハビリテーション部	2
臨床研修センター	5
臨床工学部	1
合 計	79

Webカンファレンス開催実績

病棟	開催回数
7 東病棟	36
7 南病棟	28
5 東病棟	26
6 東病棟	25
6 南病棟	23
5 南病棟	22
2 東病棟	21
2 南病棟	14
4 F	12
3 東病棟	11
4 東病棟	6
4 南病棟	5
3 南病棟	3
緩和ケア	2
合 計	234

19. 医療用・その他器械購入備品（2024年4月1日～2025年3月31日）

〔 〕:2023年4月1日～2024年3月31日（購入価格:100万円以上）

	設置年月	部 署	品 名	規 格	メーカー名	数量
1	2024年4月	中央検査部	多機能心電計	FCP-8600	フクダ電子株式会社	1
2	2024年4月	中央放射線部	コンベックスプローブ	PVT-382BT	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	1
3	2024年5月	手術室	マルチガスユニット	GF-310R	日本光電工業株式会社	1
4	2024年5月	中央材料室	システムチューブ乾燥器	UD-M1S	株式会社ウドノ医機	1
5	2024年5月	中央材料室	ウォッシュャー ディスインフェクター	MAT LD1000-E1	株式会社ウドノ医機	1
6	2024年5月	中央放射線部	MRI Vantage Galan 3T V9アップグレード		キヤノンメディカルシステムズ株式会社	1
7	2024年6月	産婦人科	経膈プローブ	E8C-RS	GEヘルスケア・ジャパン株式会社	1
8	2024年6月	中央放射線部	X線循環器診断システム Alphenix	INFX-8000V/TK	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	1
9	2024年6月	救急科	トヨタ救急車	3BF-TRH226S-QFTDK	トヨタ自動車株式会社	1
10	2024年7月	臨床工学部	L3スイッチ		日本光電工業株式会社	1
11	2024年7月	救急科	デジタルラジオグラフィ	CXDI-710C Wireless	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	1
12	2024年7月	中央検査部	脳波計	EEG-1260	日本光電工業株式会社	1
13	2024年7月	薬剤部	自動秤量機能付き散薬分包機	YS-Srzero	株式会社ユヤマ	1
14	2024年7月	薬剤部	散薬監査システム PC-DX II-P	YS-PC-DX II-P	株式会社ユヤマ	1
15	2024年8月	歯科口腔外科	サージトロン デュアル EMC	IEC3A-S30-90	株式会社ellman-Japan	1
16	2024年8月	手術室	移動型デジタル式汎用一体型X線透視診断装置 OEC Elite CFD		GEヘルスケア・ジャパン株式会社	1
17	2024年8月	消化器内科	内視鏡システム EVIS X1	EVIS X1	オリンパス株式会社	1
18	2024年8月	消化器内科	上部消化管汎用ビデオスコープ	GIF-1200N	オリンパス株式会社	1
19	2024年8月	消化器内科	上部消化管汎用ビデオスコープ	GIF-XZ1200	オリンパス株式会社	1
20	2024年8月	放射線科	XTREK FUSION ワークステーション		株式会社ジェイマックシステム	1
21	2024年8月	救急科	救急車向け映像伝送システム		ENWA株式会社	1
22	2024年9月	耳鼻咽喉科	超音波診断装置 ARIETTA 50	ARIETTA 50	富士フイルムヘルスケア株式会社	1
23	2024年9月	中央検査部	脳波計	EEG-1260	日本光電工業株式会社	1
24	2024年9月	手術室	外科用手術台	DR-8800V-2	タカラベルモント株式会社	1
25	2024年9月	臨床工学部	人工呼吸器 Evita V600	V600	ドレーゲルジャパン株式会社	2
26	2024年9月	透析室	超音波診断装置 Aplio flex	CUS-AFL00	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	1
27	2024年9月	2南病棟	セントラルモニター	CNS-2101	日本光電工業株式会社	1
28	2024年9月	6南病棟	医用テレメータ	WEP-1650	日本光電工業株式会社	1
29	2024年9月	4F病棟	医用テレメータ	WEP-1650	日本光電工業株式会社	1
30	2024年10月	中央放射線部	多目的デジタルX線TVシステム Ultimax-i	DREX-UI80/16	キヤノンメディカルシステムズ株式会社	1
31	2024年11月	循環器内科	IMPELLA 制御装置（光学センサ対応）	0042-0040-JP	日本アビオメッド株式会社	2
32	2024年12月	救命救急室	アリウスシリーズICUベッド	KA-H7410B	パラマウントベッド株式会社	3
33	2024年12月	集中治療室	アリウスシリーズICUベッド	KA-H7410B	パラマウントベッド株式会社	1

	設置年月	部署	品名	規格	メーカー名	数量
34	2024年12月	手術室	内視鏡手術システム IMAGE1 S Rubina 4K3D		カールストルツ・エンドス コピー・ジャパン株式会社	1
35	2024年12月	初療室	ベッドサイドモニタ	BSM-1763	日本光電工業株式会社	1
36	2025年1月	消化器内科	上部消化管汎用ビデオスコープ	GIF-EZ1500	オリンパス株式会社	1
37	2025年1月	消化器内科	大腸ビデオスコープ	CF-EZ1500DI	オリンパス株式会社	1
38	2025年1月	消化器内科	大腸ビデオスコープ	CF-XZ1200I	オリンパス株式会社	1
39	2025年1月	3東病棟	セントラルシステムCS3 (アトム母体胎児監視システム)	16300	アトムメディカル 株式会社	1
40	2025年2月	集中治療室	デフィブリレータ	TEC-1031	日本光電工業株式会社	1
41	2025年3月	中央検査部	全自動遺伝子解析装置 FilmArray Torchシステム 3モジュール		バイオメリュー・ジャ パン株式会社	1
42	2025年3月	臨床工学部	生体情報管理システム PrimeGaia	PRM-7100	日本光電工業株式会社	1

計 46 [60]

20. 開発管理室（2024年4月1日～2025年3月31日）

○業務概要

- 1) 診療科と部門の目標達成に係わる支援活動
- 2) データの二次利用に関するシステム開発
- 3) 院内ITリテラシーの向上を目的とした、IT人材の育成および輩出

○業務分掌

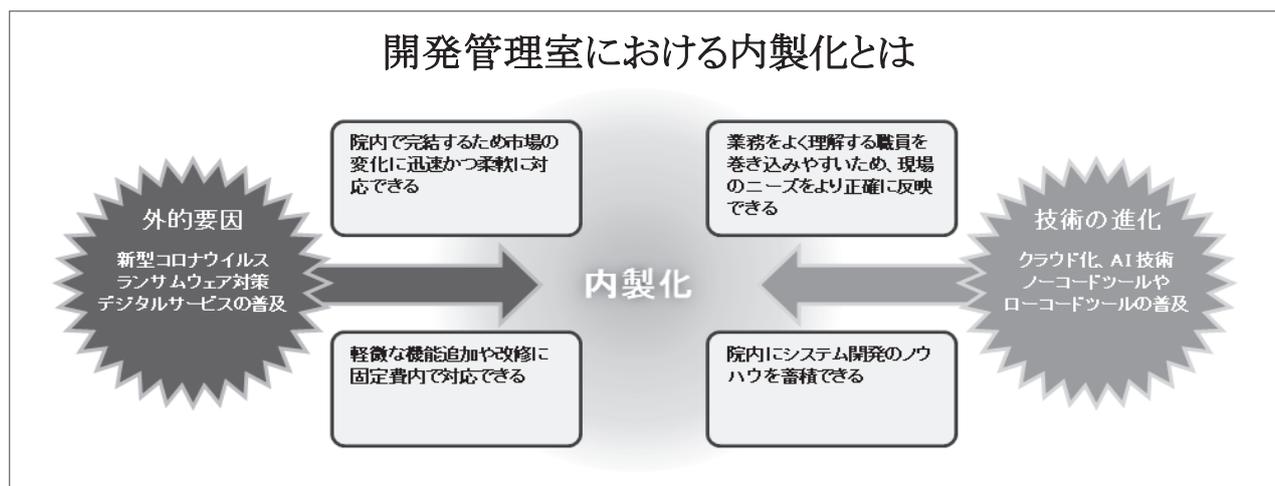
- 業務効率化を目的としたシステム開発
- 各種医療情報を収集したのち変換をし2次利用する。
- 各部門システムの導入支援業務
- IT人材（分析ジェネラリスト）の育成・輩出
- 輩出した人材との交流、情報共有により潜在する課題の発見・対応

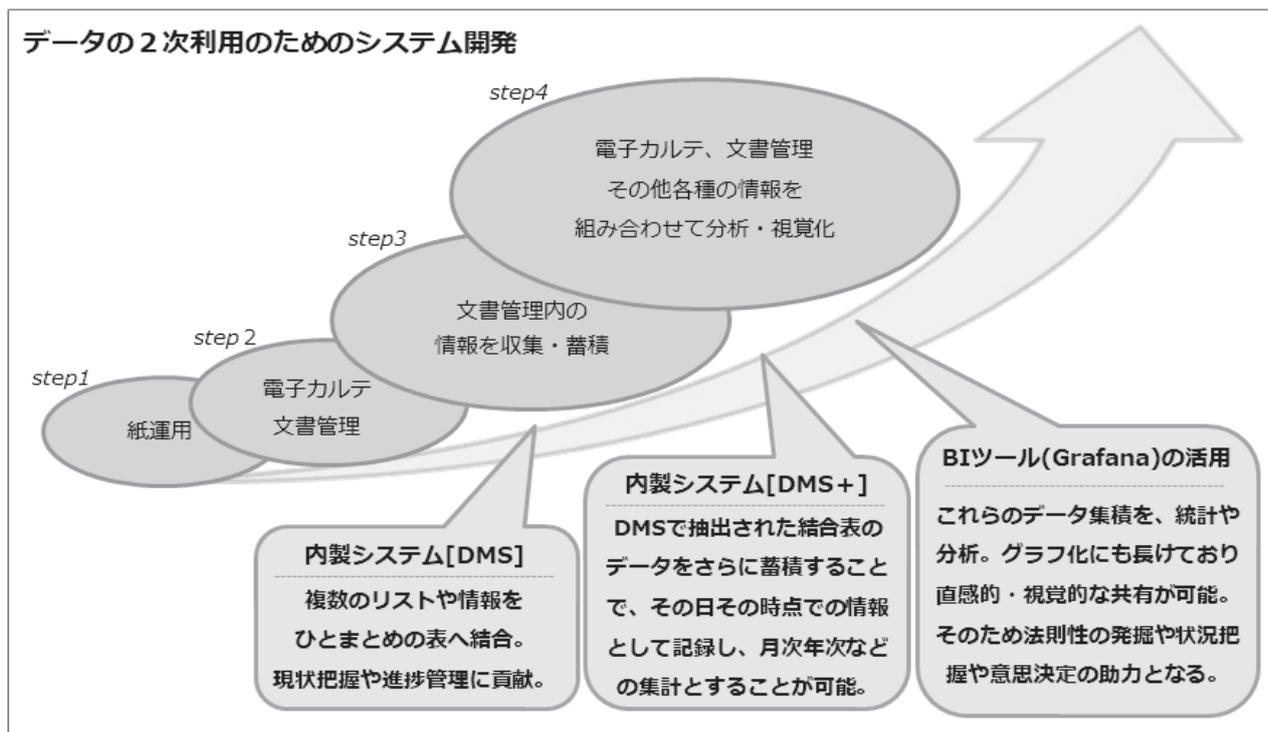
○体制整備の経緯

病院経営の課題が多岐にわたるようになったことがあり、情報管理センターが対処すべき課題は、昔と比べものにならないほど増加した。その中でもシステム開発に関する事項が増加傾向にあるため情報管理部内に開発管理室を設立。

○業務理念、目標

従来の電子カルテ保守中心の業務から一步前進し、院内の抱える問題へより耳を傾け、その解決を図る。開発管理室スタッフが医療現場と対話し医療現場の実情や悩みを知ることで、医師やコメディカルのコンセンサスを得て適切な外部システムの検討ないし院内システム開発を推進するベンダーコントロールの役割を果たす。





○システム開発内製化の沿革

- 2002年 エキサイネット稼働
- 2003年 エキサイネット版DICOMビューワ稼働
- 2004年 ベッドコントロールシステム稼働
- 2005年 初期臨床研修評価システム稼働
- 2006年 救命棟 I T 基盤の設計管理システム稼働
外来待合表示・呼び出しシステム稼働
- 2009年 地域連携クリティカルパスシステム稼働
- 2010年 看護学校 I T 基盤の設計・管理システム稼働
リスクマネジメントシステム稼働
- 2011年 手術動画管理システム稼働
- 2012年 神戸掖済会病院に災害対策用サーバ設置
- 2015年 データマネジメントシステム DMS 稼働
- 2017年 新リスクマネジメントシステム稼働
- 2018年 患者・職員向けHotSpotシステム稼働
新手術動画管理システム稼働
- 2019年 患者持ち込み画像管理システム稼働
- 2020年 Web会議・講演会ライブ配信稼働
- 2021年 開発管理室発足
- 2022年 [DMS +]稼働
- 2022年 エキサイMoodleシステム稼働
- 2023年 新初期臨床研修評価システム稼働
- 2024年 リハビリリ口腔栄養加算評価入力管理システム稼働

○2024年度 取り組み実績

- 1) 診療科と部門の目標達成に係わる支援活動
 - 栄養情報連携サマリ文書（後方連携支援）
 - 栄養管理計画書文書（診療報酬会計対応）
 - 処方チェックシステム改修（誤発行抑制）
 - 地域連携診療情報提供書
 - 虐待チェックリスト性暴力版
 - 特定行為手順書追加（特定行為対象拡大）
 - Moodle実施者リスト検索システム（Noodle実施率向上支援）
 - 血液製剤管理簿用ラベルフォーマット作成
 - がんパステンプレート
 - 逆紹介窓口テンプレート

- 2) データの二次利用に関するシステム開発
 - リハビリテーション部 リハビリ総合計画評価料1算定率向上DMS
 - 地域医療支援センター 診療予約枠変更検知DMS
 - 看護管理質 ラピッドレスポンス記録管理DMS
 - 薬剤部 採用医薬品集の作成支援DMS

- 3) 院内ITリテラシーの向上を目的とした、IT人材の育成および輩出育成
 - DMS講習（事務部新人向け）
 - EXCEL講習（事務部新人向け）
 - 分析ジェネラリスト業務補助打ち合わせ（隔月開催）

- 4) 内製システム継続保守
 - 長期署名システム運用支援
 - EkisaiMoodle運用保守
 - 文書管理データ変換機能（aspose）更新対応
 - 新初期臨床研修評価システムのデータ更新・運用保守

21. 広報部 メディア掲載実績 (2024年4月1日～2025年3月31日)

	掲載・放映日	掲載・放映媒体	テーマ・コーナー名	対応部署
1	2024年4月16日	メーテレ	熱中症(暑熱順化)	救急科 後藤医師
2	2024年5月15日	中日新聞	看護師不足	山口看護部長
3	2024年7月3日	東海テレビ	熱中症	救急科 小川医師
4	2024年7月26日	メーテレ	熱中症	救急科 後藤医師
5	2024年7月29日	読売新聞	病院の実力 大腸がん	病歴管理課
6	2024年9月2日	読売新聞	病院の実力 胃がん	病歴管理課
7	2024年9月1日	中日新聞	クラウドファンディング	救急科 小川医師
8	2024年8月14日	中日新聞	ドクターカー・ラピッドカー	北川院長・救急科 小川医師
9	2024年8月12日	東海テレビ	ドクターカー・ラピッドカー	救急科 小川医師
10	2024年9月23日	CBC	ドクターカー・ラピッドカー	救急科 小川医師・ 新田救命士
11	2024年10月24日	読売新聞	病院の実力 肺がん	病歴管理課
12	2024年11月1日	東海テレビ	ドクターカー・ラピッドカー	救急科 後藤医師・小川医師・ 飯森救命士
13	2024年10月18日	東海テレビ	リベルサスは「痩せる薬」?	糖尿・内分泌内科 高橋医師
14	2024年11月12日	東海テレビ	医師による死亡確認とは? (東浦町救急隊の事例を受けて)	救急科 小川医師
15	2024年11月20日	読売新聞	病院の実力 前立腺がん	病歴管理課
16	2024年12月4日	中日新聞	レゴランドジャパンがやってきた!	3南病棟
17	2024年12月22日	読売新聞	病院の実力 血液がん～愛知編～	病歴管理課
18	2024年12月23日	名古屋フリモ	特集 内視鏡センター	内視鏡センター
19	2025年1月17日	東海テレビ	阪神淡路大震災から30年	救急科 萩原医師
20	2025年2月23日	中日新聞	能登半島地震 広域搬送の今	北川院長

Ⅱ 研究活動，院内研修活動，広報・対外活動 に関する実績

1. 研究活動

(2024年1月1日～12月31日)

1. 対象となる業績

- ① 著者、講演者などのうち少なくとも1人が、名古屋掖済会病院の常勤職員であること。職員が職員向けに行なう講演は含まない。
- ② 期間は2024年1月1日から2024年12月31日まで

2. 業績の分類－下記のようにわけて指定された書式に従って記載する。

- ① 著書 ② 論文 ③ 学会、研究会 ④ 講演会、講習会、研修会など ⑤ 学会長
- ⑥ その他（①から⑤以外）

3. 書式

- ① 共著者、共同発表者は可能ならすべて記載する。筆頭者を最初に記載する。他施設に所属する人名にはアンダーラインを引く。
- ② 各部署の業績のうち、著者、演者が複数の部署に所属場合は、各部署以外に所属する人名の後に括弧付きでその部署名を記載する。
- ③ 初期および後期臨床研修医は人名の後にそれぞれ（初研）、（後研）と記載する。
- ④ 書き方（下記参照）

①著書：題名（分担執筆の有無）、著者・編者名、著書名、発行所：頁－頁、発行年月

②論文：題名、著者名、雑誌名、巻：頁－頁、発表年月

③学会・研究会：演題名、学会・研究会名、発表年月

④講演会・講習会・研修会など：演題名、演者名、講演会・講習会名など、発表年月

⑤学会長：学会名、学会長名、開催年月

⑥その他：演題名、発表者名、発表誌など、発表年月

目 次

血液内科	113
腎臓内科	113
糖尿病・内分泌内科	114
呼吸器内科	115
循環器内科	115
脳神経内科	126
精神科	126
消化器内科	127
小児科	128
放射線科	128
救急科	129
外科・肛門科・呼吸器外科・乳腺外科	136
整形外科	140
脳神経外科	143
心臓血管外科	145
産婦人科	145
眼科	146
耳鼻咽喉科	146
歯科・口腔外科	146
薬剤部	148
中央検査部・輸血部・病理診断科	150
中央放射線部	151
リハビリテーション部	152
臨床工学部	154
栄養科	158
看護部	159
緩和ケア内科	160
入退院支援室	161
広報部	161

血液内科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月日
1	血液疾患患者に対する抗菌薬選択におけるESBL(Extended Spectrum β Lactamase)産生菌の影響	小島由美、尾関榛菜、小川磨育子、家田美保、早川正哉	第13回日本血液学会東海地方会	2024.6
2	心臓病変により心停止に至り着用型自動除細動器を導入する事で治療完遂・救命し得た悪性リンパ腫の一例	小川磨育子、吉山聡一、家田美保、早川正哉、小島由美、小川健一朗、伊藤正則	日本内科学会第254回東海地方会	2024.10
3	著明な好酸球増多で発病し診断に難渋した悪性リンパ腫の一例	山室佑香、家田美保、小川磨育子、吉山聡一、早川正哉、小島由美	日本内科学会第254回東海地方会	2024.10

腎臓内科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月	開催地
1	2型糖尿病患者におけるチルゼパチドの使用経験 透析間体重増加、推定塩分量、nPCRの変化	中嶋貴、稲垣高広、常世田智明、岡本岳史	第69回日本透析医学会学術集会・総会		
2	高アンモニア血症に対し、血液透析を行った原発性副甲状腺機能亢進症の一例	青木夕紀、稲垣高広、常世田智明、岡本岳史、中嶋貴	第69回日本透析医学会学術集会・総会		
3	血液透析治療における非侵襲的連続推定心拍出量(esCCO)モニタリングの有用性	中井浩司、平手裕市、平松武幸、小嶋和恵、土井厚、中嶋貴	第51回日本集中治療医学会学術集会		
4	血液透析治療におけるシャント側SPO2の信頼性	和田結佳、中井浩司、平手裕市、平松武幸、川畑駿太郎、土井厚、檜垣登志江、中嶋貴	第45回日本アフェレシス学会学術大会		
5	血液透析におけるシャント側SPO2モニターを用いた非侵襲的連続推定心拍出量測定信頼性と有益性	中井浩司、平手裕市、平松武幸、小嶋和恵、土井厚、檜垣登志江、川畑駿太郎、和田結佳、毛利空広、中嶋貴	第45回日本アフェレシス学会学術大会		

そ の 他

No.	題 名	名 前	学会・研究会名など	年月日	開催地
1	CKDと歩行	演者：中嶋貴	名南CKD合併症対策セミナー		
2	カリウム管理における最新の知見	座長：中嶋貴	LOKELMA Online Symposium		

No.	題名	名前	学会・研究会名など	年月日	開催地
3	保存期CKD患者のカリウム管理	座長：中嶋貴	HK chronic management for CKD		

論文

No.	題名	著者名	雑誌名	年月日
1	Reliability and benefit of estimated continuous cardiac output measurement using shunt-side SpO2 monitor in hemodialysis	Koji Nakai, Yuichi Hirate, Takashi Nakajima, Atsushi Doi, Takeyuki Hiramatsu, Toshie Higaki, Aiko Nakai	Therapeutic Apheresis and Dialysis	
2	Obturator Hernia in a Patient Undergoing Hemodialysis	Tomoaki Tokoyoda, Takahiro Inagaki, Yuki Aoki, Takeshi Okamoto, Takashi Nakajima, Keisuke Teramoto	Intern Med	

糖尿病・内分泌内科

学会・研究会

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	末期腎不全2型糖尿病患者の腎移植後の内因性インスリン分泌能と腎移植機能との関係性	東島亜記、佐藤哲彦、伊藤菜々華、北村柁騎、岡崎美香子、大曾根親文、東慶成	第67回 日本糖尿病学会 年次学術集会	2024.5.18 東京国際 フォーラム
2	血行性遠隔転移の第5腰椎 (L5) 転移により発見された甲状腺左葉濾胞癌の82歳男性	高橋典男、柴田雅央(外科)、岩田直也(初期)、加藤佑啓(初期)、浅井一将、太田早也香、栗田研人、大屋有夏	第97回 日本内分泌学会 学術総会	2024.6.7 パシフィコ 横浜ノース
3	急激な甲状腺腫大で気道緊急を来した甲状腺悪性リンパ腫の一例	伊林亜記、大屋有夏、浅井一将、太田早也香、柴田雅央(外科)、家田美保(血内)、高橋典男	第67回 日本甲状腺学会 学術集会	2024.10.5 パシフィコ 横浜ノース
4	ジアゾキシド有効なインスリンノーマを疑う88歳女性	高橋典男、山田藍里紗、大屋有夏、伊林亜記、浅井一将、太田早也香、鈴木浩二、栗田研人	第34回 臨床内分泌代謝 Update	2024.11.29 名古屋国 際会議場

その他

No.	題名	名前	学会・研究会名など	年月日
2	糖尿病患者さんを合併症から守りたい！～体験型の食事療法啓発活動を実践し高いQOLを維持～	角田こころ(栄養)、高橋典男	リーフレット	2024.4.16
3	毎月、糖尿病患者さんと一緒に食事をしています。	高橋典男	医療コラム	2024.7.2

No.	題名	名前	学会・研究会名など	年月日
4	糖尿病治療薬がダイエット薬として不適切に処方されている問題について	高橋典男	大谷ジャーナル (東海テレビ)	2024.10.18

呼吸器内科

学会・研究会

No.	演題名	演者名	学会名	開催年月
1	転移性肺腫瘍と鑑別を要した浸潤性粘液性肺腺癌の1例	鈴木稜、伊藤利泰、町井春花、岩間真由子、田中太郎、西尾朋子、今村妙子、浅野俊明、島浩一郎	第125回日本呼吸器学会 東海地方学会	2024.6
2	著明な皮下気腫・縦隔気腫により急速に上気道狭窄を来し気管挿管となった気胸の一例	今村妙子、鈴木稜、伊藤利泰、町井春花、岩間真由子、田中太郎、西尾朋子、浅野俊明、島浩一郎	第125回日本呼吸器学会 東海地方学会	2024.6
3	COVID-19院内クラスターにおける伝播形式の検討	小島由美、伊藤秀明、二神諒子、大西紀子、横井博子、佐々木梨恵、浅野俊明	第39回日本環境感染学会 総会・学術集会	2024.7
4	免疫チェックポイント阻害薬が奏功したROS1陽性肺癌の1例	鈴木稜、島浩一郎、浅野俊明、今村妙子、西尾朋子、田中太郎、岩間真由子、町井春花、伊藤利泰	第126回日本呼吸器学会 東海地方学会	2024.10
5	喀血に対してEWS充填術を施行した結核の一例	田中太郎、島浩一郎、浅野俊明、今村妙子、西尾朋子、岩間真由子、町井春花、伊藤利泰、鈴木稜	第126回日本呼吸器学会 東海地方学会	2024.10

循環器内科

学会・研究会

No.	演題名	演者名	学会名	開催地	年月日
1	Efficacy of Crusade Type R dual lumen catheter	津田卓真	Singapore Live 2024	シンガポール	2024/1/18
2	Live コメンテーター	津田卓真	Singapore Live 2024	シンガポール	2024/1/18
3	Live コメンテーター	津田卓真	J Calc 2024	大阪	2024/1/19
4	CRT strategy seminar にて「CRTの現在地」	伊藤正則	BIOTRONIK社 WEB講演会	Web	2024/1/23
5	Complex症例における治療選択	津田卓真	TERUMO PCI Seminar 東海北陸WEB講演会	名古屋	2024/2/1

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
6	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/2/2
7	Live コメンテーター	津田卓真	東海ライブ研究会	Web	2024/2/3
8	ACS・CCS治療において循環器内科医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンション Strike Early Strike Strong ～	津田卓真	Next Seminar ～ Imagination for ACS Patinets ～	松山	2024/2/6
9	“Orsiro Missionの使用経験と最新エビデンス”	津田卓真	4th Generation DES Orsiro Mission のポテンシャル	web	2024/2/7
10	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in 福井 循環器病院	福井	2024/2/9
11	～ Lesion preparationを考える～	津田卓真	ワークショップ in 福井 循環器病院	福井	2024/2/9
12		鶴見尚樹	第16回植込みデバイス関連 連冬季大会	広島	2024/2/9
13	ACS/CCS治療において循環器内科医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンション Strike Early Strike Strong ～	津田卓真	Next Seminar ～ Repatha Web Symposium ～	名古屋	2024/2/16
14	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/2/20
15		鶴見尚樹	ILR研究会	Web	2024/2/
16	“ACSにおけるslow flowを克服する”	津田卓真	なぜPerfusion balloonなのか ACSを再考する	web	2024/3/1
17	To Improve the Safety and Efficacy of Rotablator	津田卓真	MIS Korea2024	韓国	2024/3/8
18	Live コメンテーター	津田卓真	MIS Korea2024	韓国	2024/3/8
19	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/3/12
20	コメンテーター	伊藤正則	ICD1次予防を再考する ライフライン	Web	2024/3/12
21	ACS・CCS治療における薬物インターベンション ～ 脂質管理の the lower the better, the earlier the better ～	津田卓真	Next Seminar ～ PCI Management Conference ～	名古屋	2024/3/18

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
22	新時代の脂質低下 SiRNA製剤 インクリシランはどのように使用するべきか？	津田卓真	Cardiovascular Meeting in TOKAI	名古屋	2024/3/28
23	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/4/5
24	“CCSに対する新たな治療戦略を考える”	津田卓真	座談会企画	東京	2024/4/6
25	Live コメンテーター	津田卓真	KCJL 2024	Web	2024/4/6
26	DCB治療の可能性	津田卓真	KCJL 2024	大阪	2024/4/7
27	RCA CTOの一例	津田卓真	KCJL 2024	Web	2024/4/8
28	Device characteristics of OAS	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/4/9
29	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/4/9
30	～ OCTを駆使した Debulking Strategy ～	津田卓真	OAS×OCT Webinar	名古屋	2024/4/10
31	Device characteristics of OAS	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/4/16
32	パネリスト	鶴見尚樹	多極電極カテーテル研究会	Web	2024/4/
33	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/4/16
34	RCA CTO	津田卓真	EDGE	名古屋	2024/4/19
35	Live コメンテーター	津田卓真	横浜5回 ライブデモン ストレーション	品川	2024/4/20
36	ACS/CCS治療における循環器内科医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンション the lower the better, the earlier the better ～	津田卓真	Tokai ～ Repatha Web Symposium ～	名古屋	2024/4/23
37	Panelist	津田卓真	TCTAP 2024	韓国	2024/4/25

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
38	Zero-iodinated contrast PCI for LAD-CTO in patient with severe anaphylaxis to iodinated contrast	津田卓真	TCTAP 2024	韓国	2024/4/26
39	Panelist	津田卓真	TCTAP 2024	韓国	2024/4/26
40	Live コメンテーター	津田卓真	TCTAP 2024	韓国	2024/4/26
41	当院における被ばく低減の工夫と最新装置 Alphenix への期待	津田卓真	日本心血管インターベンション治療学会(CVIT) 第50回東海北陸地方会	静岡	2024/4/27
42	IVUS guided antegrade CTO - Step by step	津田卓真	TIC 2024	インド	2024/5/4
43	Step by step - Retrograde	津田卓真	TIC 2024	インド	2024/5/4
44	“To Improve the Safety and Efficacy of Rotablator”	津田卓真	ROVUS 2024	web	2024/5/6
45	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in 名古屋徳洲会病院	名古屋	2024/5/7
46	Cardiovascular event抑制のために循環器内科医ができること脂質管理における薬物インターベンションStrike Early, Strike Strong	津田卓真	CV Permium Conference	名古屋	2024/5/15
47	RCA CTOの一例	津田卓真	Kaneka CTO web conference	web	2024/5/20
48	“SHOCKWAVEの得手不得手”	津田卓真	SHOCKWAVE 社 社内講演	web	2024/5/20
49	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in ベトナム	ベトナム	2024/5/21-24
50	循環器診療のミライ予想図 ~サステナブルな医療提供と次世代活躍の場~	阿部七海	「循環器内科医がミエル(診得る/見得る)未来会議2024」	名古屋	2024/5/28
51	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in 半田市立病院	半田	2024/5/29
52	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/6/4
53	Live コメンテーター	津田卓真	ADATARA Live 2024	福島	2024/6/6
54	Strike Early and Strike Strongを考慮したACS戦略を実臨床から再考する ~二次予防のための脂質管理強化~	津田卓真	PCSK9 Premium Workshop in Summer 2024	名古屋	2024/6/8

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
55	Live コメンテーター	津田卓真	CTO club	名古屋	2024/6/8
56	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/6/11
57	アドバンスセラピーの重要性/ PCSK9 製剤の導入方法	津田卓真	ノバルティス アドバイザ リー会議	東京	2024/6/12
58	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/6/14
59	座長	津田卓真	PICASSO 2024	名古屋	2024/6/15
60	Ranger/ELUVIAの使いドコロ	津田卓真	モサノカイ	名古屋	2024/6/18
61	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in 津島 市民病院	津島	2024/6/19
62	ACS/CCS後 のLipid Management ~~Strike Early and Strike Strongの 治療概念~~	津田卓真	ANGIOPLASTER MASTER COURSE	名古屋	2024/6/20
63	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/6/20
64	rangerの勝ちパターン	津田卓真	ワークショップ in 中部国 際医療センター	名古屋	2024/6/24
65	“血管内イメージングの初歩”	津田卓真	ROAD TO EXPERT	名古屋	2024/6/27
66	Live コメンテーター	津田卓真	第14回 豊橋ライブデモン ストレーション	Web	2024/6/28
67	Live コメンテーター	津田卓真	第14回 豊橋ライブデモン ストレーション	Web	2024/6/29
68		鶴見尚樹	第163回日本循環器学会 東海地方会	名古屋	2024/6/29
69	緊急事態に備える PCI手技における 合併症バリエアウト#3 ~~ DCA ~~	津田卓真	ecasebook	web	2024/7/9
70	チーム医療により重症ACS症例を克 服する ~ 名古屋掖済会病院 編 ~	津田卓真	TOPIC 2024	東京	2024/7/11

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
71	TOPIC (Tokyo Percutaneous Cardiovascular Intervention) 2024 全身状態不良の高齢CKD女性の高度石灰化病変を治療した一例	小嶋弘毅	TOPIC 2024	東京	2024/7/11
72	『症例ベースで考える!!』～ Strike Early and Strike Strongを考慮した脂質管理～	津田卓真	Tokai Repatha Web Symposium	名古屋	2024/7/19
73	RCA CTO case	津田卓真	Dr.Okada's conference	web	2024/7/21
74	“retry RCA-CTO”	津田卓真	刮目シリーズ	web	2024/7/22
75	座長	津田卓真	EDGE	名古屋	2024/7/26
76	Strike Early and Strike Strongを考慮したACS治療戦略について ～ 二次予防のための脂質管理強化～	津田卓真	第32回 CVIT総会	北海道	2024/7/27
77	Safety and Effectiveness of JETSTREAM in Acute Period	津田卓真	第32回 CVIT総会	北海道	2024/7/27
78	AMI Video Live session Part2 チーム医療により重症ACS症例を克服する ～名古屋掖済会病院編～	津田卓真	TOPIC 2024 meets Kaneka ACS症例検討会	web	2024/7/29
79	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/8/2
80	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/8/6
81	My experience with the latest generation stents with Q & A	津田卓真	Discussions around next generation stent with Treatment Advances in DES Technology	web	2024/8/7
82	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/8/8
83	“GECの使い分けとTelescopeの特徴”	津田卓真	第37回日本心血管インターベンション治療学会九州・沖縄地方会	佐賀	2024/8/23
84	“デバルキングデバイスの為のイメージグ活用法”	津田卓真	デバルキングを学ぶ会	名古屋	2024/8/23
85	ACS/ CCS治療において循環器内科ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンション Strike Early, and Strike Strong～	津田卓真	Tokai Repatha Web Symposium	名古屋	2024/8/27
86	ACSの一例	津田卓真	ACS conference	web	2024/9/5

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
87	Live コメンテーター	津田卓真	KCC 2023	金沢	2024/9/7
88	脂質異常症 (LDL/ TG)治療における現状と課題	津田卓真	Lipid Management Web Conference	web	2024/9/9
89	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/9/13
90	Live コメンテーター	津田卓真	KENKO live	岐阜	2024/9/14
91	Live コメンテーター	津田卓真	KENKO live	岐阜	2024/9/14
92	“retry RCA-CTO”	津田卓真	刮目シリーズ	名古屋	2024/9/25
93	AMI Video Live session Part2 チーム医療により重症ACS症例を克服する ~~名古屋掖済会病院編~~	津田卓真	TOPIC 2024 meets Kaneka ACS症例検討会	weeb	2024/9/26
94	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in インド	インド	2024/9/24-27
95	LADの偏心性石灰化病変の治療	津田卓真	Calcmaster	web	2024/9/27
96	地域連携共通パス定着をめざして	加藤俊昭	名古屋市南部心不全パスマーケティング	名古屋	2024/10/2
97	治療に難渋した高齢巨細胞性心筋炎の1例	原田有貴	第254回 日本内科学会 東海地方会	浜松	2024/10/6
98	循環器3 座長	加藤俊昭	第254回 日本内科学会 東海地方会	浜松	2024/10/6
99	ECPELLA管理により救命し得たリンパ球性心筋炎の1例	原田有貴	第254回 日本内科学会 東海地方会	浜松	2024/10/6
100	エキサイ健康教室「心不全パンデミック」	谷村大輔	エキサイ健康教室	名古屋	2024/10/8
101	各病変に適したガイドワイヤーの選択	津田卓真	TERUMO PCI Seminar 東北北陸WEB講演会	名古屋	2024/10/10
102	Marshall静脈を介した左肺静脈への心外膜伝導のために肺静脈隔離に難渋した1例	鶴見尚樹	カテーテルアブレーション関連秋期大会2024	大阪	2024/10/10
103	NEW DCB/ AGENTへの期待	津田卓真	POPAI 2024	Web	2024/10/12

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
104	OASを最大限生かすためのイメージ グ活用法	津田卓真	POPAI 2024	Web	2024/10/12
105	脂質異常症をどう管理するか	津田卓真	POPAI 2024	Web	2024/10/12
106	当院における心房細動診療	加藤俊昭	トーアエーヨー社内講演	名古屋	2024/10/15
107	LADの一例	津田卓真	ワークショップ in 榊原 記念病院	東京	2024/10/16
108	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in 半田 市立病院	半田	2024/10/16
109	津田は驚いた!! scoreflex TRIOの有用 性 ~津田流preparation~	津田卓真	Orbus Neich Midnight conference	名古屋	2024/10/18
110	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/10/18
111	OAS切削部位予測への新しいアプロ ーチ	津田卓真	日本心血管インターベン ション治療学会(CVIT) 第 51 回東海北陸地方会	名古屋	2024/10/19
112	To maximize the therapeutic effect of the drug-coated balloon and achieve long-term vessel patency	津田卓真	日本心血管インターベン ション治療学会(CVIT) 第 51 回東海北陸地方会	名古屋	2024/10/19
113	最新装置 <i>Alphenix</i> への期待から確信 へ ~当院における被曝低減の実践~	津田卓真	日本心血管インターベン ション治療学会(CVIT) 第 51 回東海北陸地方会	名古屋	2024/10/19
114	DCA切削時の新しいアプローチ	津田卓真	日本心血管インターベン ション治療学会(CVIT) 第 51 回東海北陸地方会	名古屋	2024/10/19
115	Live コメンテーター	津田卓真	日本心血管インターベン ション治療学会(CVIT) 第 51 回東海北陸地方会	名古屋	2024/10/19
116	DCAの切除方向について詳細に検討 した症例	小嶋弘毅	日本心血管インターベン ション治療学会(CVIT) 第 51 回東海北陸地方会	名古屋	2024/10/19
117	“GECの使い分けとTelescopeの特徴”	津田卓真	GESを考察する	web	2024/10/21
118	“Safety and Effectiveness of new strategy with DCB”	津田卓真	“Safety and Effectiveness of new strategy with DCB”	web	2024/10/24
119	Live コメンテーター	津田卓真	CCT 2024	神戸	2024/10/24

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
120	God's hand	津田卓真	CCT 2024	神戸	2024/10/25
121	Live コメンテーター	津田卓真	CCT 2024	神戸	2024/10/25
122	Optimal volume reduction in heavily calcified lesions	津田卓真	CCT 2024	神戸	2024/10/25
123	Staged 3CTO-PCIs after graft failure	津田卓真	CCT 2024	神戸	2024/10/26
124	Live コメンテーター	津田卓真	CCT 2024	神戸	2024/10/26
125	ECPELLA管理により救命し得たリンパ球性心筋炎の1例	原田有貴	第164回日本循環器学会 東海地方会	名古屋	2024/10/26
126	治療に難渋した高齢巨細胞性心筋炎の1例	原田有貴	第164回日本循環器学会 東海地方会	名古屋	2024/10/26
127	ACS/ CCS治療において循環器内科ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンション Strike Early, and Strike Strong ～	津田卓真	Evolocumab Web Symposium	web	2024/10/28
128	Coronary Intervention の基本知識	津田卓真	ノバルティス 社内講演会	名古屋	2024/10/28
129	OASを最大限に生かすためのイメージング活用術	津田卓真	津田塾	名古屋	2024/10/31
130	Strike Early and Strike Strongを考慮したACS戦略を実臨床から再考する ～二次予防のための脂質管理強化～	津田卓真	PCSK9 Premium Workshop in Tokai	名古屋	2024/11/2
131	Narrative part ～いつから/どのように～	津田卓真	PCSK9 Premium Workshop in Tokai	名古屋	2024/11/2
132	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/11/7
133	コメンテーター	鶴見尚樹	CRT治療	Web	2024/11/
134	Strike Early and Strike Strong の治療実践 ～適した患者像の観点から～	津田卓真	座談会企画	名古屋	2024/11/12
135	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/11/14

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
136	ACS/ CCS治療において循環器内科医と かかりつけ医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンシ ョン Strike Early, and Strike Strong ～	津田卓真	ACS Management Seminar	名古屋	2024/11/18
137	コメンテーター	鶴見尚樹	ILR研究会	Web	2024/11/
138	石灰化病変に対するOrsiro Missionの 新たな使いどころを探る	津田卓真	ARIA 2024	福岡	2024/11/21
139	Live コメンテーター	津田卓真	ARIA 2024	福岡	2024/11/22
140	It's bird, It's airplane, It's TD-ADR	津田卓真	Complex PCI 2024	韓国	2024/11/28
141	Live コメンテーター	津田卓真	Complex PCI 2024	韓国	2024/11/28
142	Live コメンテーター	津田卓真	Complex PCI 2024	韓国	2024/11/28
143	ACS/ CCS治療において循環器内科医と かかりつけ医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンシ ョン Strike Early, and Strike Strong ～	津田卓真	PCSK9 Expert Meeting	web	2024/11/30
144	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/12/3
145	Live オペレーター	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/12/6
146	ACS/ CCS治療において循環器内科医と かかりつけ医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンシ ョン Strike Early, and Strike Strong ～	津田卓真	PCSK9 Expert Meeting	web	2024/12/9
147	Tips and Tricks in CTO Intervention and Clinical Case Sharing	津田卓真	ワークショップ in ベトナム	ベトナム	2024/12/10
148	Tips and Tricks in CTO Intervention and Clinical Case Sharing	津田卓真	ワークショップ in ベトナム	ベトナム	2024/12/11
149	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in ベトナム	ベトナム	2024/12/ 10-12
150	Tips and Tricks in CTO Intervention and Clinical Case Sharing	津田卓真	ワークショップ in ベトナム	ベトナム	2024/12/12

No.	演 題 名	演 者 名	学 会 名	開催地	年月日
151	Chronic total occlusion: When and how to revascularize	津田卓真	VNCC 2019	ベトナム	2024/12/13
152	LBBAPとCRT	鶴見尚樹	CRT治療	Web	2024/12/
153	コメンテーター	鶴見尚樹	CRT治療	Web	2024/12/
154	座長	津田卓真	PICASSO 2024	名古屋	2024/12/14
155	OASを最大限に生かすためのイメージング活用術	津田卓真	院内ワークショップ	名古屋	2024/12/17
156	ACS/ CCS治療において循環器内科医ができること ～ 脂質管理における薬物インターベンション Strike Early, and Strike Strong ～	津田卓真	Tokai Repatha Web Symposium	web	2024/12/18
157	Live オペレーター	津田卓真	ワークショップ in 四日市 県立医療センター	三重	2024/12/19
158	脂質異常症 (LDL/ TG)治療における現状と課題	津田卓真	興和社内公演	名古屋	2024/12/23

論文発表

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名
1	Clinical outcoms and predictors of delayed echocardiographic response to cardiac resynchronization therapy.	鶴見尚樹	J Cardiovascular Electrophysiol. 2024 Jan;35(1):97-110.
2	Coexistence of classic nodoventricular accessory pathway with a left-sided Mahime accessory pathway	前田宗一郎	JACC Case rep. 2024 Jan 24;29(5):102220.
3	Mid-term outcome of deliverery cateter-based and stylet-based right ventricular pacing: Follow-up results from a multicenter,prospective, randamized study.	鶴見尚樹	Jornal of arrhythmia. 2024 Apr 6;40(3):605-613
4	逆方向性回帰性頻拍：Kent東・Mahaim東への誘い	前田宗一郎	Heart View Vol.28 No.8, 2024 激アツ！本気の心房アブレーション MEDICAL VIEW

脳神経内科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月日
1	10年に及ぶ臨床経過および画像経過を追った神経核内封入体病の1例	吉田賢治、加賀友継、細山幸子、竹村直晃、近藤光、安井健友、馬淵直紀、竹内宥子、丹羽淳一	第168回日本神経学会東海北陸地方会	2024.3.9
2	若年期に精神症状・禿頭・脳梗塞を発症したNOTCH3遺伝子のArg3320Cys変異を認めるCADASILの一例	近藤光、竹村直晃、細山幸子、加賀智継、馬淵直紀、丹羽淳一、神力悟、植田明彦、植田光晴	第169地方会	2024.7.6
3	進行性の感覚障害で受診し診断に難渋したビタミンB1欠乏性末梢神経障害の1例	吉田賢治、安井健友、柴野莉香、細山幸子、加賀友継、馬淵直紀、丹羽淳一、小池春樹	第170回地方会	2024.11.16
4	初回発症から4年後に再発した脳静脈同血栓症の一例	安井健友、柴野莉香、吉田賢治、細山幸子、加賀友継、馬淵直紀、丹羽淳一	第170回地方会	2024.11.16

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名
1	Efficacy of steroid therapy in the acute stage of anti-NMDAR and anti-MOG antibody overlapping encephalitis: a case report and literature review	Kokndo H, Takeuchi Y, Niwa J, Yoshida K, Takemura N, Hosoyama S, Kaga T, Kaneko K, Mabuchi N	Front Immunol 2024
2	Central Pontine and Extrapontine Myelinolysis with Severe Hyponatremia	Kondo H, Suami K, Nakshima N, Mabuchi N	Intern Med 2024
3	A case of suspected autoimmune encephalopathy with involuntary movements and cognitive dysfunction post-COVID-19	Tenpaku Y, Mabuchi N, Kawase T, Oguro H, Tatsumi H, Satoh M	PCN Rep 2024

精 神 科

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	自虐的世話役として生きる女性との面接過程	兒嶋しほり	精神分析研究 68巻：94－98	2024.2
2	被害の再発可能性がゆるしの及ぼす影響	若山和樹、八田武俊、八田純子	人間環境学研究 22巻第2号	2024.12

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	トラウマケアに関する心理療法の統合	若山和樹(話題提供者)	日本心理療法統合学会 第4回大会	2024.3
2	セラピストの役割と自己開示-死ななくてはいけないと訴える女性との面接から-	若山和樹、田山真稀子	日本心理臨床学会 第43 回大会	2024.8

消化器内科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	鉄剤誘発性消化管粘膜傷害の1例	山室佑香、大橋暁、岩田浩史、河合学、佐橋学、競祐也、小島匡貴、今岡千晴、浅野太希、稲垣友広	第253回日本内科学会東 海地方会	2024.6.30

講 演 会

No.	演 題 名	講 演 者 名	講演会・講習会名	年月
1	睥癌診療 ー早期発見を目指してー	河合学	第36回 病診連携システム 総会	2024.2.10
2	症例呈示(潰瘍性大腸炎)	佐橋学	UC Round Table Meeting	2024.4.4

著 書

No.	題 名	著 者 名	著 書 名	年月
1	胃癌	大橋暁	消化器内科診療の掟ー地 図をもって山頂を目指そ う！ー	2024.4
2	胃アニサキス症	佐橋学	消化器内科診療の掟ー地 図をもって山頂を目指そ う！ー	2024.4

小児科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	当院の画像検索における鎮静の安全性についての検討	稲西克哉	第290回日本小児科学会 東海地方会	2024.2.23
2	顔面肩甲上腕型ジストロフィーの1例	山田藍里紗	第127回日本小児科学会 総会、学術集会	2023.4.20
3	薬物過剰内服の2例	高木豊大	第291回日本小児科学会 東海地方会	2024.7.7
4	エピネフリン投与を要した小児アナフィラキシー 55症例の検討	伊藤友香	第37回日本小児救急学 会、学術集会	2024.7.27
5	マイコプラズマ肺炎に合併した反応性 感染性皮膚粘膜発疹(RIME)の14歳女 子	福田湧希	第59回中部日本小児科学 会	2024.8.24
6	栄養過誤で体重増加不良を来し、栄養 指導後に急性膵炎を発症した3歳女児	上田里菜	第51回日本小児栄養消化 器肝臓学会学術集会	2024.10.6
7	右踵部蜂窩織炎からMSSA菌血症、骨 髄炎を来した8歳男児	大西美薫	第56回日本小児感染症学 会総会、学術集会	2024.11.16
8	上腹部痛が持続する12歳男児	青山凌佑	第292回日本小児科学会 東海地方会	2024.11.24

放射線科

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	Salvage radiotherapy for locoregional recurrence of esophageal cancer after surgery	Akira Torii, Natsuo Tomita, Taiki Takaoka, <u>Takuhito Kondo</u> , Shintaro Yamamoto, Chikao Sugie, Aiko Nagai, Akifumi, Miyakawa, Mayu Kuno, Kaoru Uchiyama, Shinya Otsuka, Yasutaka Ogawa, Seiya Takano, Nozomi, Kita, Tatsuya Tanaka, Ryo Ogawa, Eiji Kubota, Shuji Takiguchi, Hiromi Kataoka, Akio HIwatashi	Japanese Journal of Clinical Oncology 55(1):59-66	2024.9.6

講演会

No.	演題名	講演者名	講演会・講習会名	年月
1	がんの放射線治療 ～愛知県がん診療拠点病院として～	近藤拓人	がん患者のシームレスな 医療・支援を考える多職 種勉強会	2024.12.18

救急科

論文・雑誌

No.	題名	著者名	著書名	年月
1	救急外来/ERの輸液&輸血のリアル 特集1 救急での輸液の基本	鷺崎智行、後藤緑	Emer-Log 2024年2号. メ ディカ出版：10-21頁	2024.3
2	Association between loss of hypercoagulable phenotype, clinical features and complement pathway consumption in COVID-19	<u>Daisuke Kasugai</u> , <u>Taku Tanaka</u> , <u>Takako Suzuki</u> , <u>Yoshinori Ito</u> , <u>Kazuki Nishida</u> , <u>Masayuki Ozaki</u> , <u>Takeo Kutsuna</u> , <u>Toshiki Yokoyama</u> , <u>Hitoshi Kaneko</u> , <u>Ryo Ogata</u> , <u>Ryohei Matsui</u> , <u>Takahiro Goshima</u> , <u>Hiroshi Hamada</u> , <u>Azusa Ishii</u> , <u>Yusuke Kodama</u> , <u>Naruhiko Jingush</u> , <u>Ken Ishikura</u> , <u>Ryo Kamidani</u> , <u>Masashi Tada</u> , <u>Hideshi Okada</u> , <u>Takanori Yamamoto</u> , <u>Yukari Goto</u>	Front Immunol. 2024 Mar 11;15:1337070.	2024.3
3	無尿・乏尿・排尿障害	後藤緑	週刊 日本医事新報 連載 「私の治療」	2024.

学会・研究会

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	年月
1	明日の撮影に役立つ！？救急診療にお ける画像検査のポイント	後藤緑	第64回東海四県診療放射 線技師学術大会	2024.2
2	愛知県における新型コロナ災害のレガ シー	北川喜己	第29回日本災害医学会総 会学術集会	2024.2
3	南海トラフ地震において受援県の病院 に求められるもの	北川喜己	第29回日本災害医学会総 会学術集会	2024.2
4	胃全摘及び脾体尾部切除後に脾動脈仮 性動脈瘤の1例	小川健一朗、市野平之伸、萩原康友、 鳥居剛、中原裕基、水谷文俊、 北川喜己	第60回日本腹部救急医学 会総会	2024.3
5	困難症例への対応 ～提供に繋がらなかった症例も含めて～	小川健一朗	臓器提供連携体制構築事 業	2024.3

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
6	ECPRを試みた穿通性下肢外傷の一例	小川健一朗、萩原康友、府川心壺朗、水谷真也、後藤縁、水谷文俊、北川喜己	第38回日本外傷学会総会・学術集会	2024.4
7	外傷外科医が知っておくべき南海トラフ大地震の現実と対策	北川喜己	第38回日本外傷学会総会・学術集会	2024.4
8	TAEにアンデキサネットアルファを併用して治療した気管支動脈瘤破裂の1例	小川健一朗、府川心壺朗、萩原康友、山田真生、後藤縁、船曳知弘、北川喜己	第53回日本IVR学会総会	2024.5
9	脳死下臓器提供の流れ	小川健一朗	令和6年度 新任院内コーディネーター研修会	2024.6
10	看護職副院長は組織や社会に何をもたらしたか	北川喜己	第28回日本看護管理学会学術集会	2024.8
11	Hybrid ER Systemを利用した救急診	小川健一朗	愛知県外科医会 令和6年度 第1回 救急医療研修	2024.9
12	左頸部膿瘍との鑑別に苦慮した壊疽性膿皮症の一例	柳内愛、秦豪宏、林宏紀(歯科)、後藤縁、小川健一朗、蜂矢康二、森岡慎也、萩原康友、山田真生、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
13	最初の一步をサポート！臓器提供施設連携体制構築事業を通じた当院の取り組み	後藤縁、萩原康友、小川健一朗、山田真生、府川心壺朗、水谷裕之、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
14	12誘導心電図でST上昇を認め急性大動脈解離および心筋梗塞との鑑別を要した頸髄硬膜外血腫の一例	重原優奈(初研)、山田真生、後藤縁、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
15	COVID-19と自己判断し治療目的で過量内服したイベルメクチンにより意識障害を呈した一例	鷺崎智行、山田真生、後藤縁、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
16	ノロウイルス関連脳炎が疑われた成人患者の一例	山田藍里紗(初研)小川健一朗、蜂矢康二、柳内愛、森岡慎也、萩原康友、山田真生、後藤縁、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
17	ER型救命センターにおけるDual room型 Hybrid ER Systemの運用実態	小川健一朗、府川心壺朗、萩原康友、山田真生、水谷裕之、蜂矢康二、柳内愛、森岡慎也、後藤縁、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
18	外科的生検により診断に至ったIgG4関連甲状腺炎の一例	水谷真也、柴田雅央(外科)、後藤縁、府川心壺朗、蜂矢康二、小川健一朗、柳内愛、萩原康友、森岡慎也、山田真生、北川喜己	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
19	持続可能な救急医を目指して～日本の救急医のバーンアウトとインポスター症候群の実態調査	森川美樹、植地貴弘、花木奈央、後藤縁、佐藤信宏、竹内慎哉、船越拓、矢島つかさ	第52回日本救急医学会総会・学術集会	2024.10
20	特徴的な腹部CT所見から診断に至った腹痛の1例	高木豊大、府川心壺朗、水谷裕之、蜂矢康二、小川健一朗、柳内愛、森岡慎也、萩原康友、山田真生、後藤縁、北川喜己	第27回日本救急医学会中部地方会学術集会	2024.12

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
21	当院でのStreptococcal toxic shock syndrome 過去と現在	山田真生、後藤縁、二神諒子(薬剤部)、北川喜己	第27回日本救急医学会中部地方会学術集会	2024.12
22	渡航者発熱診療の増加；デング熱の症例報告及び当院10年間の動向	富永理恵、二神諒子(薬剤部)、大路剛、吉田有美香、植島翔、鷺崎智行、瀬瀬美帆、水谷裕之、柳内愛、後藤縁、北川喜己	第27回日本救急医学会中部地方会学術集会	2024.12
23	紙タバコによる口蓋垂腫脹を疑い気管挿管を要した1例	水谷裕之、後藤縁、山田真生、萩原康友、森岡慎也、柳内愛、小川健一朗、蜂矢康二、府川心壱朗、北川喜己	第27回日本救急医学会中部地方会学術集会	2024.12
24	身体所見および腹部骨盤単純CT検査により腹部疾患以外の診断に至った心窩部痛の一例	蜂矢康二、後藤縁、植島翔、北川喜己	第27回日本救急医学会中部地方会学術集会	2024.12

講演会・講習会・研修会など

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
1	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、高木省治	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース	2024.1
2	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(神戸市)	2024.1
3	災害時のトリアージの原則について	北川喜己	東海市災害対応研修	2024.2
4	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラムJPTEC(知多外傷)	2024.2
5	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース	2024.2
6	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	大同病院ICLSコース	2024.2
7	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	応急救護実技研修会(豊川市)	2024.2
8	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己、後藤縁、萩原康友、森岡慎也、柳内愛、蜂矢康二、小川健一朗、水谷裕之、中島隆秀、林清文、瀬瀬美帆、水谷真也、河合康亮、鷺崎智行、櫻木佑	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会(PTLSコース)	2024.2
9	災害時の対応の原則について	北川喜己	和歌山県立医大災害講演会	2024.2

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
10	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、後藤縁、萩原康友、浅野太希(消化器内科)、高木豊大(初研)、原野晃多(救命士)	掖済会ICLSコース	2024.3
11	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、後藤縁、森岡慎也	名古屋掖済会トレーニングサイトACLSコース	2024.3
12	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、高木豊大(初研)	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース	2024.3
13	災害時のトリアージの原則について	北川喜己	名古屋市医師会トリアージ研修会	2024.3
14	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(東京都)	2024.3
15	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己、萩原康友	愛知県災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会	2024.3
16	名古屋掖済会病院における臓器提供への取り組み	萩原康友	臓器提供施設連携体制構築事業(名古屋第二赤十字病院)	2024.3
17	AZURが脾動脈仮性動脈瘤治療に有用であった1例	小川健一朗	Terumo株式会社社内研修	2024.3
18	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	名古屋市医師会多発外傷初期診療講習会(PTLSコース)	2024.3
19	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、後藤縁、萩原康友、小川健一朗、蜂矢康二、府川心壱朗、中島隆秀、水谷裕之、秦豪宏、水谷真也、林清文、瀨瀬美帆、河合康亮、鷺崎智行、櫻木佑	掖済会ICLSコース	2024.4
20	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、後藤縁、萩原康友、柳内愛、蜂矢康二、水谷真也、秦豪宏、河合康亮、櫻木祐、鷺崎智行、植島翔、吉田有美香	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース	2024.4
21	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	大同病院ICLSコース	2024.4
22	心肺蘇生法の知識と実践：産科領域	北川喜己、森岡慎也、蜂矢康二、鷺崎智行	掖済会J-MELSコース	2024.5
23	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラムJPTEC(中村日赤外傷)	2024.5
24	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース	2024.5
25	心肺蘇生法の知識と実践	後藤縁	名古屋大学病院ICLSコース	2024.5

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
26	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	大同病院ICLSコース	2024.5
27	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(県看護協会)	2024.5
28	災害時の傷病者対応の原則について	萩原康友	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(名古屋市)	2024.5
29	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己、萩原康友	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(仙台市)	2024.5
30	テロにおける多数傷病者対応の原則について	北川喜己	多数傷病者への医療対応標準化トレーニングテロ病院対応コースMCLS(豊田更生病院)	2024.5
31	心肺蘇生法の知識と実践：産科領域	北川喜己、蜂矢康二	掖済会J-MELSコース	2024.5
32	当院救命救急センターに搬送された患者について	北川喜己、後藤緑、小川健一郎	掖済会救急道場症例検討会	2024.6
33	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラムJPTEC(豊橋市民病院)	2024.6
34	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)災害急性期対応研修会(東京都)	2024.6
35	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、後藤緑、萩原康友、高木豊大(初研)、原野晃多(救命士)	掖済会ICLSコース	2024.6
36	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(県看護協会)	2024.6
37	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、柳内愛	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース	2024.6
38	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSインストコース	2024.6
39	災害時のトリアージの原則について	北川喜己	一宮市医師会トリアージ研修会	2024.6
40	災害時のトリアージの原則について	北川喜己、後藤緑、萩原康友	愛知県医師会トリアージ研修	2024.6
41	心肺蘇生法の知識と実践	後藤緑	名古屋大学病院BLSコース	2024.6
42	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己、萩原康友	統括DMAT研修	2024.6

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
43	心肺蘇生法の知識と実践：産科領域	北川喜己	安城更生病院J-MELSコース	2024.6
44	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	愛知県災害医療コーディネーター研修	2024.6
45	多数傷病者対応の原則について	北川喜己	多数傷病者への医療対応標準化トレーニングマネジメントコースMCLS(セントレア)	2024.7
46	多数傷病者対応の原則について	北川喜己	多数傷病者への医療対応標準化トレーニングコースMCLS(セントレア)	2024.7
47	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己、後藤緑、萩原康友、森岡慎也、柳内愛小川健一朗、蜂矢康二、水谷裕之、水谷真也、瀨瀬美帆、鷺崎智行、櫻木祐、植島翔、吉田有美香	名古屋掖済会病院多発外傷初期診療講習会(PTLSコース)	2024.7
48	伊勢湾台風の被災と対応について	北川喜己	関東大震災100年シンポジウム講演会	2024.7
49	映画「その鼓動に耳をあてよ」について	北川喜己	洋上救急協議会総会	2024.7
50	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(県看護協会)	2024.7
51	心肺蘇生法の知識と実践	後藤緑	名古屋大学病院ICLSコース	2024.7
52	災害時の傷病者対応の原則について	後藤緑、萩原康友	災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修会(名古屋市)	2024.7
53	災害時の傷病者対応の原則について	萩原康友	災害派遣医療チーム(DMAT)技能維持研修会(金沢市)	2024.7
54	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己、萩原康友	三重県災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会	2024.8
55	当院救命救急センターに搬送された患者について	後藤緑、小川健一朗	掖済会CPA症例検討会	2024.8
56	災害時の傷病者対応の原則について	後藤緑、萩原康友	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(名古屋市)	2024.8
57	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(東京都)	2024.8
58	心肺蘇生法の知識と実践：産科領域	北川喜己、蜂矢康二、鷺崎智行	掖済会J-MELSコース	2024.8

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
59	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己、後藤緑、萩原康友、高木豊大(初研)、原野晃多(救命士)	掖済会ICLSコース	2024.9
60	マイクロカテーテル「Carry leon」が有用であった症例1	小川健一郎	株式会社ユー・ティー・エム社内研修	2024.9
61	マイクロカテーテル「Carry leon」が有用であった症例2	小川健一郎	株式会社ユー・ティー・エム社内研修	2024.9
62	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(神戸市)	2024.9
63	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	名古屋市医師会多発外傷初期診療講習会(PTLSコース)	2024.9
64	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム(AMAT)隊員養成研修会	2024.9
65	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラムJPTEC(名古屋掖済会)	2024.9
66	災害時の対応の原則について	北川喜己	岩手医大災害講演会	2024.9
67	心肺蘇生法の知識と実践	後藤緑	名古屋大学病院ICLSコース	2024.9
68	災害時の傷病者対応の原則について	後藤緑	災害派遣医療チーム(DMAT)隊員養成研修会(名古屋市)	2024.9
69	ハイブリッドERについて	北川喜己	豊田加茂外科医会救急医療講演会	2024.9
70	当院救命救急センターに搬送された患者について	後藤緑、小川健一郎	掖済会救急道場症例検討会	2024.10
71	心肺蘇生法の知識と実践	北川喜己	名古屋掖済会トレーニングサイトBLSコース(愛知県医療療育総合センター)	2024.10
72	当院におけるドクターカー新規導入と運用	小川健一郎	日本Stryker株式会社パワーオンセミナー2024	2024.10
73	テロにおける多数傷病者対応の原則について	北川喜己	多数傷病者への医療対応標準化トレーニングテロ病院対応コースMCLS(日赤名古屋第一病院)	2024.10
74	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	愛知県医師会多発外傷初期診療講習会(PTLSコース)	2024.11
75	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラムJPTEC(海南病院)	2024.11

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
76	来院後に心停止した十二指腸潰瘍の1例	小川健一朗	カネカメディックス IVR症例検討会 in NAGOYA	2024.11
77	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	愛知県病院前外傷講習B コース(MCLS)	2024.11
78	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己	災害派遣医療チーム (DMAT)新興感染症研修 会	2024.11
79	救急で出逢うかもしれない腹痛	後藤縁	The Rare Emergency セ ミナー	2024.11
80	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	JATEC名古屋(日赤名古 屋第二病院)	2024.11
81	心肺蘇生法の知識と実践	後藤縁	名古屋大学病院ICLSコー ス	2024.12
82	当院救命救急センターに搬送された患者について	後藤縁、小川健一朗	掖済会CPA症例検討会	2024.12
83	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラ ムJPTEC(尾張外傷)	2024.12
84	災害時の傷病者対応の原則について	北川喜己、萩原康友	災害派遣医療チーム (DMAT)隊員養成研修会 (岡山市)	2024.12
85	多発外傷初期診療の知識と実践	北川喜己	病院前外傷教育プログラ ムJPTEC(豊川市)	2024.12
86	止血法、応急救護処置の奏功事例・法的配慮	蜂矢康二	第一種運転免許に係わる 応急救護処置指導員養成 講習会	2024.12

外科・肛門科・呼吸器外科・乳腺外科

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	Identification of peripheral blood test parameters predicting the response to palbociclib and endocrine therapy for metastatic breast cancer: a retrospective study in a single institution	Yamamoto M, Shibata M, Tanaka A, Tsunoda N, Masuda N	Surgery Today Vol.55(2) p188-196	2023
2	Adenylate cyclase 9 expression level is associated with hormone receptor-positive breast cancer and predicts patient prognosis	Sugino K, Shibata M, Adachi Y, Soeda I, Ichikawa T, Inaishi T, Kanaya E, Kanda M, Hayashi M, Masuda N	Nagoya Journal of Medical Science Vol.85 p665-682	2023

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
3	術前診断しえた副脾茎捻転に対して腹腔鏡手術を施行した1例	鳥居剛、寺境宏介、加藤祐一郎、山口直哉、水谷文俊、茂野佐弓	日本内視鏡外科学会雑誌 Voi.29 p431-436	2023
	腸管内に迷入し抜去を要した腰椎-腹腔シヤントチューブ感染の1例	鳥居剛、水谷文俊、加藤祐一郎、山口直哉、寺境宏介、河野弘	日本臨床外科学会雑誌 Vol.86 p322-327	2023

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	当科におけるロボット支援鼠径部ヘルニア修復術後合併症予防のための工夫	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、米山文彦、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基	第16回日本ロボット外科学会学術集会	2024/ 2/10-11
2	当科におけるロボット支援鼠径部ヘルニア修復術の短期成績	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第124回日本外科学会定期学術集会	2024/4/18- 20
3	当科におけるDa Vinci ヘルニア 3rd stage	水谷文俊	第22回日本ヘルニア学会学術集会	2024/ 5/24-25
4	高位切開法におけるロボット支援手術から腹腔鏡手術への還元	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第22回日本ヘルニア学会学術集会	2024/ 5/24-25
5	当科におけるコスト削減を考慮したロボット支援鼠径ヘルニア修復術におけるデバイス選択について	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第22回日本ヘルニア学会学術集会	2024/ 5/24-25
6	ロボット支援下手術を含めた当科における閉鎖孔ヘルニア嵌頓に対する治療戦略	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第22回日本ヘルニア学会学術集会	2024/ 5/24-25
7	当科におけるロボット支援鼠径ヘルニア修復術のアプローチ法の工夫について	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第22回日本ヘルニア学会学術集会	2024/ 5/24-25

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
8	当科におけるロボット支援根治的前立腺全摘術後鼠径部ヘルニアに対するロボット支援鼠径部ヘルニア修復術について	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、後藤亮太郎、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第22回日本ヘルニア学会 学術集会	2024/ 5/24-25
9	Robotic transabdominal preperitoneal repair to difficult cases of inguinal hernia	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、村上倫彦、水谷真也、鳥居剛、宇都宮有美、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第79回日本消化器外科学 会総会	2024/ 7/17-19
10	当院におけるAcute Care Surgeon育成の現状と展望	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、村上倫彦、水谷真也、鳥居剛、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第86回日本臨床外科学会 総会	2024/ 11/21-23
11	ロボット支援鼠径ヘルニア修復術の定型化から還元した高位切開腹腔鏡下鼠径ヘルニア修復術について	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、村上倫彦、水谷真也、鳥居剛、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第37回日本内視鏡外科学 会総会	2024/ 12/7-9
12	ロボット支援下手術を含めた閉鎖孔ヘルニア嵌頓に対する治療戦略	水谷文俊、河野弘、加藤祐一郎、木村桂子、山口直哉、柴田雅央、山東雅紀、茂野佐弓、杉田洋之、川合毅、村上倫彦、水谷真也、鳥居剛、中原裕基、櫻木佑、伊藤謙太郎	第37回日本内視鏡外科学 会総会	2024/ 12/7-9
13	R T A P P	水谷文俊	第20回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会	2024/5/23
14	TAPP法・RTEP法・R T A P P法を追求する	水谷文俊	第21回日本ヘルニア内視鏡外科手術手技研究集会	2024/10/5
15	ロボット支援手術も含めた鼠径部ヘルニア治療の現状	水谷文俊	中村区医師会学術講演会	2024/1/20
16	ロボット支援手術も含めた鼠径部ヘルニア治療の現状	水谷文俊	熱田区医師会学術講演会	2024/1/22
17	ロボット支援手術も含めた鼠径部ヘルニア治療の現状	水谷文俊	港区医師会学術講演会	2024/2/15
18	ロボット支援手術も含めた鼠径部ヘルニア治療の現状	水谷文俊	中川区医師会臨床懇話会	2024/3/2
19	ロボット支援手術も含めた鼠径部ヘルニア治療の現状	水谷文俊	南区医師会学術講演会	2024/5/30
20	de Garengeot herniaで再発した右鼠径部ヘルニアに対してロボット支援鼠径部ヘルニア修復術を施行した1例	後藤遼太郎、水谷文俊、柴田雅央、中原裕基、宇都宮有美、鳥居剛、水谷真也、川合毅、茂野佐弓、杉田洋之、山東雅紀、山口直哉、木村桂子、米山文彦、加藤祐一郎、河野弘	第22回日本ヘルニア学会	2024/ 5/24-25

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
21	腹壁癒痕ヘルニア術後遅発性メッシュ感染に対して大腿筋膜移植術を施行した1例	鳥居剛、水谷文俊、柴田雅央、中原裕基、宇都宮有美、後藤亮太郎、川合毅、茂野佐弓、杉田洋之、山東雅紀、山口直哉、木村桂子、米山文彦、加藤祐一郎、河野弘	第86回日本臨床外科学会総会	2024/ 11/21-23
23	内分泌外科専門医に求められる医療安全に重きをおいた甲状腺・副甲状腺手術の導入	柴田雅央、木村桂子、佐竹立成、佐藤朋子、中原裕基、宇都宮有美、鳥居剛、後藤亮太郎、川合毅、茂野佐弓、杉田洋之、山東雅紀、水谷文俊、山口直哉、米山文彦、加藤祐一郎、河野弘	第124回日本外科学会定期学術集会	2024/ 4/18-20
24	市中病院における医療安全に重きをおいた甲状腺・副甲状腺手術の導入	柴田雅央	第36回日本内分泌外科学会総会	2024/ 5/23-25
25	免疫組織化学法とFISH法によるHER2診断の整合性に関する検討	柴田雅央	第32回日本乳癌学会学術総会	2024/ 7/11-13
26	かかりつけ医の先生方に知っていただきたい最近の乳癌をめぐる話題 - 診断から薬物治療・bone healthまで -	柴田雅央	Bone health management seminar	2024/2/14
27	乳癌診療におけるOnco-cardiologyガイドラインの使いどころ	柴田雅央	乳癌サポーターブケアセミナー	2024/7/30
28	症例から考えるテセントリクの使いどころと副作用マネジメント	柴田雅央	CHUGAI e seminar	2024/11/15
29	OncotypeDX recurrence score(RS)のhigh risk 結果を契機にBRACAnalysisを行った結果、BRCA 2遺伝子変異が判明した早期乳癌の一例	木村桂子、茂野佐弓、柴田雅央	第32回日本乳癌学会学術総会	2024/ 7/11-13
30	急性腹痛で発症した成人空腸重複腸管の1例	中原裕基、水谷文俊、茂野佐弓、川合毅、村上倫彦、水谷真也、鳥居剛	第86回日本臨床外科学会総会	2024/ 11/21-23
31	高容量ステロイド内服中の汎発性腹膜炎を呈する横行結腸潰瘍穿孔に対し、腹腔鏡下手術を施行した1例	中原裕基、山東雅紀、加藤祐一郎、山口直哉、水谷文俊、茂野佐弓、川合毅、村上倫彦、水谷真也、鳥居剛	第37回日本内視鏡外科学会総会	2024/ 12/5-7
32	腸重積で発症した上行結腸inflammatory myofibroblastic tumorの1例	中原裕基、水谷文俊、山東雅紀、川合毅、茂野佐弓、杉田洋之、山口直哉、加藤祐一郎	第61回日本腹部救急医学学会総会	2025/ 3/20-21
33	Bulkyな原発直腸癌に対し、taTMEを併用したロボット支援下骨盤内蔵全摘術を施行した1例	山東雅紀、中原裕基、川合毅、茂野佐弓、杉田洋之、水谷文俊、山口直哉、加藤祐一郎	第37回日本内視鏡外科学会総会	2024/ 12/5-7
34	当科におけるロボット支援下手術の脾湾曲部授動の定型化	山東雅紀、中原裕基、川合毅、茂野佐弓、杉田洋之、水谷文俊、山口直哉、加藤祐一郎	第86回日本臨床外科学会総会	2024/ 11/21-23

整形外科

論文

No.	題名	著者名	雑誌名	年月
1	指尖部切断に対する指尖部再建の実際	太田英之、藤原祐樹、丹羽智史、張萌雄、爲本智行、高見英臣、稲垣慶之	臨床整形外科 第59巻第12号	2024
2	【手部・指節骨骨折 ベーシック編】手術のバリエーション 基節骨骨折の治療	太田英之	整形外科Surgical Technique(2185-7733)14巻2号 Page164-170	2024
3	手外科医とハンドセラピストでつなぐ手外傷治療	太田英之、丹羽智史、藤原祐樹、稲垣慶之、加藤晃一、西村勇輝、川口稚乃	日本ハンドセラピー学会誌(1880-7380)16巻2号 Page71-76	2024
4	Delayed debridement affects prognosis in patients with purulent flexor tenosynovitis: a retrospective cohort and multivariate analyses.	Fujihara Y, Sakai A, Niwa S, Ota H, Kumagai H.	Arch Orthop Trauma Surg. 2024 May;144(5):2437-2441.	2024
5	術前金属アレルギースクリーニングの手外科領域骨折治療にもたらす影響の検討	高見英臣、太田英之、丹羽智史	Peripheral Nerve 末梢神経 Vol36.No.1	2024
6	術前金属アレルギースクリーニングの手外科領域骨折治療にもたらす影響の検討	高見英臣、太田英之、藤原祐樹、丹羽智史	日本手外科学会雑誌 41巻5号	2024
7	An age-matched comparative study on intramedullary nailing and plate fixation of both-bone diaphyseal forearm fracture in adolescents.	Ishihara N, Tokutake K, Takegami Y, Asami Y, Kumagai H, Ota H, Kimura Y, Ohshima K, Imagama S.	Eur J Orthop Surg Traumatol. 2024 Jan;34(1):441-450.	2024
8	Tensile Strength of Nerve Bridging Models Using Collagen Nerve Conduits.	Hattori Y., Ota H. et al.	J Reconstr Microsurg.	2024

学会・研究会発表会

No.	題名	演者名	学会・研究会名	年月
1	Our procedure for radio-carpal fracture dislocation- case report	高見英臣、太田英之	International Web Meeting on Hand Surgery	2024.2
2	大腿骨近位部骨折術語創部感染症における持続的局所抗菌薬療法は有効か？	内堀和輝、藤原祐樹、熊谷寛明、太田英之、武藤聡志、吉本裕哉	第70回東海整形外科外傷研究会	2024.3
3	下肢開放骨折に対する持続的局所抗菌薬灌流の予防的使用についての検討	吉本裕哉、佐々木宏、熊谷寛明、太田英之、佐々木梨恵、藤原祐樹、森公一、丹羽智史、加納寛之、酒井愛、高見英臣、武藤聡志、内堀和輝	第70回東海整形外科外傷研究会	2024.3
4	英語論文が読みやすくなる構造理解とacceptされる研究テーマの作り方	藤原祐樹	第67回日本手外科学会学術集会	2024.4

No.	題名	演者名	学会・研究会名	年月
5	橈骨頭骨折の術後レントゲン所見が臨床成績に及ぼす影響	丹羽智史、藤原祐樹、太田英之	第67回日本手外科学会学術集会	2024.4
6	術前金属アレルギースクリーニングの手外科領域骨折治療にもたらす影響の検討	高見英臣、太田英之、藤原祐樹、丹羽智史	第67回日本手外科学会学術集会	2024.4
7	外科的デブリドマンの遅れが手指屈筋腱化膿性腱鞘炎の予後に与える影響について	藤原祐樹	第97回日本整形外科学会学術集会	2024.5
8	"持続的局所抗菌薬還流(CLAP)療法実施時の薬剤性腎機能障害発生に影響を与える因子の検討"	藤原祐樹	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.6
9	橈骨頭骨折に合併した異所性骨化の検討	丹羽智史、内堀和輝、吉本裕哉、武藤聡志、藤原祐樹、太田英之、熊谷寛明	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.6
10	大腿骨近位部骨折術語創部感染症における持続的局所抗菌薬療法は有効か？	内堀和輝、藤原祐樹、熊谷寛明、太田英之、武藤聡志、吉本裕哉	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.6
11	下肢開放骨折に対する持続的局所抗菌薬還流の予防的使用についての検討	吉本裕哉、藤原祐樹、丹羽智史、武藤聡志、内堀和輝	第50回日本骨折治療学会学術集会	2024.6
12	Treatment strategies and problems of terrible triad injury(TTI)	Yuki Sugimoto, Hideyuki Ota, Yuki Fujihara, Satoshi Niwa, Yoshiyuki Inagaki, Yuki Nishimura, Wakana Kawaguchi	FESSH2024(ヨーロッパ手外科学会2024)	2024.6
13	靭帯再建を要したGreater Arc Perilunate Injuryの一例	藍澤一穂、本宮真、太田光俊、渡辺直人、安井啓悟、上徳善太、太田英之	北海道整形災害外科学会	2024.6
14	Prognostic Factors Influencing the Occurrence of Drug-Induced Renal Dysfunction During Continuous Local Perfusion Therapy	Fujihara Y	44th SICOT Orthopaedic World Congress	2024.9
15	Delayed debridement affects prognosis in patients with purulent flexor tenosynovitis: a retrospective cohort and multivariate analyses	Fujihara Y	79th ASSH Annual Meeting	2024.9
16	人工関節置換術患者における骨粗鬆症治療介入について	森公一	第26回日本骨粗鬆症学会	2024.10
17	市中病院における重度四肢外傷治療の実際 本音と建前・理想と現実	藤原祐樹	第94回東海マイクロサージャーリー研究会	2024.11
18	CLAPを100例やってわかったこと 反省と今後の課題	藤原祐樹	第10回日本重度四肢外傷シンポジウム	2024.11
19	遊離皮弁周囲へのNPWT設置は是か否か？	太田英之、藤原祐樹、丹羽智史、張萌雄、爲本智則、高見英臣	第51回日本マイクロサージャーリー学会学術集会	2024.11
20	左前腕不全切断の一例	丹羽智史、内堀和輝、藤原祐樹、太田英之	第186回東海手外科研究会	2024.12

講演会・講習会・研修会発表

No.	演 題 名	演 者 名	講演会・講習会名	年月
1	microsurgeonによるnon-micro surgical treatment -創傷治療の基礎知識と臨床での工夫-	太田英之	第113回岐阜県整形外科集談会	2024.1
2	ちょっと変わった橈骨遠位端骨折 橈骨遠位端骨折のハシからハシまで	太田英之	愛知ハンドセラピー研究会	2024.3
3	人工膝関節置換術のトピックス	森公一	中川区医師会臨床懇話会	2024.5
4	AMIS Experience ALS→AMIS	森公一	AMIS東海Local seminer	2024.6
5	名古屋掖済会病院における医療安全の実際	太田英之	重工大須病院医療安全講演会	2024.6
6	橈骨遠位端骨折の治療 ～治療戦略と手術手技のTips～	太田英之	第6回Cadaver workshop in Chiba	2024.7
7	指の局所皮弁	太田英之	第6回Cadaver workshop in Chiba	2024.7
8	鎖骨遠位端骨折の治療戦略	加納寛之	第12回 外傷整形外科ラウンジ	2024.7
9	FLSを通じて骨粗鬆症治療を考える -現在の取り組みとこれからの課題-	太田英之	第365回南整会学術講演会	2024.8
10	人工膝関節置換術の基本	森公一	第10回東海人工関節医療看護研究会	2024.9
11	上肢開放骨折の治療戦略	丹羽智史	鶴舞整形外科カンファレンス	2024.11
12	舟状骨骨折ワンポイントレクチャー	太田英之	Upper Extremity Trauma Cadaver Workshop	2024.11
13	前腕骨幹部骨折ワンポイントレクチャー	太田英之	Upper Extremity Trauma Cadaver Workshop	2024.11
14	上腕骨近位端骨折ワンポイントレクチャー	太田英之	Upper Extremity Trauma Cadaver Workshop	2024.11
15	脛骨プラトー骨折に対するアプローチ	熊谷寛明	Zimmer Biomet Trauma 東海エリア Trauma Bioskills Course	2024.11
16	橈骨遠位端骨折から高齢者社会を考える	太田英之	整形外科・内科 collaboration seminar	2024.12

脳神経外科

発 表

No.	発表区分 (国際学会、 全国、地方、 その他)	発表形式 (シンポジウム、基調・招待 講演、一般演題(口頭)、 一般演題(ポスター)、 その他)	タ イ ト ル	発 表 者 名	学 会 名	年 月	開 催 地	開 催 国
1	国際学会	一般演題 (ポスター)	Takayuki Awaya, Hinako Nagamatsu, Yasumasa Nishida, Kazuki Ishii, Takashi Abe, Kenji Uda, Osamu Suzuki	Benefits and risks of posterior cervical fixation with PVFS	ASIA SPINE 2024	2024/7/6	Taichung	Taiwan
2	国際学会	一般演題 (ポスター)	Takayuki Awaya, Hinako Nagamatsu, Yasumasa Nishida, Kazuki Ishii, Takashi Abe, Kenji Uda, Osamu Suzuki	Advancing Care for Osteoporotic Vertebral Fractures: Combining Fenestrated Cement Screws with Vertebroplasty for Improved Result	World Spine 10	2024/12/14	Bandung	Indonesia
3	全国	その他	栗屋 堯之	経皮的椎体形成術・ 骨セメント併用スク リューの使用法	日本脳神経外 科コンgres	2024/5/9	名古屋	日本
4	全国	一般演題 (ポスター)	栗屋 堯之、永松日向子、 石井一輝、阿部節、 宇田憲司、鈴木宰	頸椎PVFSの安全性 と注意点	日本脊髄外科学 会	2024/6/13	大阪	日本
5	全国	一般演題 (口頭)	栗屋 堯之、永松日向子、 石井一輝、阿部節、 宇田憲司、鈴木宰	頸椎頸髄外傷急性期 手術におけるスクリ ューはPVFSで十分か	日本脳神経外 科学会	2024/10/16	横浜	日本
6	全国	一般演題 (口頭)	栗屋 堯之、永松日向子、 石井一輝、阿部節、 宇田憲司、鈴木宰	癒合を伴った高度な 頸椎後弯症の治療	日本脊髄外科学 会	2024/11/12	沖縄	日本
7	地方	その他	栗屋 堯之	骨粗鬆症性椎体骨折 の内科治療と外科治 療	中川区臨床懇 話会	2024/9/7	名古屋	日本
8	地方	その他	栗屋 堯之	背骨の病気と神経痛 困ってる人いますか	地域で診る脊 椎疾患webセ ミナー	2024/10/30	名古屋	日本
9	全国	その他	栗屋 堯之	より安全なACDFを 目指して	Spine Webセ ミナー	2024/11/20	大阪	日本
10	地方	その他	栗屋 堯之	頸椎後方手術 コンセプトと機械の 使用法	名古屋脊椎脊 髄ナースセミ ナー	2024/5/25	名古屋	日本
11	地方	その他	栗屋 堯之	胸腰椎前方手術 適応と手技上のコツ、 Pitfallについて	OLIFトレー ニングコース	2024/11/2	川崎	日本

No.	発表区分 (国際学会、 全国、地方、 その他)	発表形式 (シンポジウム、基調・招待 講演、一般演題(口頭)、 一般演題(ポスター)、 その他)	タイトル	発表者名	学会名	年月	開催地	開催国
12	地方	その他	栗屋堯之、福岡俊樹、 宇田憲司、西田恭優、 鈴木宰	骨粗鬆症性椎体骨折 に対する外科治療 ～骨折形態に合わせ た治療戦略と最近の 話題～	NAGOYA Spinal Surgery Forum 2024	2024/1/12	名古屋	日本
13	地方	その他	栗屋堯之	脳外科の脊椎専門医 が診る 脊椎脊髄疾 患	久光製薬社内 講演会	2024/7/16	名古屋	日本
14	全国	一般演題 (口頭)	宇田憲司、栗屋堯之、 福岡俊樹、久保裕昭、 西田恭優、鈴木宰、 種井隆文、齋藤竜太	当院における Vertebral body stentingの治療成績	第47回日本脳 神経外傷学会	2024/3/1	東京	東京
15	全国	シンポジウ ム	宇田憲司、栗屋堯之、 福岡俊樹、西田恭優、 鈴木宰、西村由介、 齋藤竜太	当院における Vertebral body stentingの治療成績	第39回日本脊 髄外科学会	2024/6/13	大阪	大阪
16	国際学会	一般演題 (ポスター)	Uda Kenji, Awaya Takayuki, Fukuoka Toshiki, Nishida Yasumasa, Suzuki Osamu, Nishimura Yusuke, Saito Ryuta.	Results of vertebral body stenting for osteoporotic fractures at our hospital	The 15th Annual Meeting of Asia Spine	2024/7/6	台中	台湾
17	全国	一般演題 (ポスター)	宇田憲司、鈴木宰、 永松日向子、西田恭優、 石井一輝、栗屋堯之、 池田公、齋藤竜太	出血性両側PICA involved VA dissection ANに対し、 複合的治療戦略にて良 好な経過をえた一例	日本脳神経外 科学会 第83 回学術総会	2024/10/16	横浜	神奈川
18	地方	一般演題 (口頭)	永松日向子、宇田憲司、 石井一輝、栗屋堯之、 阿部節、西田恭優、 鈴木宰	骨粗鬆症性椎体骨折 に対する経皮的椎体 形成術後に脂肪塞栓 症が疑われた1例	第106回日本 脳神経外科学 会中部支部学 術集会	2024/9/21	三重	日本
19	地方	基調・招待 講演	鈴木 宰	Hybrid-ERにおける急性 期脳梗塞の診断と治療 ～ Angio CTとCT- Perfusion を用いたOne- Stop Management ～	Skill up Seminar 2024	2024/2/16	福島	日本
20	全国	一般演題 (口頭)	石井一輝、西村由介、 永島吉孝、金村徳相、 秦誠宏、赤堀翔、 石井元規、種井隆文、 齋藤竜太	神経障害を伴う脆弱 性骨折に対するLLIF の有用性の検討	第39回 日本 脊髄外科学会	2024/6/13	大阪	日本
21	全国	一般演題 (口頭)	石井一輝、栗屋堯之、 永松日向子、西田恭優、 宇田憲司、鈴木宰、 西村由介、齋藤竜太	実臨床での胸腰椎固 定術におけるFPSの 有用性	第83回 日本 脳神経外科学 会総会	2024/10/17	横浜	日本

心臓血管外科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	上行部分弓部置換術を施行後早期にフェルトストリップによる溶血性貧血に対する再手術を必要とした急性大動脈解離症例	桑原史明 他	第52回日本血管外科学会 学術総会	2024/5/30
2	瘤化した冠動脈肺動脈瘻の一手術例	桑原史明 他	第67回関西胸部外科学会 学術集会	2024/6/14
3	術前診断が困難であった右房静脈瘤の一例	矢野大介 他	第67回関西胸部外科学会 学術集会	2024/6/14

産婦人科

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	講義後のアンケートを用いた性教育に関する後方視的研究 受講者の評価とその影響、性教育プログラムの構築方法について	橋本悠平、伊藤慧悟、青木良成、岡見ゆりか、競悦子、杉原穂乃花、安藤万恵、村上真由子、高橋典子、清水顕	産科と婦人科 91巻11号 1301-1307	2024.11

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	当院の近況報告	清水顕	第14回中川区産婦人科臨 床懇話会	2024.2.29
2	診断に難渋したB群溶連菌による帝王切開後膿瘍の1例	青木良成、浅野智美、競悦子、杉原穂乃花、蓑田章、安藤万恵、村上真由子、高橋典子、清水顕	第76回日本産科婦人科学 会学術講演会	2024.4.19
3	赤血球増多症を呈しエリスロポエチン産生が疑われた子宮筋腫の1例	伊藤慧悟、安藤万恵、青木良成、岡見ゆりか、杉原穂乃花、橋本悠平、村上真由子、高橋典子、清水顕	第120回愛知産科婦人科 学会学術講演会	2024.10.5

眼 科

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	マイラゲル抜去中に強膜穿孔が判明した一例	董宇、小南太郎、牛田宏昭、西口康二	第53回名古屋大学眼科集 団会	2024.12.21

耳鼻咽喉科

学会発表

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	当院における摂食嚥下支援チームの活動	清水崇博、藤本保志	第86回耳鼻咽喉科臨床学 会総会・学術講演会	2024/6/29
2	外傷後、30度前屈状態で輪状軟骨切開（開窓）術を行った1例	山中俊平	第235回長久手会	2025/2/1

論 文

No.	演 題 名	発 表 者 名	雑誌名	年月
1	義歯慢性刺激により生じた臼後三角穿孔に起因した咀嚼筋間隙膿瘍	清水崇博、村瀬恵里佳、藤本保志	頭頸部外科 34(3) : 259 ~ 264,2024	2024

歯科・口腔外科

総説・論文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名
1	Impact of preoperative haemoglobin, albumin, lymphocyte, and platelet score on oral cancer prognosis.	Ito Y, <u>Abe A</u> , Hayashi H.	Oral Dis. 2024 Nov;30(8):4855-4866. doi: 10.1111/odi.14950. Epub 2024 Apr 2. PMID: 38566263.
2	Association between oral cancer surgery and postoperative airway obstruction: A retrospective study.	Hayashi H, <u>Abe A</u> , <u>Yamamoto Y</u> , Otsuka Y, Ohno M, Nagatani M, Ito T, Ito Y	J Oral Maxillofac Surg Med Pathol, 36 : 810-815, 2024

学会発表

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	P36-5 乾燥剤の誤食による口腔粘膜化学損傷の1例	大野麻里子、伊東優、林宏紀、大塚悠矢、高橋一平	第69回(公社)日本口腔外科学会総会・学術大会(横浜)	2024.11.23

著 書

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名
1	歯の健康コラム「船員の皆さんへ：歯の健康を守るために知っておきたい3つのこと」	鬼頭沙織, 伊東 優	Journal for all the Mariners

講演会・講習会・研修会など

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
1	船上における歯科口腔外科疾患の応急処置	伊東 優	船舶衛生管理者講習 名古屋掖済会病院(名古屋)	2024.05.28
2	4F病棟における口腔外科疾患	伊東 優	4F病棟勉強会 名古屋掖済会病院(名古屋)	2024.6.27
3	船上における歯科口腔外科疾患の応急処置	伊東 優	船舶衛生管理者講習 名古屋掖済会病院(名古屋)	2024.07.23
4	知っておきたい薬剤関連顎骨壊死の最新知見 ～ポジションペーパー 2023に基づく予防と対応～	伊東 優	病診連携システム講演会 名古屋掖済会病院(名古屋)	2024.10.10
5	オーラルフレイルについて	伊東 優	NST勉強会 名古屋掖済会病院(名古屋)	2024.11.15
6	がん周術期口腔機能管理患者の口腔機能低下症罹患率	川田彩乃、伊東優、林宏紀、大野麻里子、大塚悠矢、高橋一平、鬼頭沙織、溝渕あかね、伊東香織、加藤育美、大光優香	名古屋掖済会病院看護研究発表会(名古屋)	2024.12.21

薬 劑 部

著 書

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	さりー先生のがん治療薬 いらすとノート 第1回 カドサイラ	牛腸沙織	YORi-SOUがんナーシング、2024 vol.14 no.1 60-61	2024.2
2	患者さんと共に ～皮膚障害対応～	牛腸沙織	抗がん剤治療の安全と工夫を考えるサイト 抗がん剤NAVI, 2024.6, 東和薬品ホームページ (http://navi.towa-oncology.jp/column/fukusayo/jsopp1.html)	2024.3
3	さりー先生のがん治療薬 いらすとノート 第2回 アドセトリス	牛腸沙織	YORi-SOUがんナーシング、2024 vol.14 no.2 118-119	2024.4
4	さりー先生のがん治療薬 いらすとノート 第3回 ベスポンサ	牛腸沙織	YORi-SOUがんナーシング、2024 vol.14 no.3 104-105	2024.6
5	さりー先生のがん治療薬 いらすとノート 第4回 エンハーツ	牛腸沙織	YORi-SOUがんナーシング、2024 vol.14 no.4 96-97	2024.8
6	さりー先生のがん治療薬 いらすとノート 第5回 ポライビー	牛腸沙織	YORi-SOUがんナーシング2024 vol.14 no.5 94-95	2024.10
7	さりー先生のがん治療薬 いらすとノート 第6回 バドセブ	牛腸沙織	YORi-SOUがんナーシング、2024 vol.14 no.6 104-105	2024.12

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	Emotion measurement using biometric signal	<u>Yukina Miyagi</u> , Saori Gocho, <u>Yuka Miyachi</u> , <u>Chika Nakayama</u> , <u>Shoshiro Okada</u> , <u>Kenta Maruyama</u> , <u>Taeyuki Oshima</u>	Health、2024;16:395-404	2024.5
2	Comfort distance between patients and pharmacists during medication instruction: A prospective observational study at a cancer chemotherapy center	Saori Gocho, <u>Yukina Miyagi</u> , <u>Naoko Yamaguchi</u> , <u>Chika Nakayama</u> , <u>Yuka Miyachi</u> , <u>Shoshiro Okada</u> , <u>Kenta Maruyama</u> , <u>Taeyuki Oshima</u>	Neuropsychopharmacology Reports、2024;44:698-705	2024.8
3	A Study of Pharmacist-Patient Communication:Examining Optimal Distance and Angl Using an Eye-Tracking System	<u>Chika Nakayama</u> , Saori Gocho, <u>Yukina Miyagi</u> , <u>Yuka Miyach</u> , <u>Taeyuki Oshima</u>	Pharmacology & Pharmacy、2024;15(10):315-326	2024.9

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	終末期がん患者におけるスポレキサントの過活動せん妄抑制効果 ～ベンゾジアゼピン/非ベンゾジアゼピン系薬剤を併用した場合～	浅井俊平、 <u>富田祐作</u> 、 <u>杉山和弥</u> 、 <u>齋藤旭美</u> 、 <u>日比陽子</u> 、 <u>伊藤昌美</u> 、 <u>石黒友希</u>	2023年度 愛知県病院薬剤師会がん部会 報告会	2024.2.18
2	薬剤師が取り組むFLSとFLS導入後の対側大腿骨近位部骨折受傷率の検討	千馬由季、太田英之、森公一、熊谷寛明、早瀬友和、稲垣正巳	第26回 日本骨粗鬆症学会	2024.10
3	がん化学療法における末梢神経障害対策の実態調査(後方視的観察研究)	牛腸沙織、野村翔、加藤幾、中澤柊、前田翔子、中野帆乃香、稲垣正巳	第34回 日本医療薬学会年会	2024.11
4	高齢患者でのS-1減量の妥当性評価の試み	<u>安藤基純</u> 、牛腸沙織、 <u>中村滉希</u> 、 <u>清家理子</u> 、前田翔子、 <u>富田千颯</u> 、 <u>渡邊法男</u> 、稲垣正巳、 <u>河原昌美</u>	第34回 日本医療薬学会年会	2024.11
5	ジーラスタ皮下注3.6mgボディーポッド®に適応となる因子の検討	加藤幾、牛腸沙織、野村翔、中澤柊、木村桂子、柴田雅央、稲垣正巳	第34回 日本医療薬学会年会	2024.11
6	大腸がんFTD/TPI療法投与前の予後予測因子の検証	<u>氏木里依子</u> 、 <u>壁谷めぐみ</u> 、 <u>足立茂樹</u> 、 <u>片山広美</u> 、牛腸沙織、 <u>鈴木善貴</u> 、 <u>中根茂喜</u> 、 <u>永松秀紹</u> 、 <u>間瀬広樹</u> 、 <u>和田康弘</u> 、 <u>井上裕貴</u> 、 <u>宮崎雅之</u> 、 <u>通木淳史</u>	第34回 日本医療薬学会年会	2024.11
7	病棟薬剤師の処方支援プロトコルにおける有効性と課題	中澤柊、二神諒子、前田翔子、早瀬友和、新井孝文、牛腸沙織、稲垣正巳	第34回 日本医療薬学会年会	2024.11

講演会・講習会・研修会など

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
1	がん化学療法における制吐対策 ～ガイドライン改訂を踏まえて～	牛腸沙織	チームで診る乳癌診療 Webセミナー 座長	2024.2.19
2	地域とともに支える二次性骨折予防 ～薬剤師の視点を交えて～	千馬由季	アルフレッサ 社内講演会	2024.3.5
3	臨床薬理学	牛腸沙織	がん看護研修会	2024.9
4	服薬管理のポイント	加藤まゆ	地域で心不全患者を支えるための地域多職種シンポジウム	2024.10.2
5	出口を見据えた不眠症治療に向けて薬剤師ができること	稲垣正巳	令和6年度第3回愛知県病院薬剤師会学術講演会 座長	2024.11.5
6	レジオネラ対応事例 -多面的なアプローチ-	二神諒子	日本環境感染学会 医療環境委員会主催オンラインセミナー	2024.11.22

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月
7	整形外科病棟・救命救急室における薬剤師の役割	千馬由季	旭化成ファーマ 社内教育講演	2024.11.29

中央検査部・輸血部・病理診断科

著 書

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	呼吸機能検査における標準手順書	内田一豊、 <u>笹木優賢</u> 、及川和紀、 <u>宮澤法子</u> 、 <u>薮田智仁</u> 、花井甲太郎、 <u>西脇啓太</u>	愛知県臨床検査標準化ガイドライン 呼吸機能検査における標準手順書（第2版）	2024.12

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	卵黄嚢腫瘍への分化を伴った子宮類内膜腺癌の一例	山田知里、大池里枝、山本侑季、佐藤朋子、佐竹立成	第178回日本臨床細胞学会 東海連合会例会	2024.6.20
2	肺原発腺様嚢胞癌の一例	大池里枝、山田知里、山本侑季、佐藤朋子、佐竹立成	第179回日本臨床細胞学会 東海連合会例会	2024.9.5
3	化生性髄膜腫の一例	山本侑季、大池里枝、山田知里、佐藤朋子、佐竹立成	第180回日本臨床細胞学会 東海連合会例会	2024.12.5

講演会・講習会・研修会など

No.	演 題 名	講 演 者 名	講演会・講習会名	年月
1	令和5年度愛知県医師会精度管理調査報告 免疫血清部門	岡本明紘	令和5年度愛知県医師会精度管理調査報告会	2024.2
2	心エコーで診る虚血心と合併症 ～主観的評価×客観的評価～	花井甲太郎	令和5年度日臨技中部圏支部臨床生理部門研修会 (Web)	2024.2.5～19
3	愛臨技精度管理調査報告(総括)	花井甲太郎	愛臨技生理検査研究班2月研究会	2024.2.17
4	愛臨技精度管理調査報告(生理検査部門)	花井甲太郎	令和5年度愛知県臨床検査 精度管理調査報告会	2024.3.10

No.	演 題 名	講 演 者 名	講演会・講習会名	年月
5	腎動脈エコーをはじめよう	花井甲太郎	愛臨技生理検査研究班 5月研究会	2024.5.18
6	理解していますか？薬剤感受性検査	三谷有生	愛臨技微生物検査研究班 9月研究会	2024.9.7
7	なんて分かりやすい『エコーの所見を 読み解く方法』	花井甲太郎	伊勢志摩ライブ研究会 伊勢志摩ライブ2024 20th anniversary (Web)	2024.11.9

中央放射線部 (2024年)

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	研 修 会 名	年月日
1	浅大腿動脈における石灰化病変の視認性についての検討	小栗健太	TOPIC2024	2024.7.12
2	SPOT ROIに関する基礎的検討	小栗健太	第51回CVIT東海北陸地方会	2024.10.19
3	患者固定具作成の実践的アプローチ	松井幹典	第142回 日本放射線技術学会 中部支部放射線治療研究会	2024.12.15
4	エキサイカイ病院が Vantage Galan 3T V9を 救急に使ってみた	渡邊雅也	第51回ART会	2025.1.25
5	検診マンモグラフィにおけるトモシンセシスの読影面での有用性について考える	原ゆかり	第34回日本乳癌検診学会	2024.11.29

講習会 講演会 その他

No.	指 導 内 容	指 導 者 名	講 習 会 名	年月日
1	放射線医学総論	川口範洋(講師)	中部大学 生命健康科学部	2024.4 ～7 全16回
2	臨床実習の心構えについて	川口範洋(講師)	東海医療技術専門学校	2024.5.10
3	医療人としてのマナー・エチケット	川口範洋(講師)	(公社)愛知県診療放射線技師会 フレッシュャーズセミナー	2024.6.9
4	「医療被ばく相談」	川口範洋(相談員)	愛知県診療放射線技師会 (メールによる医療被ばく相談)	2024年 通年

No.	指 導 内 容	指 導 者 名	講 習 会 名	年月日
5	令和3年厚生労働省告示第273号研修	花井敦司(講師)	ファシリテータ講習会 東三河看護専門学校	2024. 9.28/29
6	令和3年厚生労働省告示第273号研修	花井敦司(講師)	ファシリテータ講習会名 鉄病院	2024.12.01
7	令和3年厚生労働省告示第273号研修	花井敦司(講師)	ファシリテータ講習会 安城厚生病院	2024. 12.14/15
8	ハイブリッドER 使用経験 -内因性疾患編-	小栗健太	愛知県診療放射線技師会 第2回研修会	2024.11.17
9	愛知県マンモグラフィ講習会(技術)	原ゆかり(講師)	愛知県診療放射線技師会 名古屋掖済会病院	2024.1.6
10	愛知県マンモグラフィ講習会(技術)	原ゆかり(講師)	愛知乳がん研究会 名古屋名古屋医療センター	2024.7.20
11	令和3年厚生労働省告示第273号研修	原ゆかり(講師)	ファシリテータ講習会 豊田厚生病院	2024. 2.10/11
12	令和3年厚生労働省告示第274号研修	原ゆかり(講師)	ファシリテータ講習会 名市大病院	2024. 6.22/23

リハビリテーション部

論 文

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	心血管疾患患者における身体機能低下 および社会的フレイルの依存と退院後 の有害事象の関連	恒川裕気、 <u>足立拓史</u> 、松岡昭仁、 谷村大輔	リハビリテーション医学 誌	2024.9
2	A case of suspected autoimmune encephalopathy with involuntary movements and cognitive dysfunction post-COVID-19.	Yosuke Tenpaku, Naoki Mabuchi(脳神内), Takahiro Kawase(脳神内), Hideki Oguro, <u>Hiroshi Tatsumi</u> , <u>Masayuki Satoh</u>	Psychiatry and clinical neurosciences	2024.9
3	Calf circumference predicts whether elderly pneumonia patients will be able to eat a normal diet at discharge.	Yosuke Tenpaku, <u>Satoshi Watanabe</u> , <u>Keisuke Morikawa</u> , Hideki Oguro, <u>Hiroshi Tatsumi</u>	International journal of gerontology	2024.10

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	手指屈筋腱断裂のハンドセラピー-Zone1手指屈筋腱断裂症例に対する早期自動屈曲療法の一例-	稲垣慶之、川口稚乃、西村勇輝、太田英之	第11回中部日本ハンドセラピー研究会	2024.1.27
2	在宅期の心大血管患者におけるスマートフォンで測定した歩数の妥当性に関する検討：加速度計付き歩数計で評価した身体活動量との比較	恒川裕気、 <u>足立拓史</u> 、谷村大輔	第88回日本循環器学会	2024.3
3	月状骨周囲脱臼の拘縮様態についての検討	西村勇輝、稲垣慶之、太田英之、藤原祐樹、丹羽智史	第67回日本手外科学会学術集会	2024.4.25-26
4	私が大学院へ進学した動機と研究について -橈骨遠位端骨折の転倒予防を考える-	稲垣慶之、 <u>飯塚照史</u> 、 <u>車谷洋</u> 、太田英之、 <u>長谷川龍一</u>	第36回日本ハンドセラピー学会	2024.4.27-28
5	COPD急性増悪患者に対してコンディショニングの重要性を再認識した症例	館美那未、森雅大、岡田泰樹、宮崎素子、今村妙子	第32回愛知県理学療法学術大会	2024.5
6	ニードを考慮した発話環境の設定を試みた筋萎縮性側索硬化症の1例	天白陽介、 <u>田中康博</u> 、吉田賢治(脳神内)、小黒秀樹、寺澤莉奈、加藤彩香、 <u>辰巳寛</u> 、後藤縁(救急)	第25回日本言語聴覚学会	2024.6.21-22
7	高齢肺炎入院患者における肺炎再発を予測する因子の検討-総リンパ球数との関連を中心に-	天白陽介、 <u>渡邊哲</u> 、田島真実、小黒秀樹、富永奈穂、松木りえ、山田真里亜、 <u>守川恵助</u> 、 <u>辰巳寛</u>	第25回日本言語聴覚学会	2024.6.21-22
8	Assessment of Swallowing Ability for Pneumoniaは急性期脳卒中患者の退院時摂食嚥下機能を予測する	小黒秀樹、天白陽介、富永奈穂、松木りえ、山田真里亜、田島真実	第25回日本言語聴覚学会	2024.6.21-22
9	第4頸髄完全損傷症例に対し摂食嚥下機能獲得に至らなかった問題点についての検討と今後の展望	中尾弥歩、肥後真介、富永奈穂、松木りえ、石川愛菜、宮崎素子、宇田憲司"	集中治療学 会東海支部	2024.7
10	人工呼吸管理を要する気管切開患者において摂食嚥下機能評価・訓練は安全に実施できるか？	天白陽介、 <u>渡邊哲</u> 、小黒秀樹、富永奈穂、山田真里亜、 <u>笠井史人</u>	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2024.8.30-31
11	咬合不全を伴う下顎骨骨折後に嚥下障害を呈した高齢男性の一例	富永奈穂、天白陽介、小黒秀樹、山田真里亜、 <u>渡邊哲</u>	第30回日本摂食嚥下リハビリテーション学会学術大会	2024.8.30-31
12	脳幹出血により重度複合障害および合併症を呈した一例に対する急性期での長下肢装具作成経験	齋藤弘明、森雅大、岡田泰樹、宮崎素子	第22回日本神経理学療法学会学術大会	2024.9
13	Ilioinguinal approach実施後に右大腿四頭筋の著しい筋力低下を示した症例の経験	堀内亮一	第12回日本運動器理学療法学術大会	2024.9
14	Relationship between upper extremity activity and balance function time-course change in distal radial fracture treated surgically.	Yoshiyuki Inagaki, <u>Terufumi Iitsuka</u> , <u>Hiroshi Kurumadani</u> , Hideyuki Ota, <u>Ryuichi Hasegawa</u>	The 8th Asia Pacific Occupational Therapy Congress 2024	2024.11.6-9
15	自己免疫性脳炎にて孤立性逆行性健忘を呈した1例	天白陽介、 <u>辰巳寛</u> 、 <u>近藤光</u> 、柴野莉香(脳神内)、肥後真介、岡田泰樹、鈴木玲那、加藤彩香、 <u>佐藤正之</u>	第48回日本高次脳機能学会学術総会	2024.11.8-9

講演会・講習会・研修会など

No.	演 題 名	講 演 者 名	講演会・講習会名	年月
1	能登半島地震における愛知JRATの活動報告(県庁でのロジ活動)	森雅大	第4回愛知JRAT研修会	2024.3.16
2	MITの基礎理論	天白陽介	第3回日本MITトレーナー実地研修会	2024.3.23-24
3	集中治療室から必要な理学療法実施に必要な周辺知識	肥後真介	日本理学療法士協会生涯学習研修会	2024.3
4	STが知りたい呼吸器疾患～肺炎編～	天白陽介	Study labo	2024.4.19
5	STが知りたい呼吸器疾患～人工呼吸器編～	天白陽介	Study labo	2024.5.17
6	転倒予防についての講話と実技	森雅大	名古屋市リハビリテーション専門職派遣支援事業	2024.7.8
7	STが関わる人工呼吸管理に関して～摂食嚥下機能障害へのアプローチを中心に～	天白陽介	リハノメ	2024.11.1
8	リハビリテーション・栄養・口腔連携体制加算研修 「本加算導入施設からの取り組み紹介」	森雅大	公益社団法人 愛知県理学療法士会	2024.11.23
9	JRAT Rスタッフ ブラッシュアップ研修	森雅大	JRAT研修企画委員会	2024.12.18
10	縮こまった体をほぐして転倒予防	亀山貴子	愛知県看護協会・まちの保健室	2024.12

臨床工学部

著書執筆

No.	題 名	著 者 名	雑 誌 名	年月
1	学術大会座長コメント	安田奈央	一般社団法人愛知県臨床工学士会会報 No.17	2024.11

論文執筆

No.	題名	著者名	雑誌名	年月
1	Coexistence of a Classical Nodoventricular Accessory Pathway With a Left-Sided Mahaim Accessory Pathway	Soichiro Maeda, Koichi Nagashima, Nao yasuda, Naoki Tsurumi, Toshiaki Kato, Yoshifumi Awaji	Journals of the American Collegue of Cardiology, Case Reports, Vol.29, No.5 102220	2024.3.29

学会・研究会発表

No.	演題名	演者名	学会・研究会名	年月
1	「伊勢志摩アブレーションライブ2024を楽しむために」	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.37	2024.1.26
2	ST上昇型急性心筋梗塞への緊急カテーテル治療におけるカテーテル入室時間の遅延に影響する因子の検討	安田奈央、中井浩司、小川健一郎、津田卓眞、加藤俊昭、平手裕市	第88回日本循環器学会	2024.3.7-9
3	MP シンポジウム タスクシフト・タスクシェア「どこまでできる？タスクシフト～理想と現実」講演	安田奈央	第4回 日本不整脈心電学会 東海北陸支部地方会	2024.3.23
4	Hematoma Formation After Intravascular Lithotripsy for Sever Coronary Artery Calcification	Nao Yasuda	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Asian Pacific(TCTAP)204	2024.4.25-26
5	Factors Influencing Door-to-Catheter Room Time Delay in Patients With ST-Elevation Myocardial Infarction Undergoing Primary Percutaneous Coronary Intervention	Nao Yasuda	Transcatheter Cardiovascular Therapeutics Asian Pacific(TCTAP)204	2024.4.25-26
6	デバイスチームの立ち上げと取り組み	森下雄亮	第34回日本臨床工学会	2024/5/18-19
7	「教えて！内田さん！？ EPのきほんの『き』」講演	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.40	2024.5.31
8	メディカルスタッフCH 教育セッション 「血液データのみかた」講演	安田奈央	第45回PICASSO Online Seminar	2024.6.15
9	アンデキサネット アルファにより急性心筋梗塞を発症した一例	安田奈央、土井厚、森下雄亮、津田卓眞、加藤俊昭	Tokyo Percutaneous cardiovascular Intervention Conference2024	2024.7.11-13
10	MPディベート2：「AT回路解明に最適な3Dはどれだ！？～EnSite～」講演	安田奈央	第70回日本不整脈心電学会学術大会	2024.7.18-20
11	遅発性心タンポナーデに対する標準12誘導心電図V5誘導の有用性に関する検討	安田奈央、森下雄亮、閻付林、三宅諒旺、前田宗一郎、鶴見尚樹、加藤俊昭	第70回日本不整脈心電学会学術大会	2024.7.18-20

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
12	緊急カテーテル治療における、カテーテル室入室時間短縮にむけての検討	安田奈央、三宅諒旺、三浦菜那、須田優輝、津田卓眞、加藤俊昭	第32回日本心血管インターベンション治療学会学術集会	2024.7.24-27
13	「カテ室で必要な心電図：基礎」講演	安田奈央	Kanazawa Coronary Conference-2024	2024.9.7
14	アンデキサネット アルファにより急性心筋梗塞を発症した一例	安田奈央、土井厚、森下雄亮、津田卓眞、加藤俊昭	KENNKO live	2024.9.13
15	EnSite Xの高周波領域の強調により心房期外収縮の再早期興奮部位は明瞭となった一例	安田奈央、土井厚、森下雄亮、柴田師廉、鶴見尚樹、加藤俊昭	カテーテルアブレーション関連秋季大会	2024.10.10-12
16	MPのための教育セミナー あしたのためにその1：合併症～医師はここを見ていて欲しい「アブレーションに必要な合併症の知識」講演	安田奈央	カテーテルアブレーション関連秋季大会	2024.10.10-12
17	重症下肢虚血における薬剤溶出性バルーンが末梢血流へ及ぼす影響についての検討	柴田師廉	CCT2024	2024/10/24-26
18	急性冠症候群に対するCVIT clinical expert consensus document を用いたDCBの治療成績	安田奈央、土井厚、森下雄亮、柴田師廉、三宅諒旺、津田卓眞、加藤俊昭	Complex Cardiovascular Therapeutics 2025	2024.10.24-26

講演会・講習会・研修会

No.	演 題 名	講 演 者 名	講演会・講習会名	年月
1	「Ensite X で戦う心房頻拍～刮目せよ！～」	安田奈央	第18回EP・ABL Skill Up Seminar	2024.1.14
2	「IVUS操作時の立ち回りのポイント～石灰化病変～」	安田奈央	Terumo Imaging Seminar	2024.5.16

そ の 他

No.	題 名	発 表 者 名	発表誌など	年月
1	日本不整脈心電学会 東海北陸支部役員 委嘱	安田奈央		2023.8-2025.7
2	日本EPアブレーション技術研究会 東海北陸地方会 世話人委嘱	安田奈央		2024.7-2026.7
3	一般演題 座長 伊勢志摩カテーテルアブレーションライブ2024コラボ企画 「伊勢志摩ライブを振り返る！」司会	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.38	2024.3.1

No.	題 名	発 表 者 名	発表誌など	年月
4	一般社団法人愛知県臨床工学技士会 学術部 部員 委嘱	安田奈央		2024.4.1- 2026.3.31
5	Oral Session 8 MP3 座長	安田奈央	第4回 日本不整脈心電 学会 東海北陸支部地方 会	2024.3.23
6	第4回 日本不整脈心電学会 東海北 陸支部地方会 査読	安田奈央	第4回 日本不整脈心電 学会 東海北陸支部地方 会	2024.3.23
7	第3回 日本EPアブレーション技術研 究会 中部地方会 司会・座長・世話人	安田奈央	第3回 日本EPアブレー ション技術研究会 中部 地方会	2024.3.31
8	EP webカンファ検定を振り返る！ ～正答率の低かった問題を中心に～世 話人	安田奈央	日本EPアブレーション技 術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.39	2024.4.19
9	一般演題 Case2 座長	安田奈央	第50回日本心血管インテ ーベンション治療学会 東海北陸地方会	2024.4.27
10	一般演題18 補助循環 座長	安田奈央	第34回日本臨床工学会	2024. 5.18-19
11	安全なペーシング留置を目指して A Guide to Ventricular Septal Pacing Using Locator 3D ディスカッション	森下雄亮	安全なペーシング留置を目指 して A Guide to Ventricular Septal Pacing Using Locator 3D WEBセミナー(日本光電社主催)	2024/ 5/29
12	一般演題 循環 座長	安田奈央	第19回 愛知県臨床工学 技士会 学術集会	2024.6.16
13	EP ゼミ スティムを知る 世話人	安田奈央	日本EPアブレーション技 術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.41	2024.6.21
14	コメディカルコース「PCI入門編！こ れでカテ室も怖くない！」コメンテ ーター	安田奈央	第14回豊橋ライブデモン トレーション	2024.6.29
15	6年に一度！診療報酬トリプル改訂 心筋焼灼術関連で抑えておきたいポ イント 世話人	安田奈央	日本EPアブレーション技 術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.42	2024.7.12
16	第70回日本不整脈心電学会学術大会 査読	安田奈央	第70回日本不整脈心電学 会学術大会	2024. 7.18-20
17	ワークショップ1 トラブルシューテ ィングエラー？～今日の失敗を明日の 成長に繋げよう～第1部 Bradyデバ イスセッション 座長	森下雄亮	第1回東海テクニカルア リスミアセミナー (TOTAS)	2024/8/3
18	まず押さえておきたい不整脈治療にお ける知っておくべき心臓構造 世話人	安田奈央	日本EPアブレーション技 術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.43	2024.8.30
19	Faculty	安田奈央	Kanazawa Coronary Conference-2024	2024.9.7

No.	題 名	発 表 者 名	発表誌など	年月
20	長瀬&神谷プレゼンツ！EPゼミ 世話人	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.44	2024.9.20
21	心筋焼灼を学び直す 世話人	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.45	2024.10.24
22	メディカルプロフェSSIONAL Chaired Poster Session メディカル プロフェSSIONAL3 座長	安田奈央	カテーテルアブレーション 関連秋季大会	2024. 10.10-12
23	メディカルスタッフプログラム Physiology 座長	安田奈央	第9回 PCI Optimization by Physiology And Imaging	2024.10.12
24	一般演題(メディカルプロフェSSIONAL ナル)臨床工学2 座長	安田奈央	第51回日本心血管インター ベンション治療学会 東海北陸地方会	2024.10.19
25	「室房伝導 基本のき」 講演	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.46	2024.11.29
26	「教育」 コメンテーター	安田奈央	日本EPアブレーション技術研究会 中部地方会 Webカンファ Vol.47	2024.12.20

栄 養 科

学会・研究会発表

No.	演 題 名	演 者 名	学会・研究会名	年月
1	職員保健指導に理学療法士による運動 療法導入の試み	大里智子、丹羽佐知代、角田こころ、 磯部有香、森雅大、堀進也、猪飼護久、 安藤麻紀	第65回日本人間ドック・ 予防医療学会学術大会	2024年 9月6日 ～7日

講演会・講習会・研修会等

No.	演 題 名	講演者名	講演会・講習会名	年月日
1	在宅や施設での食の支援・食事介助法 の実際	角田こころ	「食の支援」勉強会	2024年 2月7日
2	がんの栄養管理	角田こころ	がん患者のシームレスな 医療・支援を考える多職 種勉強会	2024年 6月20日
3	地域で心不全患者を支えるためには 管理栄養士の立場から	角田こころ	地域で心不全患者を支え るための地域多職種シン ポジウム	2024年 10月2日

看護部

論文

No.	題名	著者名	雑誌名	年月
1	救急外来における救急看護認定看護師による院内トリアージの実践	小倉久美子、河村諒、市川敦子	日本救急看護学会雑誌 2024年26巻20-31	2024年 2月17日
2	リーダーシップ教育研修の実際	水貝和恵	看護管理Vol34 No08 2024	2024年 8月1日
3	リーダーシップ教育研修受講者から－病棟におけるパルスオキシメーターの紛失防止策－	内海恭子	看護管理Vol34 No08 2024	2024年 8月

学会・研究会

No.	演題名	演者名	学会名・研究会名	年月日
1	COVID-19院内クラスターにおける伝播形式の検討	小島由美、伊藤秀明、二神諒子、大西紀子、横井博子、佐々木梨恵、浅野俊明	第39回日本環境感染学会 総会学術集会	2024年 7月25日 ～ 27日
2	COVID-19パンデミックを乗り越えた非最前線看護師の体験	澤田麻実	日本看護研究学会	2024年 8月24日 ～ 25日
3	職員保健指導に理学療法士による運動療法導入の試み	大里智子、丹羽佐知代、角田こころ、磯部有香、森雅大、堀進也、猪飼護久、安藤麻紀	日本人間ドック・予防医療学会 第65回学術大会	2024年 9月7日

講演会など

No.	演題名	発表者名	講演会・講習会名	年月日
1	自分らしい人生を生きるために～大切な人たちと話そう私の希望から	山口弘子	エキサイ健康教室	2024年 2月13日
2	第50回中部大学看護セミナー ドキュメンタリー映画「その鼓動に耳をあてよ」を支える看護～24時間365日断らない救急を支える看護と人材育成～	山口弘子	第50回中部大学看護セミナー	2024年 7月6日
3	大規模災害に備える病院の取り組み	山口弘子	CBCラジオ「看護の力」 9月8日放送	2024年 9月8日
4	F1:子どもの状態を的確に把握するためのポイント～フィジカルアセスメント～	小山田恵、辻和美	愛知県看護協会 継続教育研修	2024年 9月11日

No.	演 題 名	発 表 者 名	講演会・講習会名	年月日
5	つぐらない！見逃さない！悪化させない！褥瘡予防	櫻井美智	愛知県看護協会 令和6年度 研修会	2024年 9月30日
6	救急看護の勉強会	市川敦子	有限会社ケアサポート	2024年 9月20日
7	ヘルスケアシステム論Ⅱ 「多職種連携とチーム医療」	山口弘子	愛知県看護協会認定看護 管理者教育課程セカンド レベル講義	2024年 11月7日 2027年 11月13日
8	質管理ⅡⅡ 安全管理「災害時の対応」	山口弘子	名古屋大学医学部附属病院看 護キャリア支援室認定看護管 理者教育課程セカンドレベル	2024年 12月13 日

名古屋掖済会トレーニングサイト

No.	演 題 名	講演者名	年月日
1	日本救急医学会認定 ICLSコース	市川 敦子	2024年6月8日、9月15日

緩和ケア内科

講演会・講習会・研修会等

No.	演 題 名	講演者名	講演会・講習会名	年月日
1	がんの栄養管理	小島美保、角田こころ(栄養科)	がん患者のシームレスな 医療・支援を考える多職 種勉強会	2024.6.20
2	コミュニケーション	小島美保	緩和ケア研修会	2024.9.8
3	コミュニケーション 全人的苦痛	小島美保	緩和ケア研修会	2024.10.19
4	「地域多職種勉強会」その人らしく生きるためにACPをふまえて	小島美保	がん患者のシームレスな 医療・支援を考える多職 種勉強会	2024.11.6、 11.27、 12.4

入退院支援室

講演会・講習会・研修会等

No.	演 題 名	講演者名	講演会・講習会名	年月日
1	子どもの事故予防教室	緑谷美華	名古屋市西保健センター	2024年 8月5日
2	子どもの事故予防教室	緑谷美華	名古屋市西保健センター 山田分室	2024年 10月2日
3	食の支援	鈴木加奈	シルバーマンション愛西 キリン	2024年 6月7日

広 報 部

雑 誌

No.	題 名	著 者 名・編 者 名	著 書 名	年月
1	経営意識の醸成からの生まれたクラウドファンディング	盛田滝斗	月刊 医療経営 PHASE3 2月号	2024年 1月
2	救急医療の舞台裏を描くドキュメンタリー映画『その鼓動に耳をあてよ』 Special Interview	盛田滝斗	月刊 医療経営士 2月 号	2024年 1月

学会・研究会

No.	演 題 名	演 者 名	学会名・研究会名	年月日
1	病院ERドキュメンタリーの映画化と 集客の取り組み	盛田滝斗、渡邊志保、落合咲那	第65回 全日本病院学会 in京都	2024年9 月
2	病院ERドキュメンタリー映画化にお ける医療経営士としての広報活動	盛田滝斗	第13回「全国医療経営士 実践研究大会」福岡大会	2024年 12月
3	インスタグラムを用いた広報・PR 活 動の報告	落合咲那	第7回 院内研究発表	2024年 12月

講演会・講習会・研修会等

No.	演 題 名	講演者名	講演会・講習会名	年月日
1	クラウドファンディング 実施後の取組み	盛田滝斗	READYFOR オフ会 in福 岡	2024年 6月

2. 院内研修活動

(2024年1月1日～12月31日)

1) 講演会、研修会、発表会	164
2) CPC症例検討会	166
3) 救急症例検討会	167
4) 研修医勉強会	168
5) 船舶衛生管理者講習	169

講演会・研修会・発表会（2024年1月～12月）

1) 第7回院内研究発表会

プログラム

日時：12月21日（土）8時30分開始 12時30分終了予定

場所：救命救急センター 4階講堂

I. 開会

院内研究発表会委員長 開会宣言

II. 演題発表

第1群 座長 島浩一郎副院長 8:35～11:45

1. 名古屋掖済会病院の初期研修医が救急外来で経験する症例数についての検討

臨床研修センター 研修医 ○森 大介

2. 入院透析患者の透析管理に関する現状把握

～透析看護師と病棟看護師の双方の視点から～

看護部（透析室） 看護師 ○羽根成美

3. 自動胸骨圧迫装置を使用する際の看護師の葛藤

看護部（初療室） 看護師 ○小野希奈

4. どんな時にマンモグラフィ再撮影が必要か？

～再撮影事例の検討から考える～

中央放射線部 放射線技師 ○原ゆかり

第2群 座長 永友裕美看護師長 9:20～10:00

5. ハイブリッドERにおける看護師のストレス要因の実態

看護部（初療室） 看護師 ○川本美佳

6. 外来看護師のリリーフに対する思い

～リリーフに出る側、受ける側それぞれの立場から～

看護部（外来） 看護師 ○伊藤裕美

7. リハビリテーションスタッフの病棟配置での取り組みと実績報告

リハビリテーション部 理学療法士 ○栃原 吏

8. 上部尿路細胞診標本中の細胞を組織標本として観察し、確定診断できた2症例

中央検査部 検査技師 ○山田知里

第3群 座長 三谷有生主任技師 10:10～10:50

9. 特発性血小板減少性紫斑病（ITP）患者の安静度制限に対する思い

看護部（7南病棟） 看護師 ○和田裕江

10. 医療器機の修理費削減に向けた取り組み

～輸液シリンジポンプメンテナンス講習を受けて

臨床工学部 臨床工学士 ○須田優輝

11. Assessment of Swallowing Ability for Pneumonia は急性期脳卒中患者における

退院時普通食経口摂取可否を予測する

リハビリテーション部 言語聴覚士 ○天白陽介

12. 薬剤師の処方支援プロトコルにおける現状と課題

薬剤部 薬剤師 ○中澤 柊

第4群 座長 坂口吉子看護師長 10:55～11:45

13. 5東病棟で起こったインシデントレベル 3a 以上の転倒要因

看護部 (5東病棟) 看護師 ○森 華紗音

14. 在宅療養移行支援に対する当病棟の課題の抽出

看護部 (4南病棟) 看護師 ○濱田育実

15. 急性期一般病棟で働く看護師の口腔ケアに対する意識調査

～効果的な介入方法を地域に繋ぐため

看護部 (4F病棟) 看護師 ○佐藤初月

16. インスタグラムを用いた広報

－エキサイカイのファン獲得にむけて－

広報部 事務 ○落合咲那

17. 当院における周術期口腔機能患者の口腔機能低下症罹患率

歯科口腔外科 歯科衛生士 ○川田彩乃

Ⅲ. 審査 11:45～

Ⅳ. 表彰式 12:15～12:25

院長総評

Ⅴ. 閉会式 12:25～12:30

院内研究発表会委員長 閉会宣言

2) CPC症例検討会 (2024年1月～12月)

院内…水曜・医局会後

実施年月日	剖検番号	年齢	性別	病理診断	発表者	開催レポート報告者	臨床診断
2024年1月10日	A2023-2422	90	男	多発食道癌	Jr.岩田直也・ 森大介	Jr.重原優奈・ 松原令実	食道癌
2024年2月14日	2434	80	男	左下葉肺腺癌、左右肺炎	Jr.上田里菜・ 八尋星良	Jr.森大介・ 山田藍里紗	肺癌、間質性肺炎急性増悪
2024年4月10日		80	女	胃粘膜における鉄沈着	Jr.梶田凌・ 山田藍里紗	Jr.高木豊大・ 八尋星良	上部消化管出血
2024年6月12日	A2024-2450	74	男	急性巨細胞性心筋炎	Jr.青山凌佑・ 名和佳宏	Jr.山上優・ 山口雄一郎	急性心筋炎
2024年7月10日	A2023-2445	91	男	A-V malformationの破裂	Jr.浅妻大樹・ 金子岳史	Jr.大西美薫・ 名和佳宏	脳幹出血
2024年9月11日	A2024-2453	49	男	菌血症 (起因菌: Pasteurella multocida)	Jr.中尾充佑・ 村上友貴・ 山口雄一郎	Jr.藤村花音・ 青山凌佑	敗血症
2024年10月9日	A2024-2456	77	男	悪性リンパ腫 形質芽球性リンパ腫 (Plasmablastic lymphoma CD30陽性・MYC遺伝子再構成+)	Jr.福田湧希・ 山上優	Jr.村上友貴・ 浅妻大樹	形質芽球性リンパ腫
2024年11月13日	A2024-2455	51	男	非結核性抗酸菌症	Jr.大島康太郎・ 大西美薫	Jr.福田湧希・ 安藤猛	非結核性抗酸菌症 気管支炎
2024年12月11日	A2022-2440	70	女	SLE脳症	Jr.藤村花音・ 田口宗太郎	Jr.加藤壮真・ 梅崎傑	SLE脳症

3) 救急症例検討会 (2024年1月～12月)

実施年月日	年齢	性別	題名または病理診断	発表者	発表者(司会者)
2024年1月12日	80	女	記憶障害の一例	Jr.八尋 星良	後藤 縁
2024年1月26日	80	女	洞不全症候群	Sr.新谷 理子	山田 真生
2024年2月9日	85	男	呼吸苦	Jr.松原 令実	柳内 愛
2024年2月16日	45	女	感染を伴う下腿の難治性潰瘍	Sr.小島 悠毅	柳内 愛
2024年3月8日	23	男	不穏状態	Jr.稲西 克哉	蜂矢 康二
2024年3月22日	84	男	脳梗塞	Jr.岩田 直也	柳内 愛
2024年4月12日	91	女	意識障害 高Ca血症	Sr.伊藤 友香	鷺崎 智行
2024年4月26日	88	女	右上下肢けいれん	Jr.安藤 猛	河合 康亮
2024年5月10日	81	女	SHOCK	Sr.相川 純哉	森岡 慎也
2024年5月24日	90	女	麻痺	Jr.金子 岳史	鷺崎 智行
2024年6月21日	20	男	めまい	Sr.上田 里菜	府川 心壱朗
2024年6月28日	87	男	下血	Jr.村上 友貴	柳内 愛
2024年7月12日	33	男	呼吸困難	Sr.重原 優奈	蜂矢 康二
2024年7月26日	24	男	失神	Jr.青山 凌佑	柳内 愛
2024年8月9日	43	男	けいれん	Jr.福田 湧希	小川 健一朗
2024年8月23日	19	女	嘔吐	Sr.山田 藍里紗	山田 真生
2024年9月13日	91	男	ショック	Jr.大西 美薫	吉田 有美香
2024年9月27日	26	男	筋力低下の症例	Sr.岩田 直也	植島 翔
2024年10月11日	79	女	一過性意識消失を主訴に来院したPTEの症例	Jr.梅崎 傑	水谷 裕之
2024年10月25日	73	男	めまい	Jr.名和 佳宏	柳内 愛
2024年11月22日	19	女	右下腹部痛	Jr.藤村 花音	府川 心壱朗
2024年12月13日	67	女	腹痛	Jr.山上 優	鷺崎 智行

救急症例勉強会 第2・4金曜

4) 研修医勉強会 (2024.1月～2024.12月)

実施年月日	時 間	曜 日	題 名	所 属	講 師
2024年1月16日	12:00～	火	性暴力について	3 南 病 棟	内藤 桂子
2024年1月30日	12:00～	火	合併症を防ぐ！人工呼吸器設定	臨 床 工 学 部	松本 陸
2024年2月6日	12:00～	火	ERでの抗菌薬	救 急 科	瀨瀬 美帆
2024年2月20日	12:00～	火	腹部エコー ワンポイントアド バイス	中 央 検 査 部	河村 優記
2024年3月5日	12:00～	火	2年目になるにあたって	臨床研修センター	長谷川 正幸
2024年3月19日	12:00～	火	緩和ケア	緩 和 ケ ア 内 科	小島 美保
2024年4月16日	12:00～	火	一般外来研修・研修レポートに ついて	臨床研修センター	長谷川 正幸
2024年4月30日	12:00～	火	メディカルコントロール	救 急 科	萩原 康友
2024年5月7日	12:00～	火	胸部画像について	呼 吸 器 内 科	伊藤 利泰
2024年5月21日	12:00～	火	頭部画像	脳 神 経 外 科	西田 恭優
2024年6月4日	12:00～	火	Killer chest pain	循 環 器 内 科	谷村 大輔
2024年6月18日	12:00～	火	stroke	脳 神 経 内 科	安井 健友
2024年7月2日	12:00～	火	急性腹症の画像診断	消 化 器 内 科	佐橋 学
2024年7月16日	12:00～	火	小児の脱水	小 児 科	春田 一憲
2024年7月30日	12:00～	火	骨折の見方	整形外科・手外科	丹羽 智史
2024年8月6日	12:00～	火	輸液の基本	腎 臓 内 科	稲垣 高広
2024年8月20日	12:00～	火	専攻医研修と後期研修	臨床研修センター 循 環 器 内 科	長谷川 正幸・ 阿部 七海
2024年9月3日	12:00～	火	シーネの巻き方など	整形外科・手外科	熊谷 寛明
2024年9月17日	12:00～	火	婦人科疾患	産 婦 人 科	青木 良成
2024年10月1日	12:00～	火	大人の発達障害	小 児 科	長谷川 正幸
2024年10月15日	12:00～	火	放射線治療のあれこれ	放 射 線 科	浅井 英彰・近藤 拓人
2024年10月29日	12:00～	火	膠原病について	膠原病リウマチ内科	大野 弘真
2024年11月5日	12:00～	火	経口血糖降下薬の使い方	糖尿病・内分泌内科	伊林 亜記
2024年11月19日	12:00～	火	地域包括ケアシステムについて	医 療 相 談 室	中北 香奈
2024年12月3日	12:00～	火	急性腹症のCT画像診断 OPE適応	外 科	櫻木 佑
2024年12月17日	12:00～	火	抗菌薬のお話	感 染 対 策 室	二神 諒子

5) 船舶衛生管理者講習 (2024年4月～2025年3月)

1. 令和6年度(第48回)船舶衛生管理者講習(A)

期間 令和6年5月8日から5月31日

講習場所 病児・病後児保育棟2階 会議室10

受講者数 30名

令和6年度(第48回)衛生管理者登録講習

講師講義日程(5/8～5/31) 於:名古屋掖済会病院

	午前					12	13	午後					17
	8:30	9	10	11	11			14	15	16			
5/8(水)	8:45開講式	9:00～12:00 船内衛生(金田講師)						13:00～17:00 船内衛生(金田講師)					
5/9(木)		9:00～12:00 船内衛生(金田講師)						13:00～16:00 労働衛生法規(遠藤講師)			16:00～17:00 検疫		
5/10(金)		9:00～12:00 症状から診断+熱中症+異物+医療無線(萩原医師)						13:00～17:00 労働生理(佐竹医師)					
5/11(土)													
5/12(日)													
5/13(月)		9:00～12:00 がんの予防(大橋医師)						13:00～15:00 婦人科・妊婦及び出産(清水医師)					
5/14(火)		9:00～12:00 救急処置及び蘇生法(萩原医師)											
5/15(水)		9:00～12:00 食品衛生(角田栄養士長)											
5/16(木)		9:00～12:00 発熱・頭痛・めまい(馬淵医師)						13:00～17:00 救急蘇生等(AED含む)(北川医師+救命士)					
5/17(金)		9:00～12:00 咳・痰・呼吸困難(島医師)						13:00～17:00 伝染病の予防(小島医師)					
5/18(土)													
5/19(日)													
5/20(月)								13:00～16:00 健康管理(安藤医師)					
5/21(火)		9:00～12:00 労働生理(佐藤医師)						13:00～17:00 捻挫・骨折の手当(熊谷医師+福本看護師)					
5/22(水)			10:00～12:00 薬物(稲垣薬剤部長)				13:00～15:00 海上における死(後藤医師+佐藤崇史看護師)		15:00～17:00 泌尿器・生殖器に出る症状(友澤医師)				
5/23(木)			10:00～12:00 胸痛・動悸・息切れ(加藤医師)				13:00～15:00 耳・鼻・のどの症状(清水医師)		15:00～17:00 眼の症状(梅村医師)				
5/24(金)								13:00～17:00 一般疾病の予防(中嶋医師)					
5/25(土)													
5/26(日)													
5/27(月)		9:00～12:00 腹痛・吐血・下血(加藤祐医師)						13:00～17:00 血糖測定・血圧測定・体温測定・脈拍診察(看護部)					
5/28(火)		9:00～12:00 歯の症状・歯肉の症状(伊東医師)						13:00～17:00 創傷・熱傷・凍傷等の手当(太田医師+河合看護師)					
5/29(水)		9:00～12:00 薬物(稲垣薬剤部長)						13:00～17:00 メンタルヘルス・皮下・筋肉内注射・大量皮下注射・排泄介助(看護部)					
5/30(木)		9:00～12:00 薬物(稲垣薬剤部長)						13:00～17:00 食品衛生(角田栄養士長)					
5/31(金)	実技・筆記試験	9:00～筆記試験			10:30～12:20 実技試験(当院)		12:30～閉講式						

※当院で行う講習割り当て

- 労働生理(7時間)
- 食品衛生(7時間)
- 疾病予防(14時間)
- 保健指導(30時間)
- 薬物(8時間)
- 実技(20時間)

外部講師

- 船内衛生 金田講師
- 労働衛生法規 遠藤講師
- 検疫

2. 令和6年度（第49回）船舶衛生管理者講習（A）

期間 令和6年7月2日から7月26日

講習場所 病児・病後児保育棟2階 会議室10

受講者数 28名

令和6年度（第49回）衛生管理者登録講習

講師講義日程（7/2～7/26） 於：名古屋掖済会病院

	午 前					昼 食		午 後				
	8:30	9	10	11	12	13	14	15	16	17		
7/2(火)	8:45開講式	9:00～12:00 船内衛生(金田講師)					13:00～17:00 船内衛生(金田講師)					
7/3(水)		9:00～12:00 船内衛生(金田講師)					13:00～16:00 労働衛生法規(遠藤講師)		16:00～17:00 検疫			
7/4(木)		9:00～12:00 発熱・頭痛・めまい(馬淵医師)					13:00～15:00 胸痛・動悸・息切れ(加藤医師)					
7/5(金)		9:00～12:00 咳・痰・呼吸困難(島医師)					13:00～17:00 労働生理(佐竹医師)					
7/6(土)												
7/7(日)												
7/8(月)		9:00～12:00 症状から診断・熱中症・異物・医療無線(萩原医師)					13:00～16:00 がんの予防(大橋医師)					
7/9(火)		9:00～12:00 救急処置及び蘇生法(萩原医師)					13:00～17:00 血糖測定・血圧測定・体温測定・脈拍診察(看護部)					
7/10(水)							13:00～17:00 救急蘇生等(AED含む)(北川医師+救命士)					
7/11(木)							13:00～15:00 眼の症状(梅村医師)		15:00～17:00 泌尿器・生殖器に出る症状(友澤医師)			
7/12(金)							13:00～17:00 伝染病の予防(小島医師)					
7/13(土)												
7/14(日)												
7/15(月)												
7/16(火)		10:00～12:00 婦人科・妊娠及び出産(清水医師)					13:00～17:00 捻挫・骨折の手当(熊谷医師+福本看護師)					
7/17(水)		9:00～12:00 食品衛生(角田栄養士長)					13:00～17:00 創傷・熱傷・凍傷等の手当(太田医師+河合看護師)					
7/18(木)		10:00～12:00 薬物(稲垣薬剤部長)					13:00～16:00 労働生理(佐藤医師)					
7/19(金)							13:00～17:00 一般疾病の予防(中嶋医師)					
7/20(土)												
7/21(日)												
7/22(月)		9:00～12:00 腹痛・吐血・下血(加藤祐医師)					13:00～15:00 海上における死(後藤医師+佐藤崇史看護師)		15:00～17:00 耳・鼻・のどの症状(清水医師)			
7/23(火)		9:00～12:00 菌の症状・菌肉の症状(伊東医師)					13:00～16:00 健康管理(安藤医師)					
7/24(水)		9:00～12:00 薬物(稲垣薬剤部長)					13:00～17:00 メンタルヘルス・皮下・筋肉内注射・大量皮下注射・排泄介助(看護部)					
7/25(木)		9:00～12:00 薬物(稲垣薬剤部長)					13:00～17:00 食品衛生(角田栄養士長)					
7/26(金)	実技・筆記試験	9:00～筆記試験 10:30～12:20 実技試験(当院)					12:30～閉講式					

※当院で行う講習割り当て

労働生理(7時間)

食品衛生(7時間)

疾病予防(14時間)

保健指導(30時間)

薬物(8時間)

実技(20時間)

外部講師

船内衛生 金田講師

労働衛生法規 遠藤講師

検疫